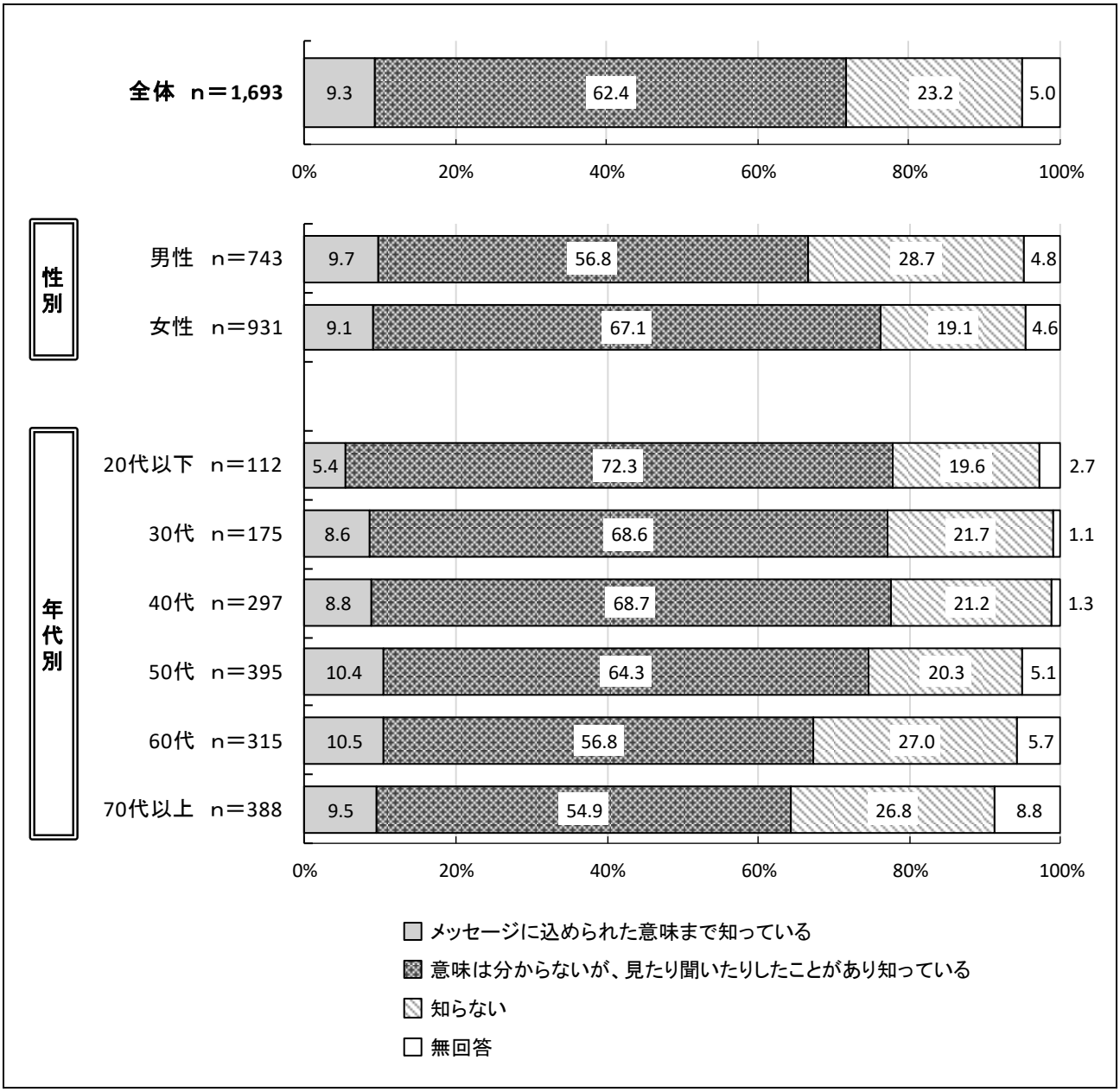
（１）ブランドメッセージの認知度

問１　富士市ブランドメッセージ「いただきへの、はじまり　富士市」を知っていますか。次の中から１つだけ選んで○をつけてください。

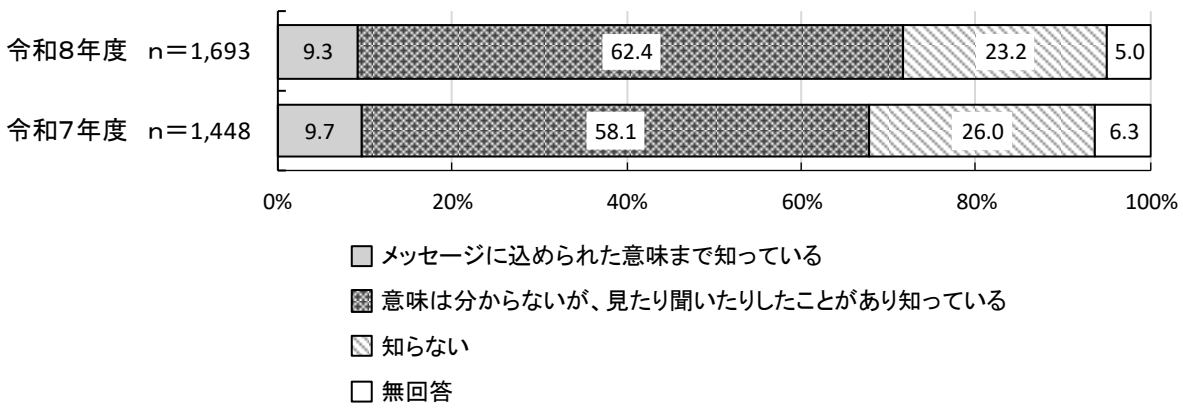


富士市ブランドメッセージの認知度は、「知らない」が23.2％となっている。「メッセージに込められた意味まで知っている」（9.3％）と「意味は分からないが、見たり聞いたりしたことがあり知っている」（62.4％）を合わせた『知っている』は71.7％となっている。

性別で見ると、男性において「知らない」が28.7％と女性より多くなっていて、「メッセージに込められた意味まで知っている」も、0.6ポイントではあるが女性よりも多くなっている。女性においては「意味は分からないが、見たり聞いたりしたことがあり知っている」が67.1％と、男性の56.8％より多くなっている。

年代別では、50代以下において「意味は分からないが、見たり聞いたりしたことがあり知っている」が60％以上と、60代・70代以上に比べて多くなっている。また、「知らない」は60代・70代以上が25％以上と、ほかの年代に比べて多くなっている。

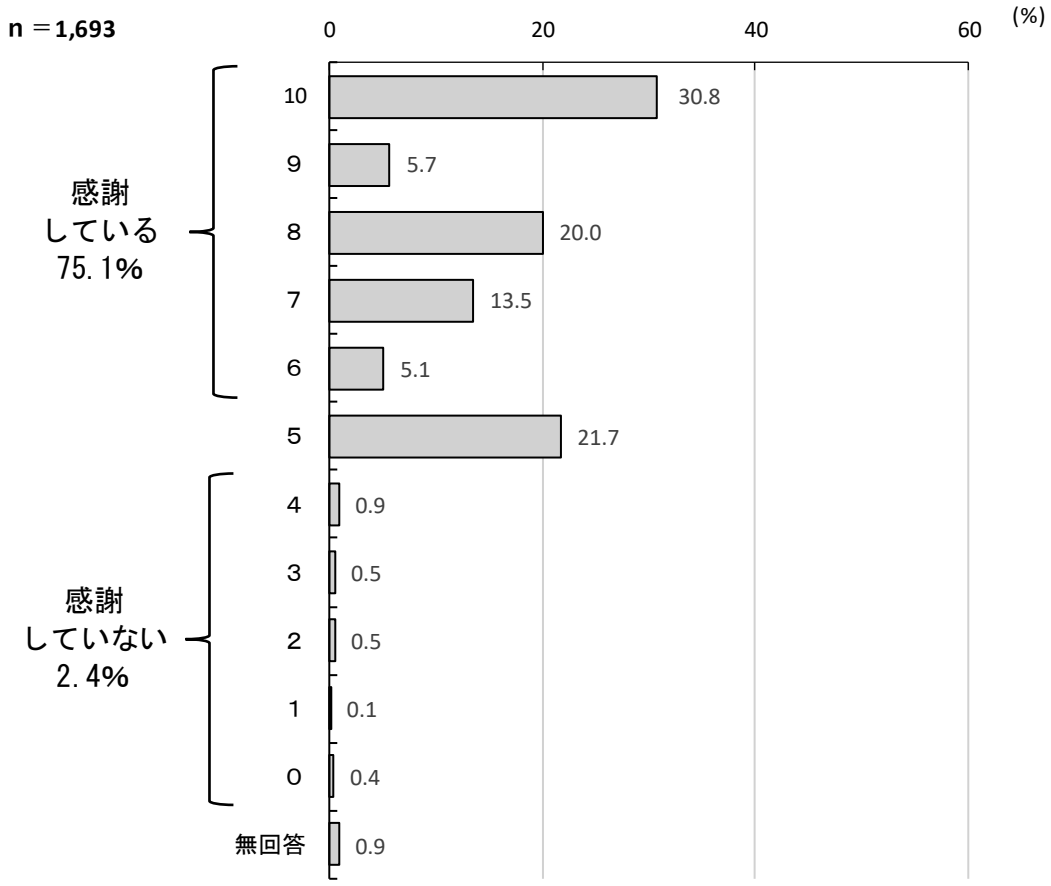
＜経年比較＞



令和７年度の調査結果と比較すると、「意味は分からないが、見たり聞いたりしたことがあり知っている」が62.4％と4.3ポイント増加し、「知らない」が23.2％と2.8ポイント減少している。

（２）地域のために活動している人への感謝度（10点評価）

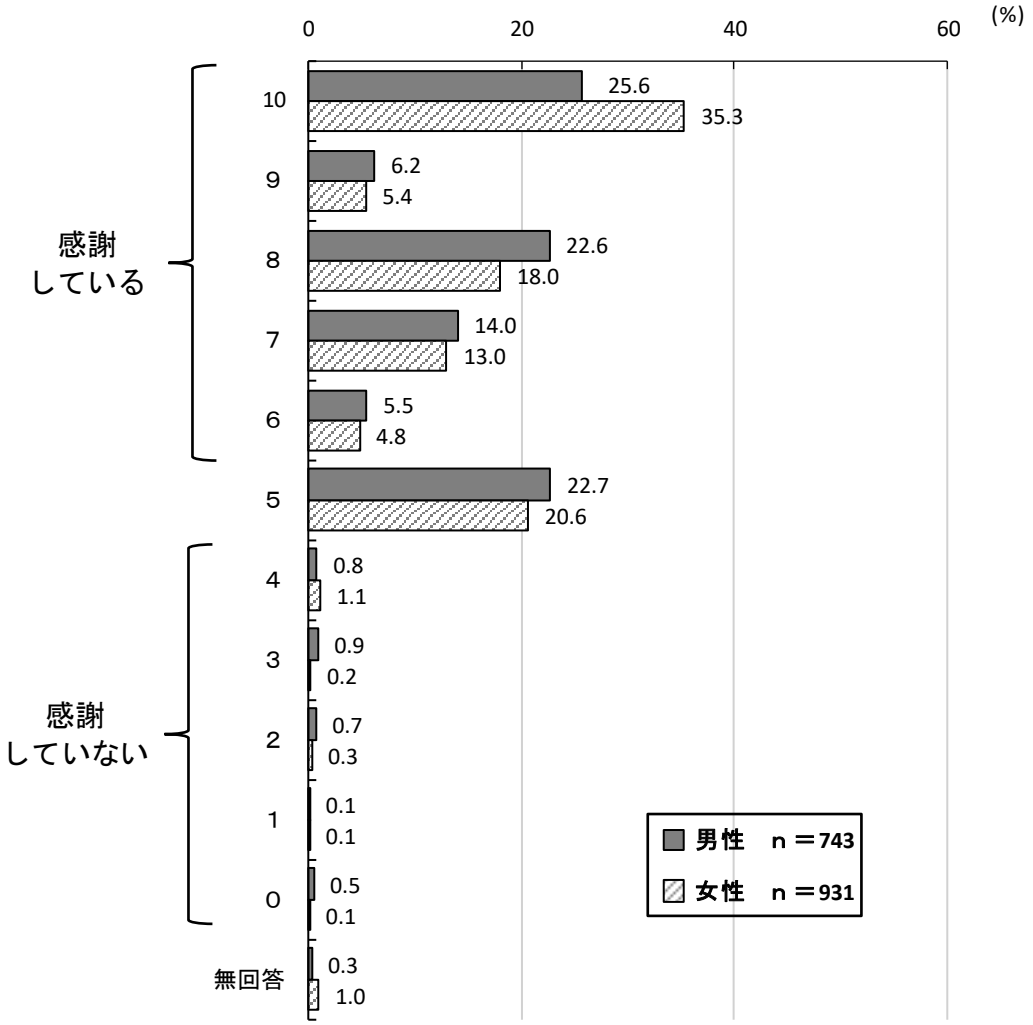
問２　あなたは、地域（まち）のために活動している人に対し、どの程度の気持ちで感謝していますか。次の気持ちを表した数字（10から０まで）から１つだけ選んで○をつけてください。



	全体
平均点	7.65

地域のために活動している人への感謝度は、「10」が30.8％と最も多く、次いで「５」が21.7％、「８」が20.0％となっている。また、『感謝している』（「10」～「６」の合計）は75.1％、『感謝していない』（「４」～「０」の合計）は2.4％で、平均点は7.65となっている。

＜性別＞

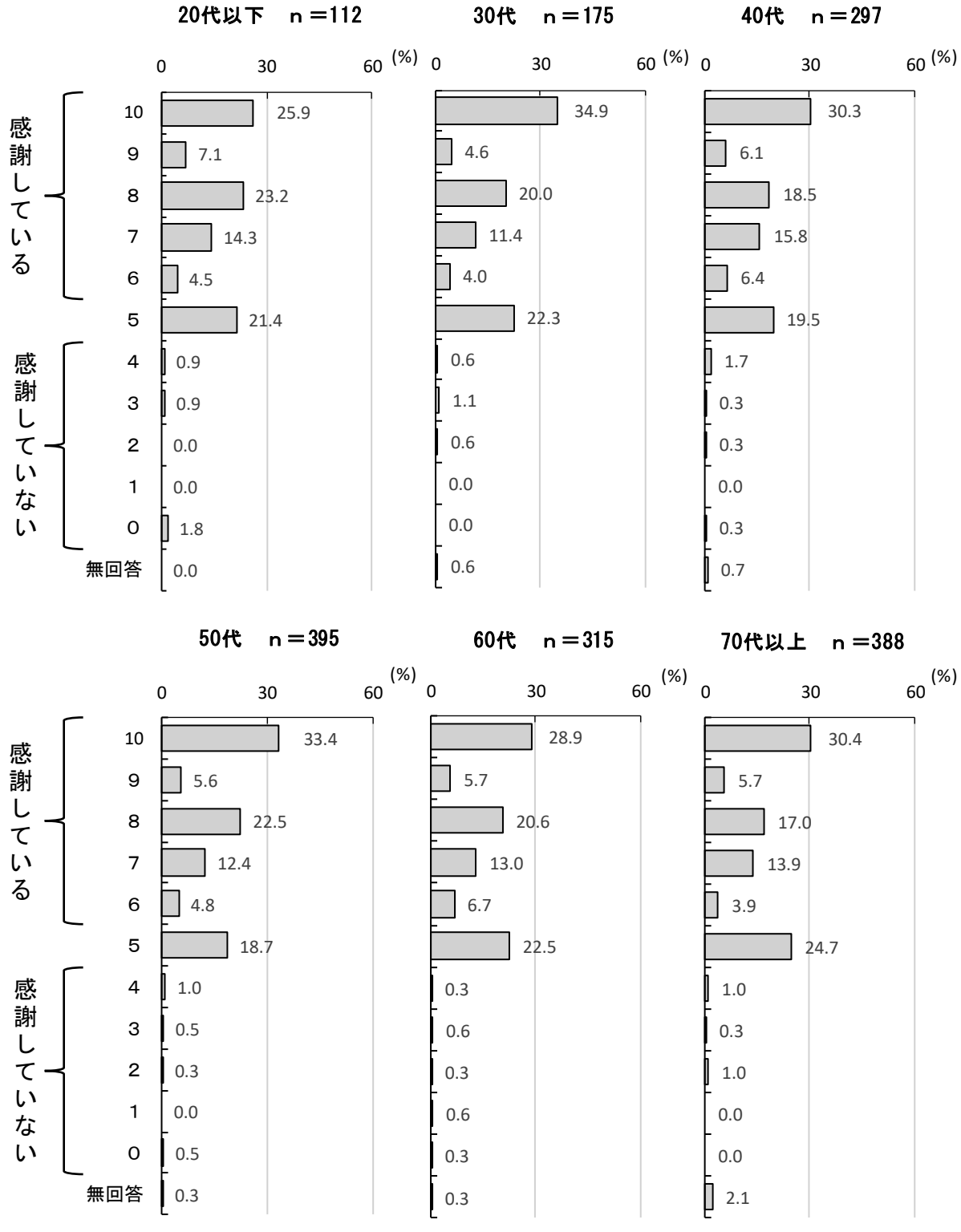


	男性	女性
感謝している	73.9%	76.5%
感謝していない	3.0%	1.8%
平均点	7.47	7.82

性別で見ると、男性において「８」が22.6%、「５」が22.7%と、女性より多くなっている。女性においては「10」が35.3と、男性より約10ポイント多くなっている。また、『感謝している』は女性において76.5%と、男性の73.9%に比べてやや多くなっている。

平均点は、男性が7.47、女性が7.82となっている。

＜年代別＞

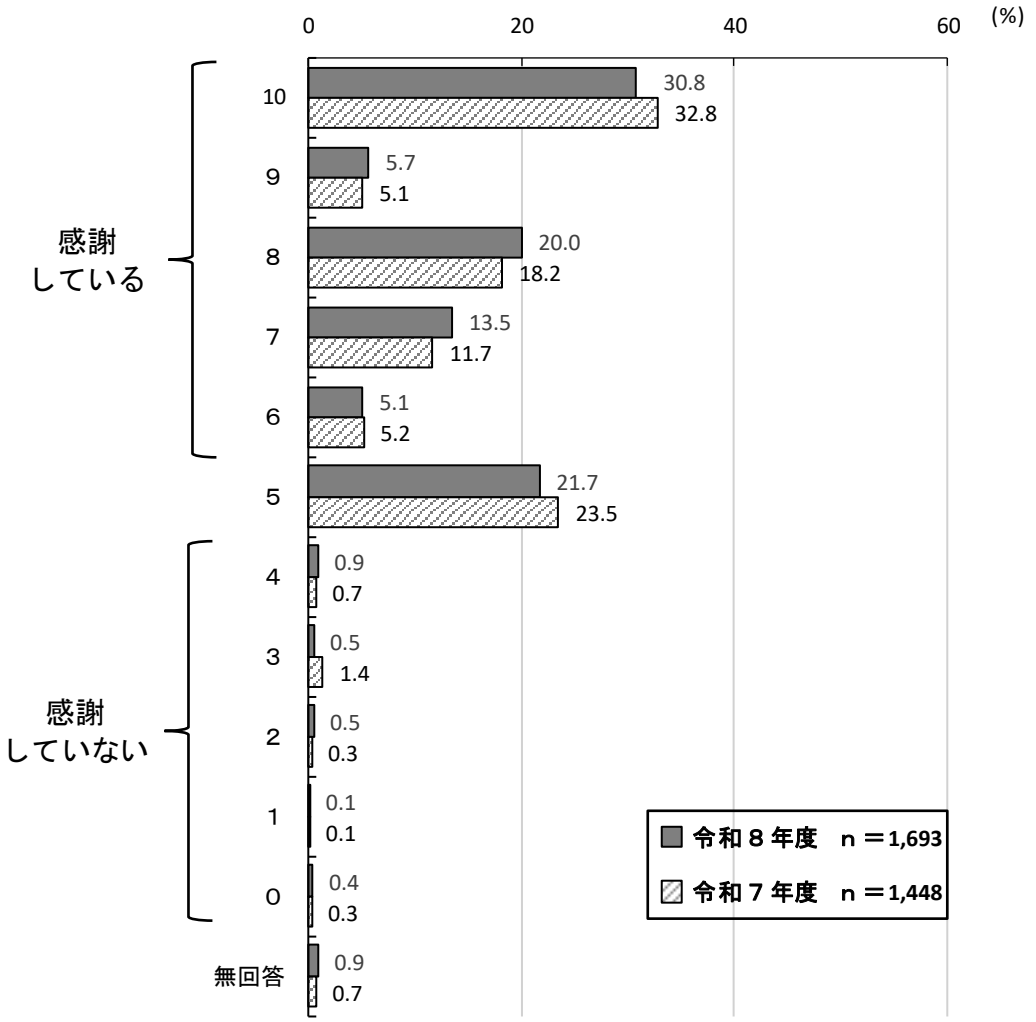


	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
感謝している	75.0%	74.9%	77.1%	78.7%	74.9%	70.9%
感謝していない	3.6%	2.3%	2.6%	2.3%	2.1%	2.3%
平均点	7.49	7.76	7.66	7.82	7.56	7.58

年代別では、30代において「10」が34.9％と、ほかの年代に比べて多くなっている。また、20代以下において「８」が23.2％と、ほかの年代に比べて多くなっている。全年代において「10」が最も多くなっている。

平均点は、50代において7.82と、全年代で最も高くなっている。

＜経年比較＞

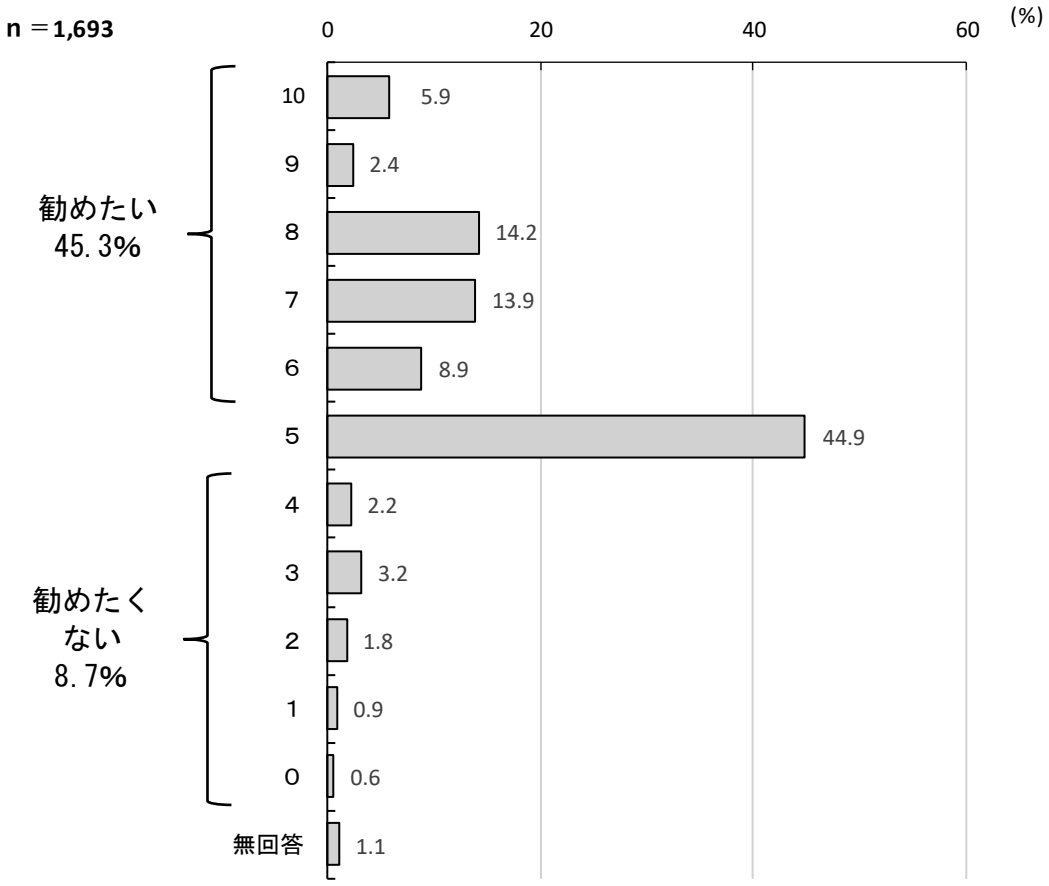


	令和８年度	令和７年度
平均点	7.65	7.63

令和７年度の調査結果と比較すると、「10」が30.8％と2.0ポイント減少しているが、平均点は7.65と微増している。

（３）地域の魅力の推奨度（10点評価）

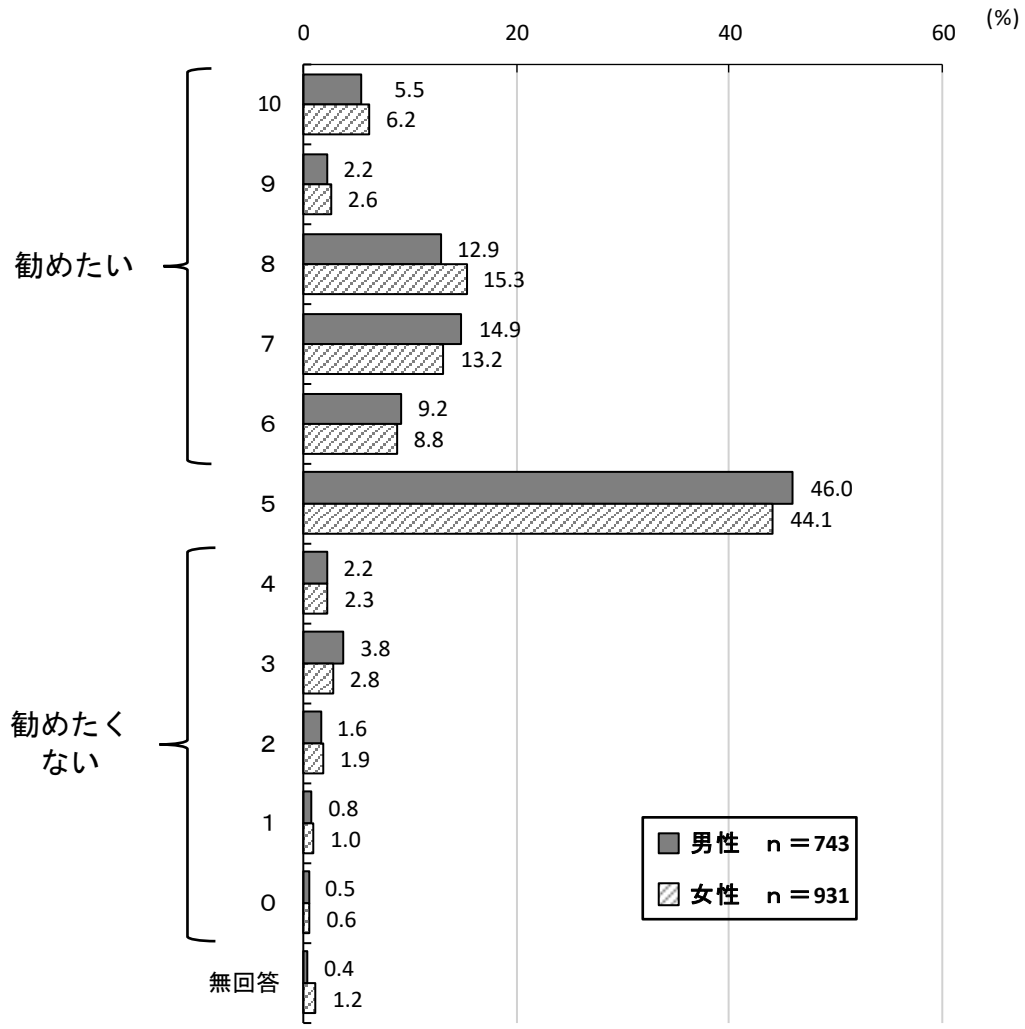
問３　あなたは、地域（まち）の魅力を、どの程度の気持ちで友人にお勧めしたいと思いますか。
次の気持ちを表した数字（10から０まで）から１つだけ選んで○をつけてください。



	全体
平均点	5.99

地域の魅力の推奨度は、「５」が44.9%と最も多く、次いで「８」が14.2%、「７」が13.9%となっている。また、『勧めたい』（「10」～「６」の合計）は45.3%、『勧めたくない』（「４」～「０」の合計）は8.7%で、平均点は5.99となっている。

＜性別＞

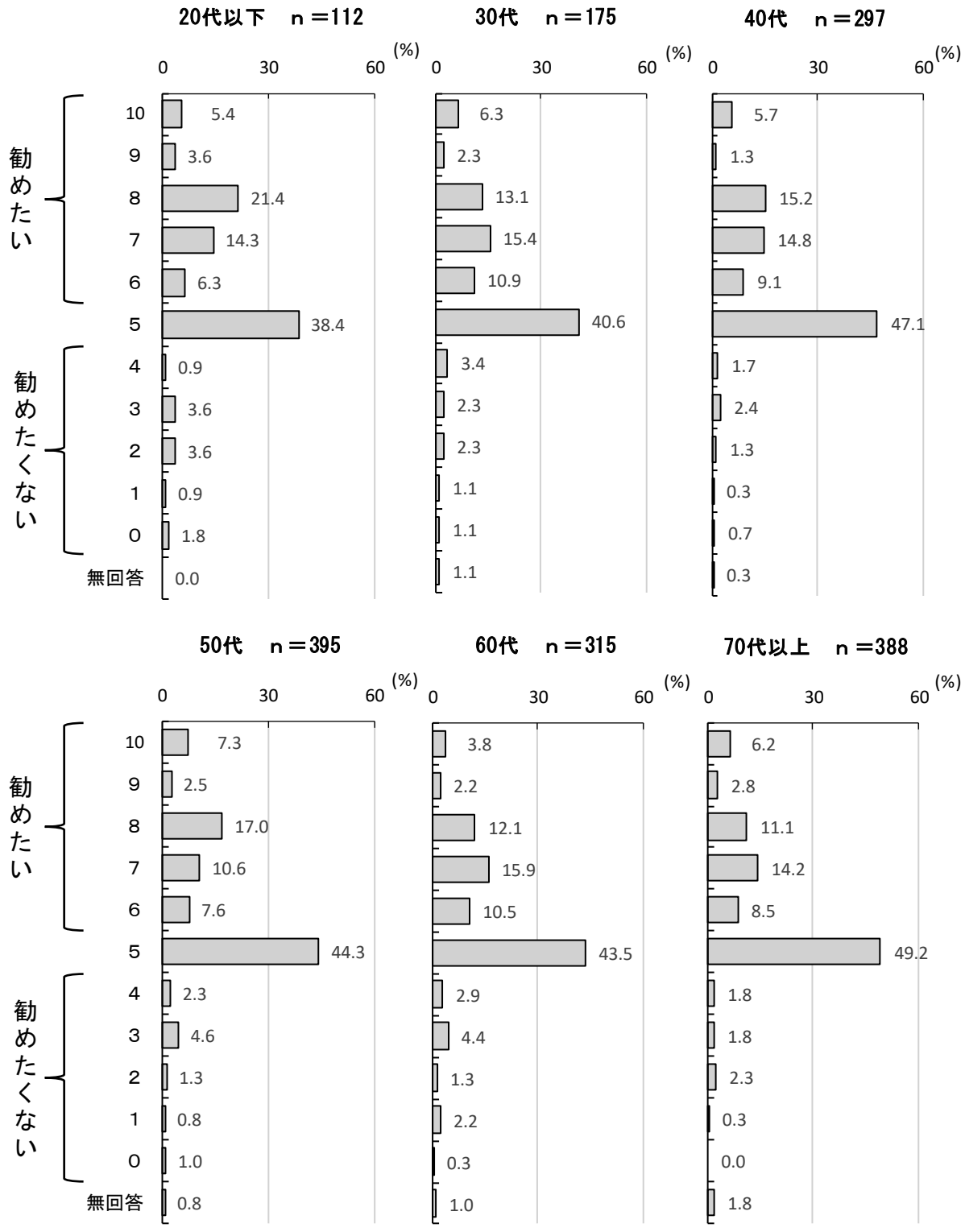


	男性	女性
勧めたい	44.7%	46.1%
勧めたくない	8.9%	8.6%
平均点	5.94	6.03

性別で見ると、男性において「５」が46.0%と、「７」が14.9%と、女性よりやや多くなっている。女性においては「８」が15.3%と、男性よりやや多くなっている。

平均点は、男性が5.94、女性が6.03となっている。

＜年代別＞

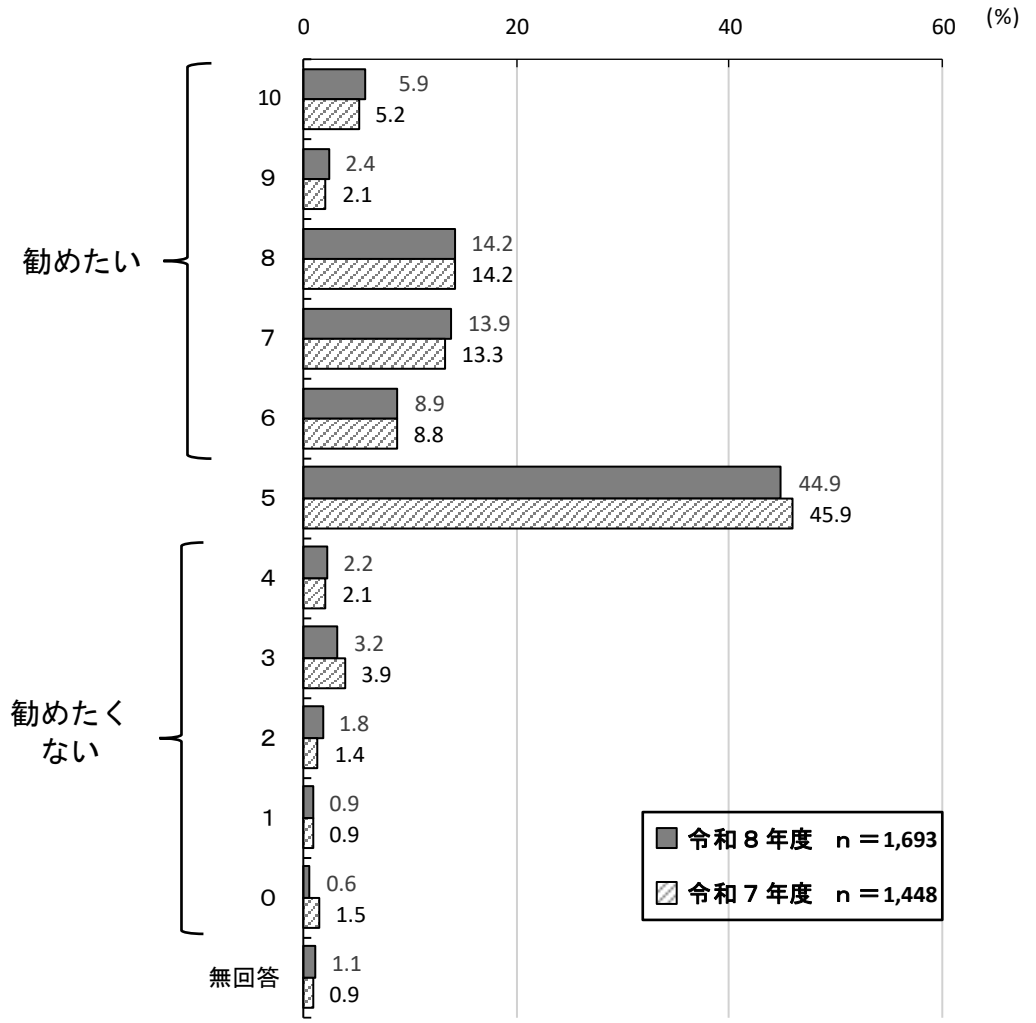


	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
勧めたい	51.0%	48.0%	46.1%	45.0%	44.5%	42.8%
勧めたくない	10.8%	10.2%	6.4%	10.0%	11.1%	6.2%
平均点	6.09	5.98	6.03	6.04	5.81	6.01

年代別では、どの年代においても「５」が多く、70代以上においては49.2％と最も多くなっている。また、『勧めたい』は年代が下がるほど多くなっており、20代以下において51.0％と最も多くなっている。

平均点は、20代以下において6.09と、全年代で最も高くなっている。

＜経年比較＞

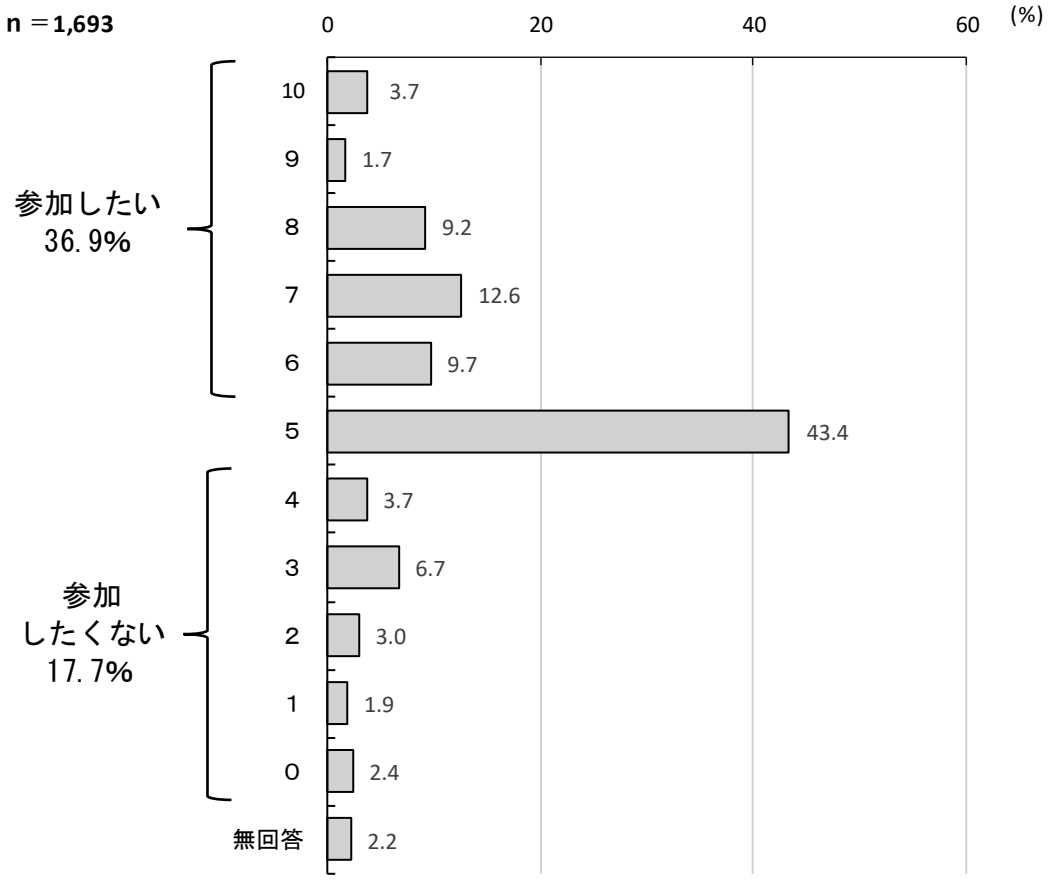


	令和８年度	令和７年度
平均点	5.99	5.88

令和７年度の調査結果と比較すると、大きな変化は見られないが、平均点はやや高くなっている。

（４）地域活動の参加意向（10点評価）

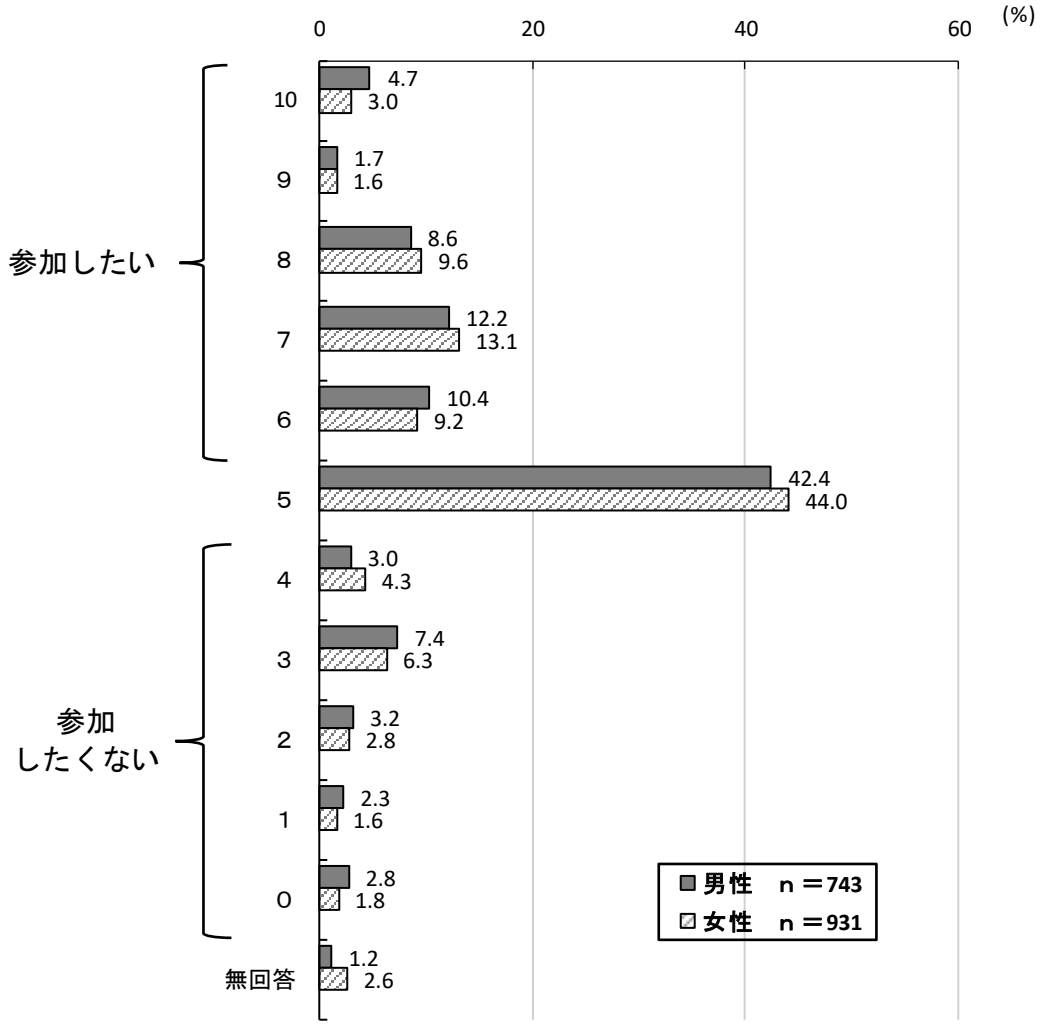
問４　あなたは、地域（まち）をよくする活動に、どの程度の気持ちで参加したいと思いますか。
次の気持ちを表した数字（10から０まで）から１つだけ選んで○をつけてください。



	全体
平均点	5.43

地域活動の参加意向は、「５」が43.4％と最も多く、次いで「７」が12.6％、「６」が9.7％となっている。また、『参加したい』（「10」～「６」の合計）は36.9％、『参加したくない』（「４」～「０」の合計）は17.7％で、平均点は5.43となっている。

＜性別＞

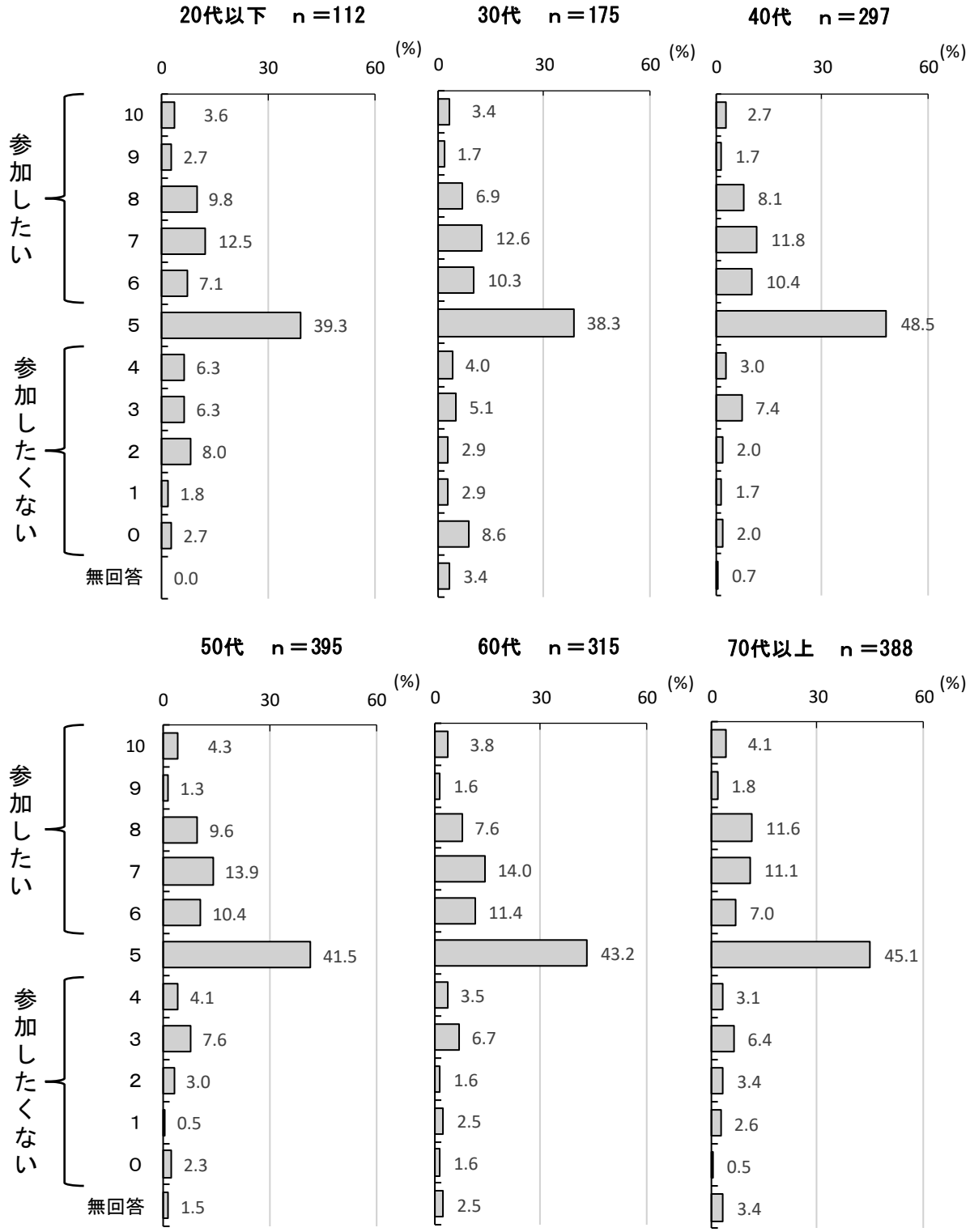


	男性	女性
参加したい	37.6%	36.5%
参加したくない	18.7%	16.8%
平均点	5.41	5.46

性別で見ると、男性において「10」が4.7%、「６」が10.4%と、女性より多くなっている。女性においては「８」が9.6%、「７」が13.1%、「５」が44.0%と、男性より多くなっている。また、「３」から「０」はいずれも男性が女性よりやや多くなっている。『参加したい』・『参加したくない』いずれも、男性が女性より多くなっている。

平均点は、男性が5.41、女性が5.46となっている。

＜年代別＞

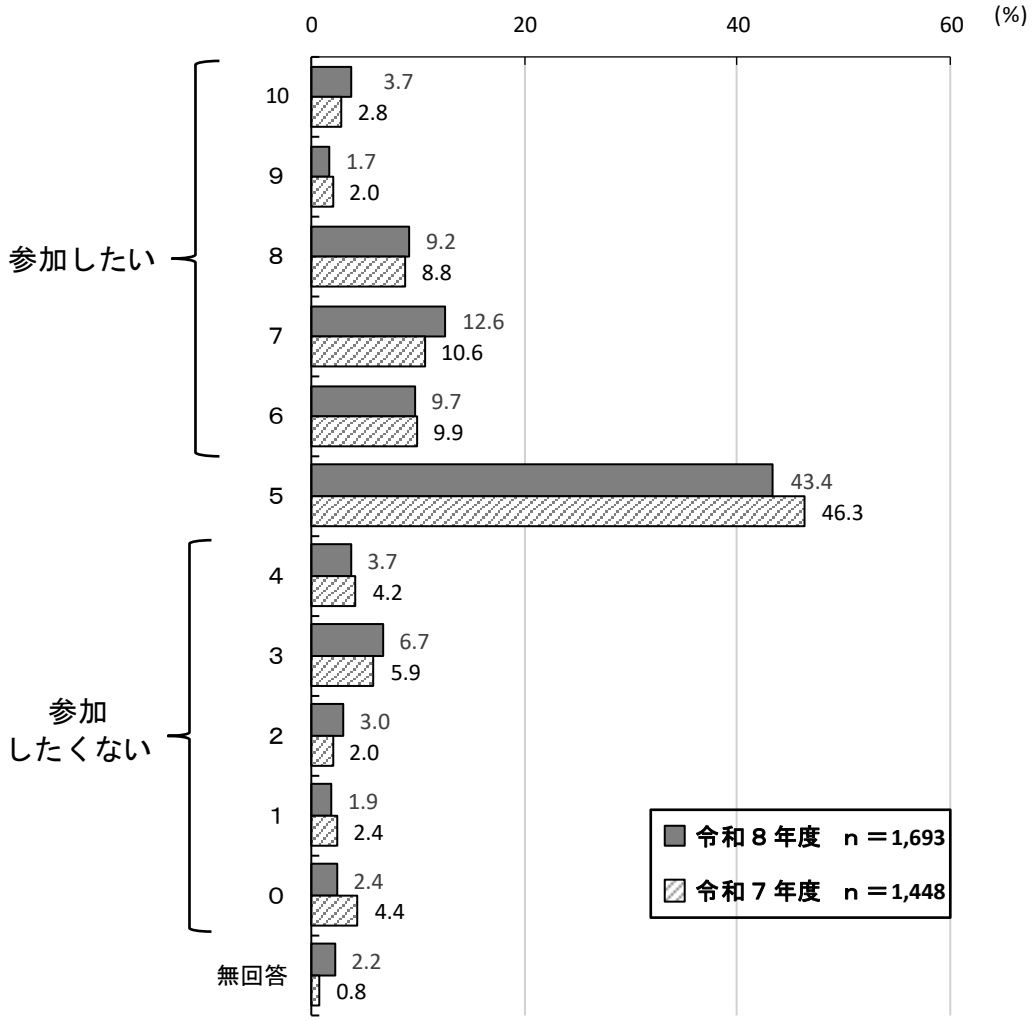


	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
参加したい	35.7%	34.9%	34.7%	39.5%	38.4%	35.6%
参加したくない	25.1%	23.5%	16.1%	17.5%	15.9%	16.0%
平均点	5.27	5.03	5.38	5.53	5.49	5.55

年代別では、どの年代においても「５」が多く、40代においては48.5％と最も多くなっている。また、20代以下において『参加したくない』が25.1％と、ほかの年代に比べて多くなっている。

平均点は、70代以上が5.55と、全年代で最も高くなっている。

＜経年比較＞

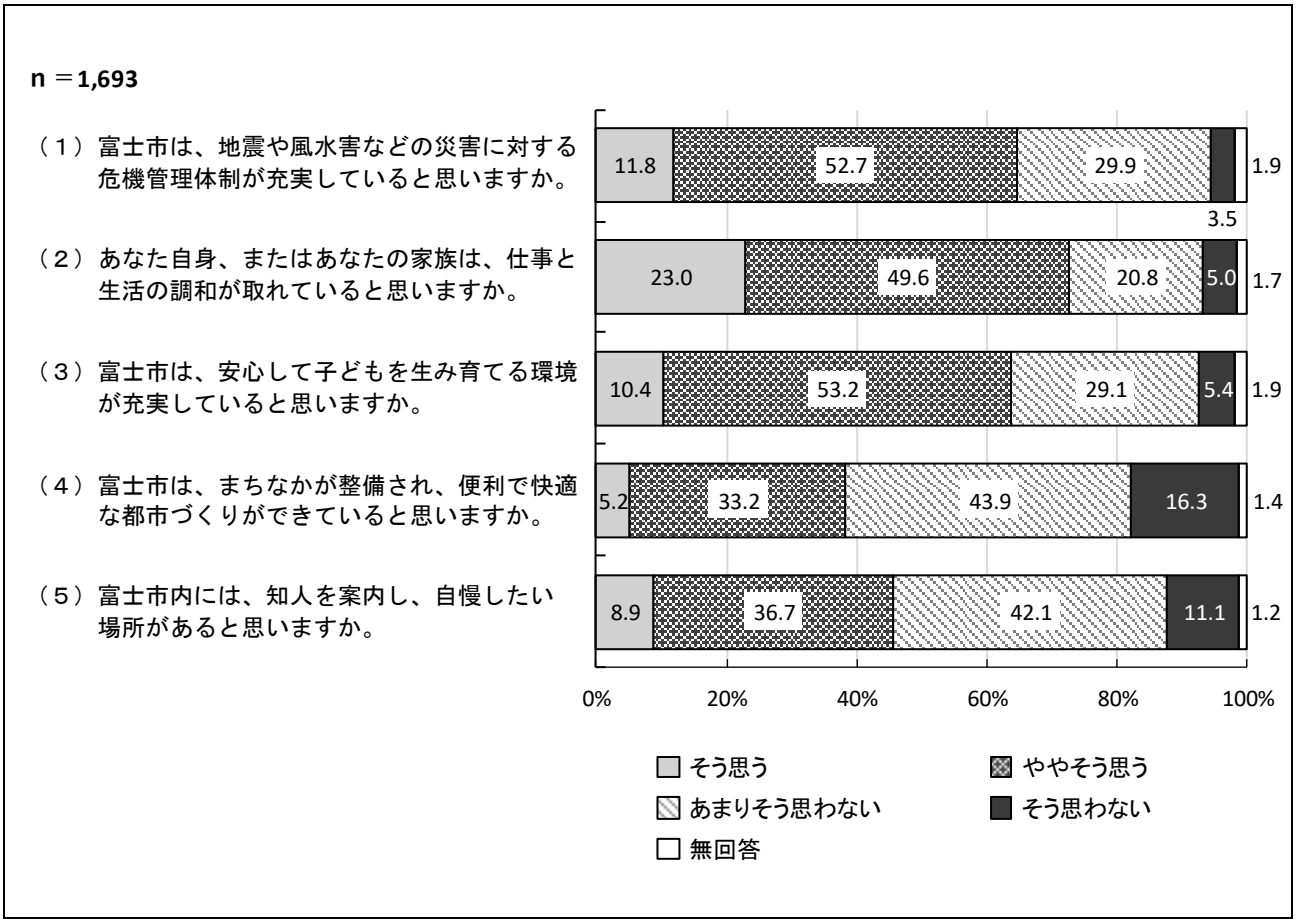


	令和８年度	令和７年度
平均点	5.43	5.26

令和７年度の調査結果と比較すると、「７」が2.0ポイント増加し、「５」が2.9ポイント減少していて、平均点はやや高くなっている。

（５）「富士市デジタル田園都市総合戦略」各戦略の満足度

問５　次の各項目の満足度について、あなたの気持ちに近いものを１つずつ選んで○をつけてください。

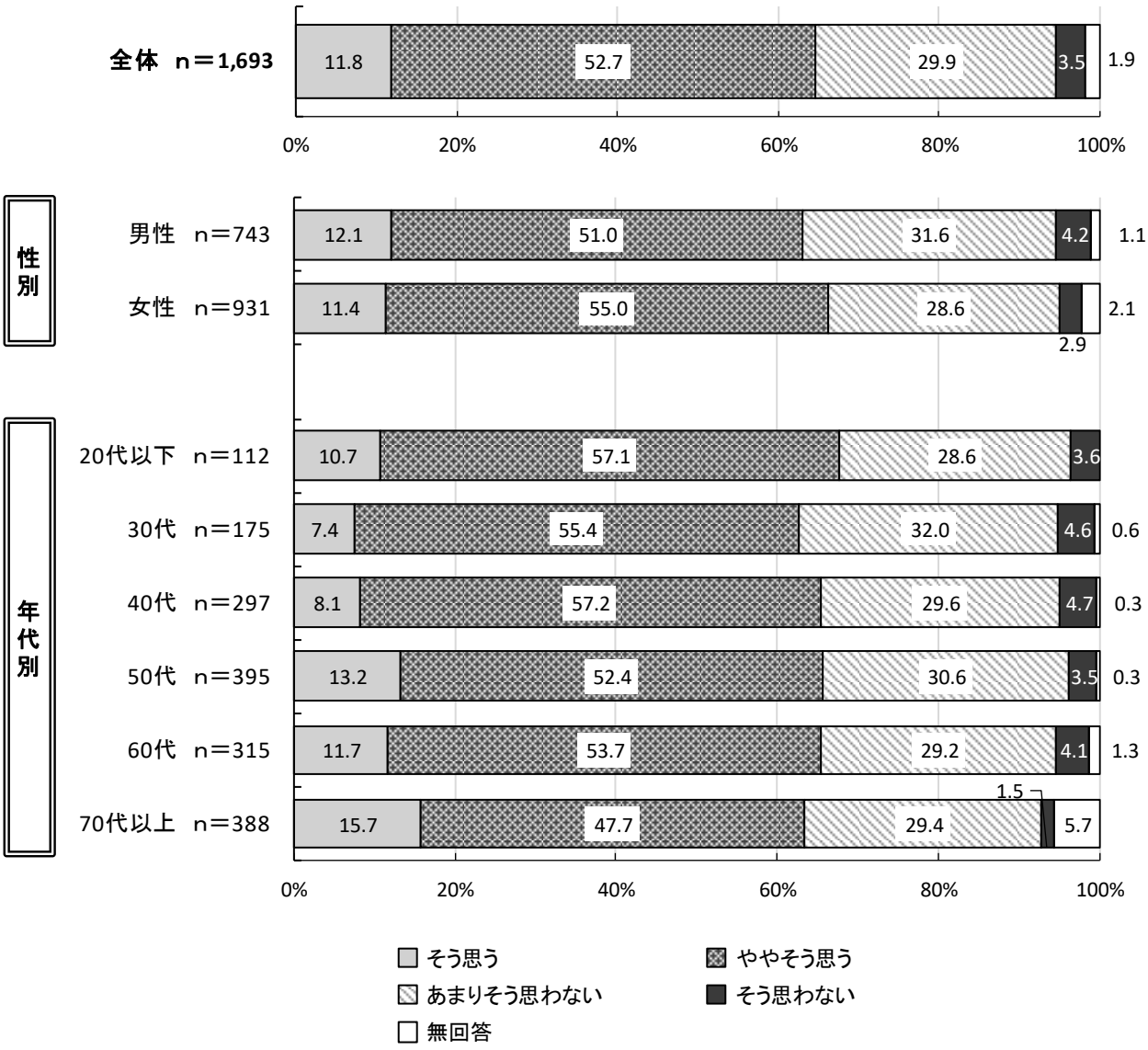


「富士市デジタル田園都市総合戦略」各戦略の満足度において、『そう思う』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）が多い項目は、順に「２　あなた自身、またはあなたの家族は、仕事と生活の調和が取れていると思いますか。」（72.6％）、「１　富士市は、地震や風水害などの災害に対する危機管理体制が充実していると思いますか。」（64.5％）、「３　富士市は、安心して子どもを生み育てる環境が充実していると思いますか。」（63.6％）となっている。

一方、『そう思わない』（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）が多い項目は、順に「４　富士市は、まちなかが整備され、便利で快適な都市づくりができていると思いますか。」（60.2％）、「５　富士市内には、知人を案内し、自慢したい場所があると思いますか。」（53.2％）となっている。

※以下、『そう思う』は「そう思う」と「ややそう思う」、『そう思わない』は「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせたものとする。

1　富士市は、地震や風水害などの災害に対する危機管理体制が充実していると思いますか。

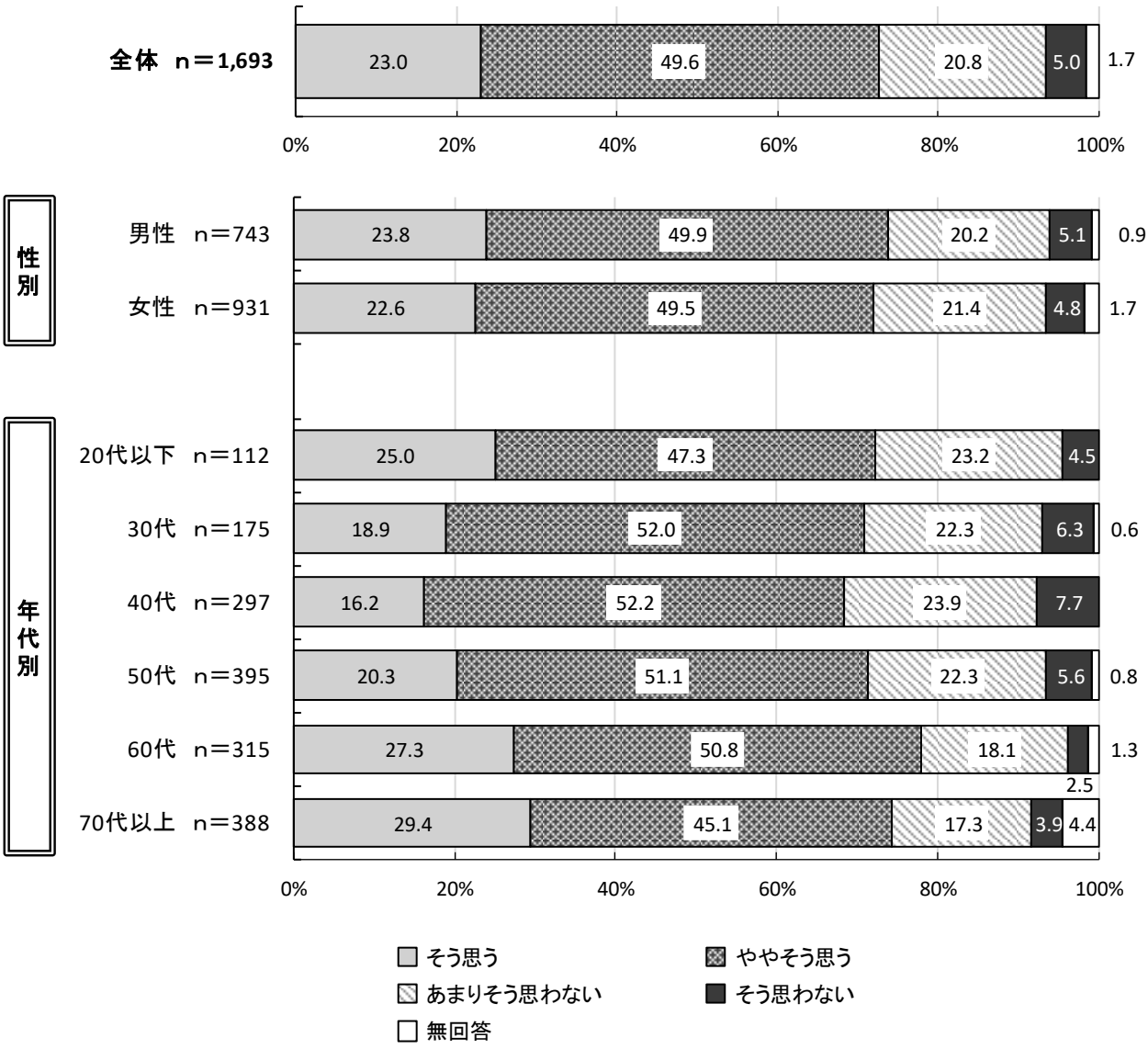


「富士市は、地震や風水害などの災害に対する危機管理体制が充実していると思いますか。」という設問については、『そう思う』が64.5%、『そう思わない』が33.4%となっている。

性別で見ると、女性において「ややそう思う」が55.0%と、男性より多くなっている。

年代別では、「そう思う」は70代以上において15.7%と、ほかの年代に比べて多くなっている。また、『そう思う』は20代以下が67.8%、『そう思わない』は30代が36.6%と、それぞれ全年代で最も多くなっている。

２　あなた自身、またはあなたの家族は、仕事と生活の調和が取れていると思いますか。

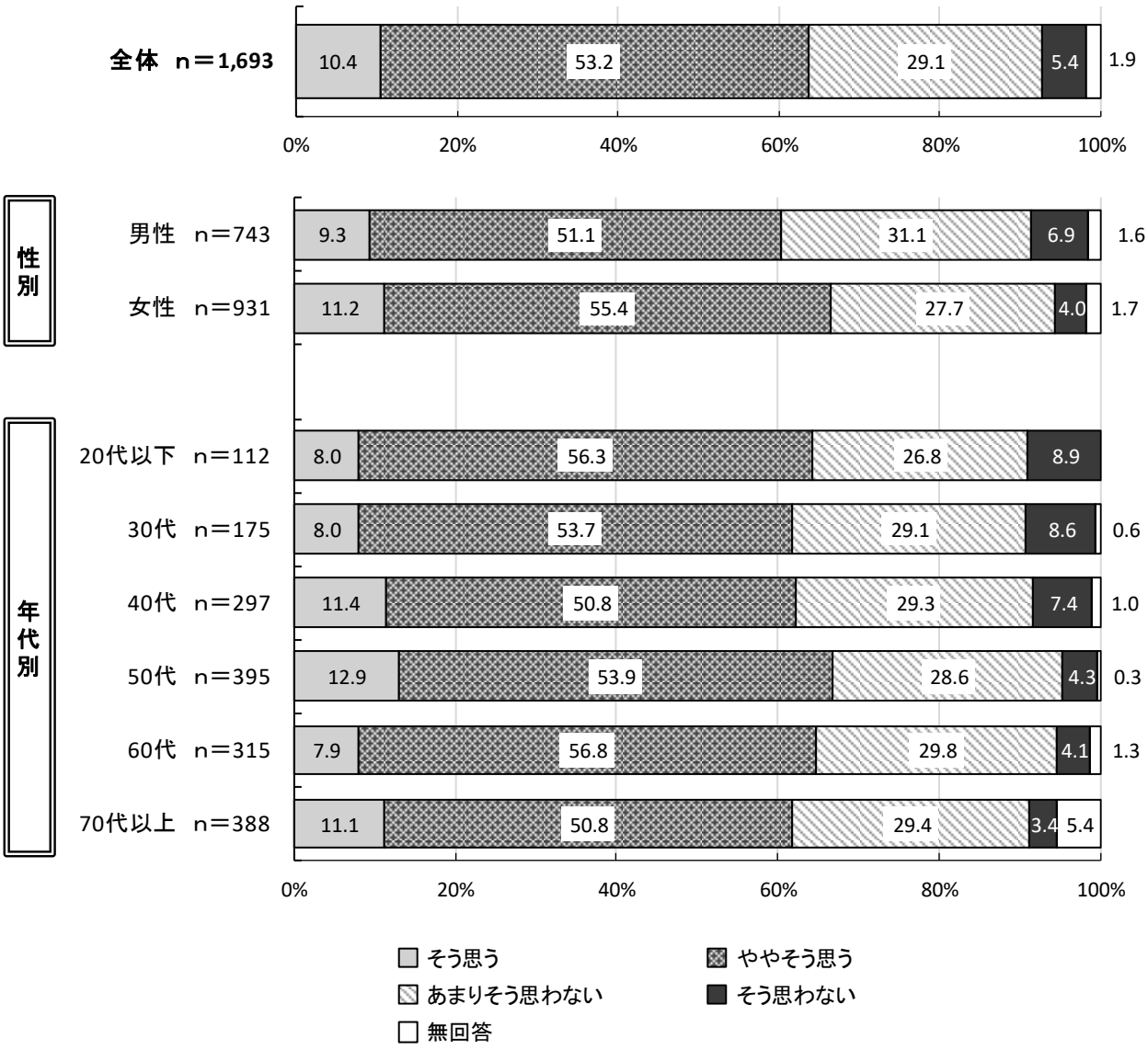


「あなた自身、またはあなたの家族は、仕事と生活の調和が取れていると思いますか。」という設問については、『そう思う』が72.6%、『そう思わない』が25.8%となっている。

性別で見ると、大きな差異は見られない。

年代別では、30代・40代において「そう思う」が２割未満と、ほかの年代に比べて少なくなっている。また、『そう思う』は60代が78.1%と全年代で最も多く、次いで70代以上が74.5%となっている。『そう思わない』は40代が31.6%と全年代で最も多く、次いで30代が28.6%、50代が27.9%となっている。

３　富士市は、安心して子どもを生み育てる環境が充実していると思いますか。

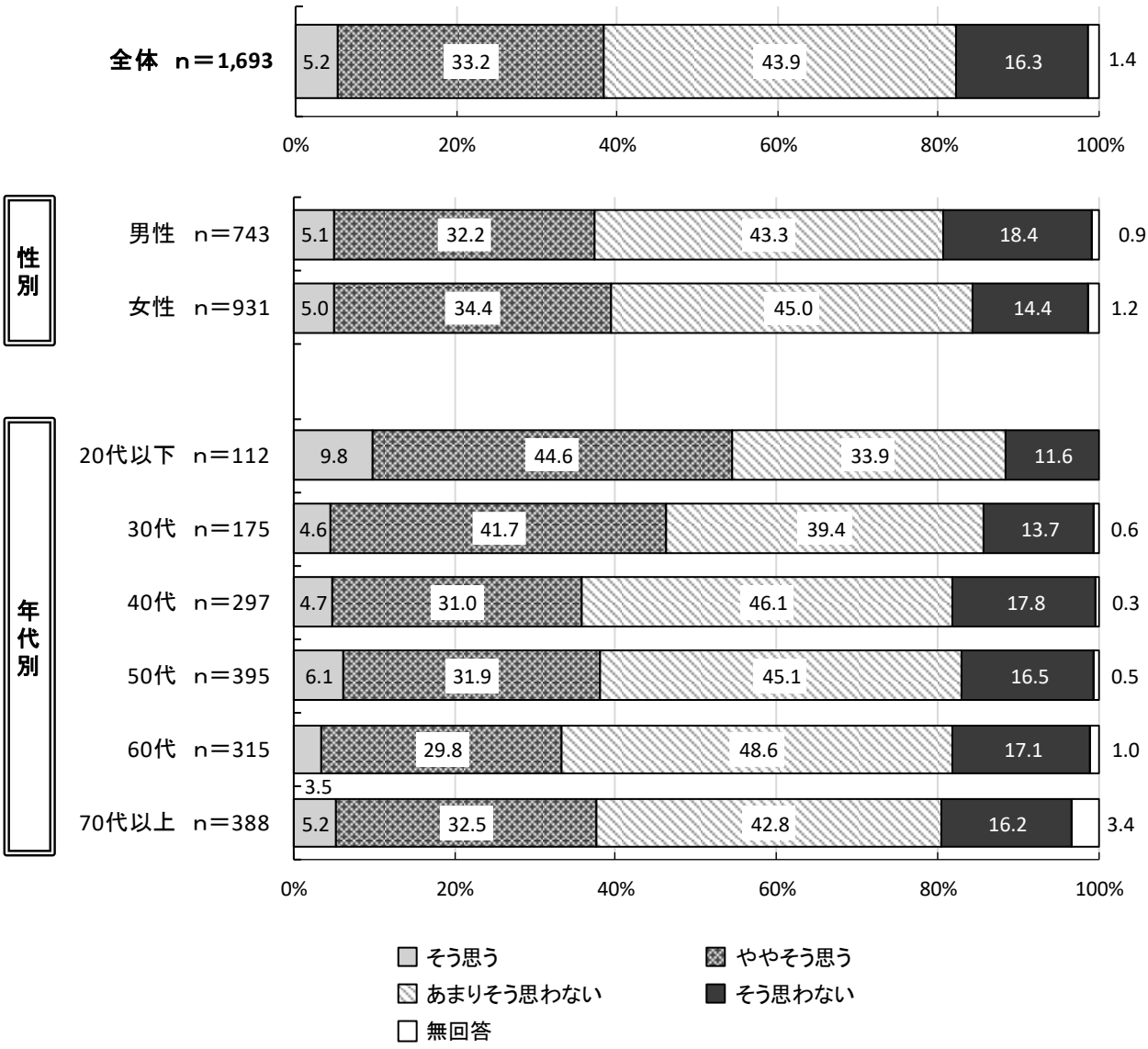


「富士市は、安心して子どもを生み育てる環境が充実していると思いますか。」という設問については、『そう思う』が63.6%、『そう思わない』が34.5%となっている。

性別で見ると、男性において「あまりそう思わない」・「そう思わない」がいずれも女性より多くなっている。女性においては「そう思う」・「ややそう思う」がいずれも男性より多くなっている。

年代別では、「そう思う」は50代において12.9%とほかの年代に比べて多く、「そう思わない」は40代以下において７%以上と若年層になるほど多くなっている。また、『そう思う』は50代が66.8%と全年代で最も多くなっている。『そう思わない』は30代が37.7%と全年代で最も多く、次いで40代が36.7%となっている。

４　富士市は、まちなかが整備され、便利で快適な都市づくりができていると思いますか。

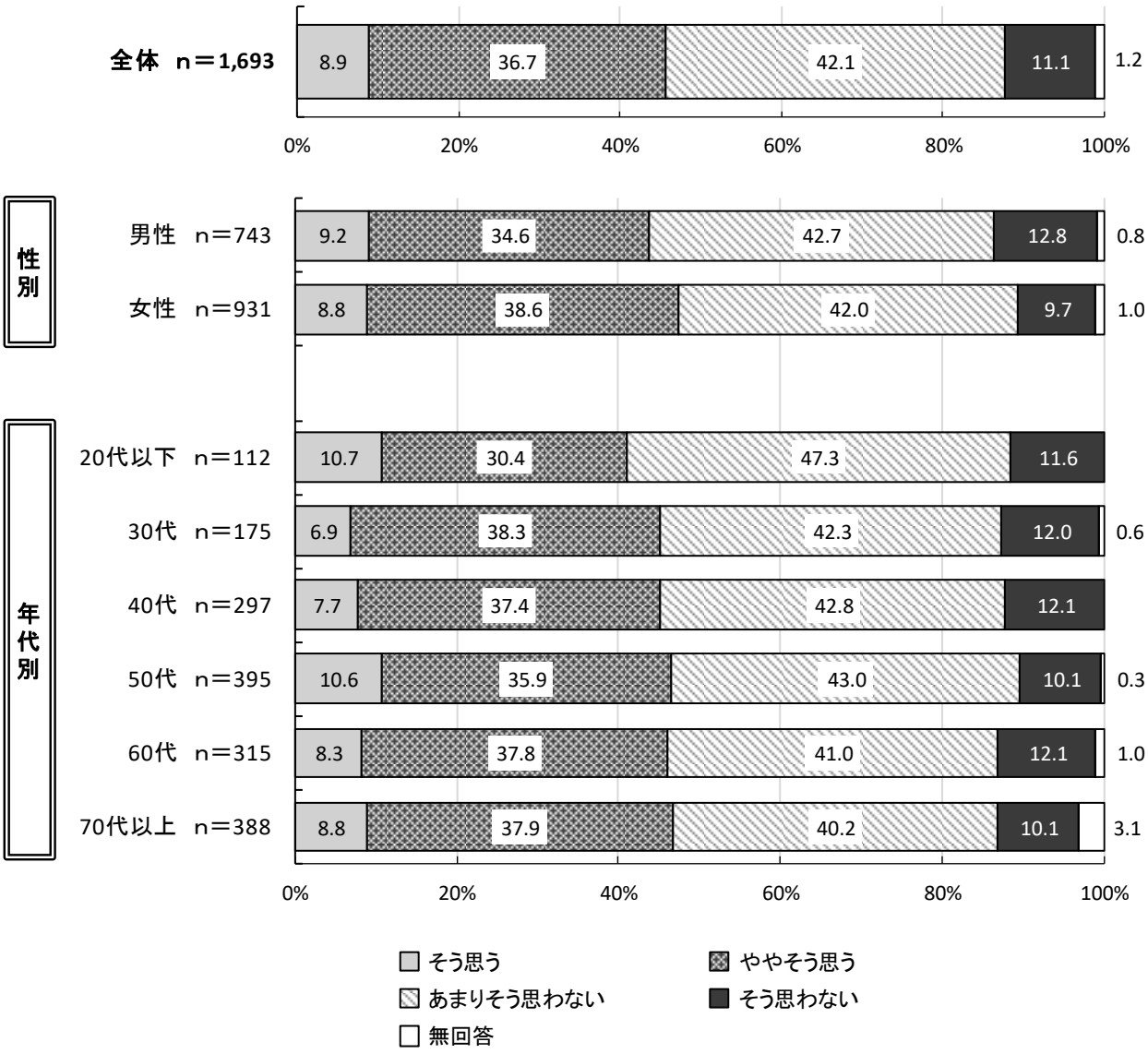


「富士市は、まちなかが整備され、便利で快適な都市づくりができていると思いますか。」という設問については、『そう思う』が38.4%、『そう思わない』が60.2%となっている。

性別で見ると、男性において「そう思わない」が18.4%と、女性より多くなっている。

年代別では、20代以下において「ややそう思う」が44.6%と、ほかの年代に比べて多くなっている。60代においては「あまりそう思わない」が48.6%と、ほかの年代に比べて多くなっている。また、『そう思う』は20代以下が54.4%、『そう思わない』は60代が65.7%と全年代で最も多く、次いで40代が63.9%、50代が61.6%となっている。

５　富士市内には、知人を案内し、自慢したい場所があると思いますか。



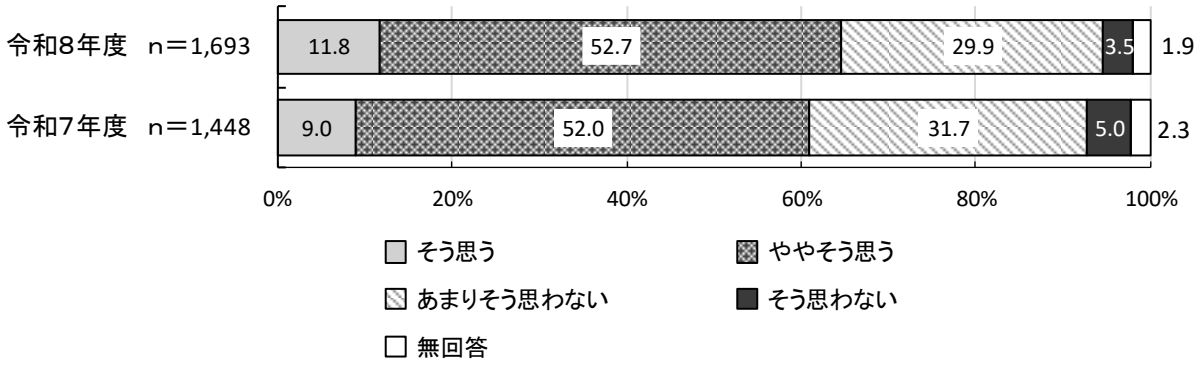
「富士市内には、知人を案内し、自慢したい場所があると思いますか。」という設問については、『そう思う』が45.6%、『そう思わない』が53.2%となっている。

性別で見ると、女性において「ややそう思う」が38.6%と、男性より多くなっている。

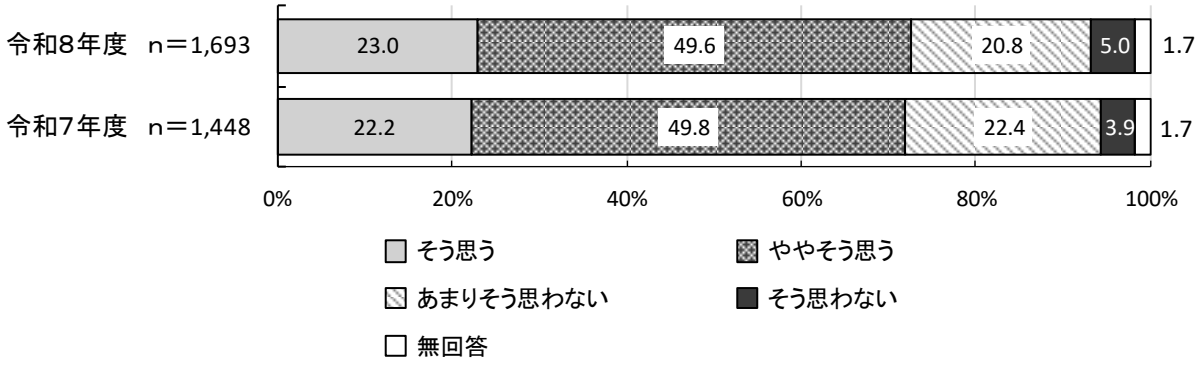
年代別では、20代以下・50代において「そう思う」が10%以上と、ほかの年代に比べて多くなっている。また、『そう思う』は70代以上が46.7%と全年代で最も多く、次いで50代が46.5%、60代が46.1%となっている。『そう思わない』は20代以下が58.9%と全年代で最も多く、次いで40代が54.9%、30代が54.3%となっている。

＜経年比較＞

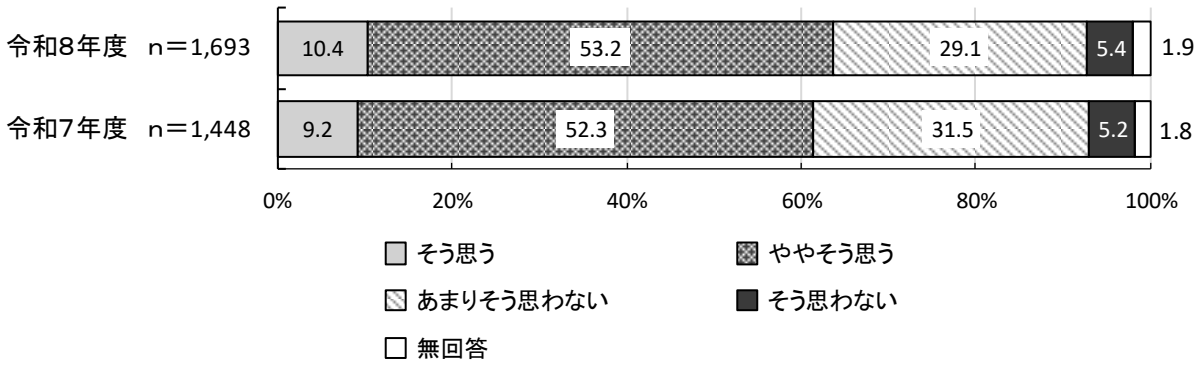
1　富士市は、地震や風水害などの災害に対する危機管理体制が充実していると思いますか。



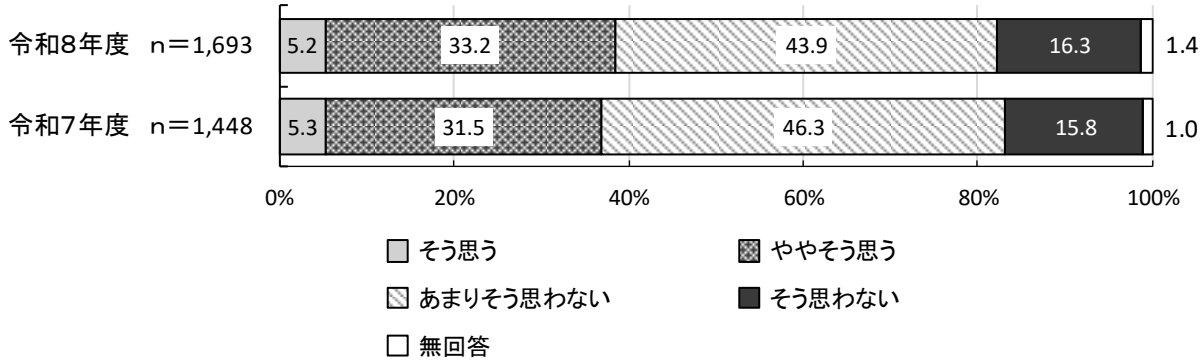
2　あなた自身、またはあなたの家族は、仕事と生活の調和が取れていると思いますか。



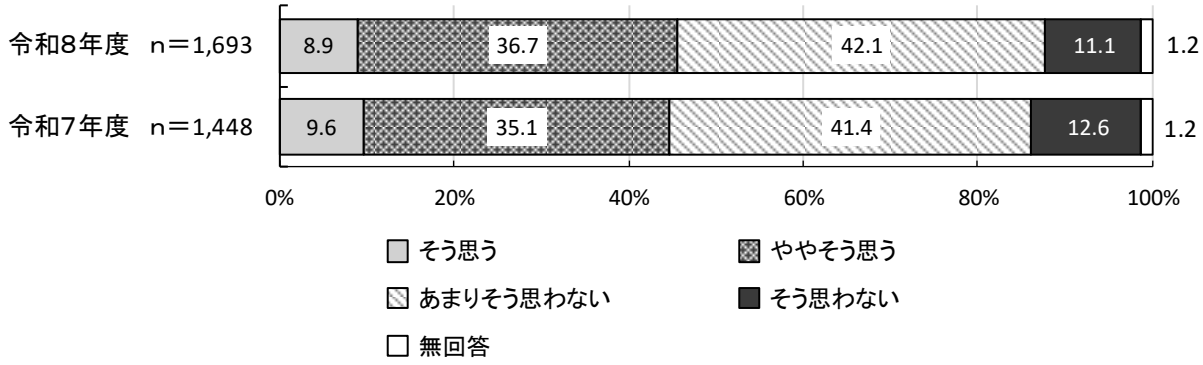
3　富士市は、安心して子どもを生み育てる環境が充実していると思いますか。



4　富士市は、まちなかが整備され、便利で快適な都市づくりができていると思いますか。



5　富士市内には、知人を案内し、自慢したい場所があると思いますか。

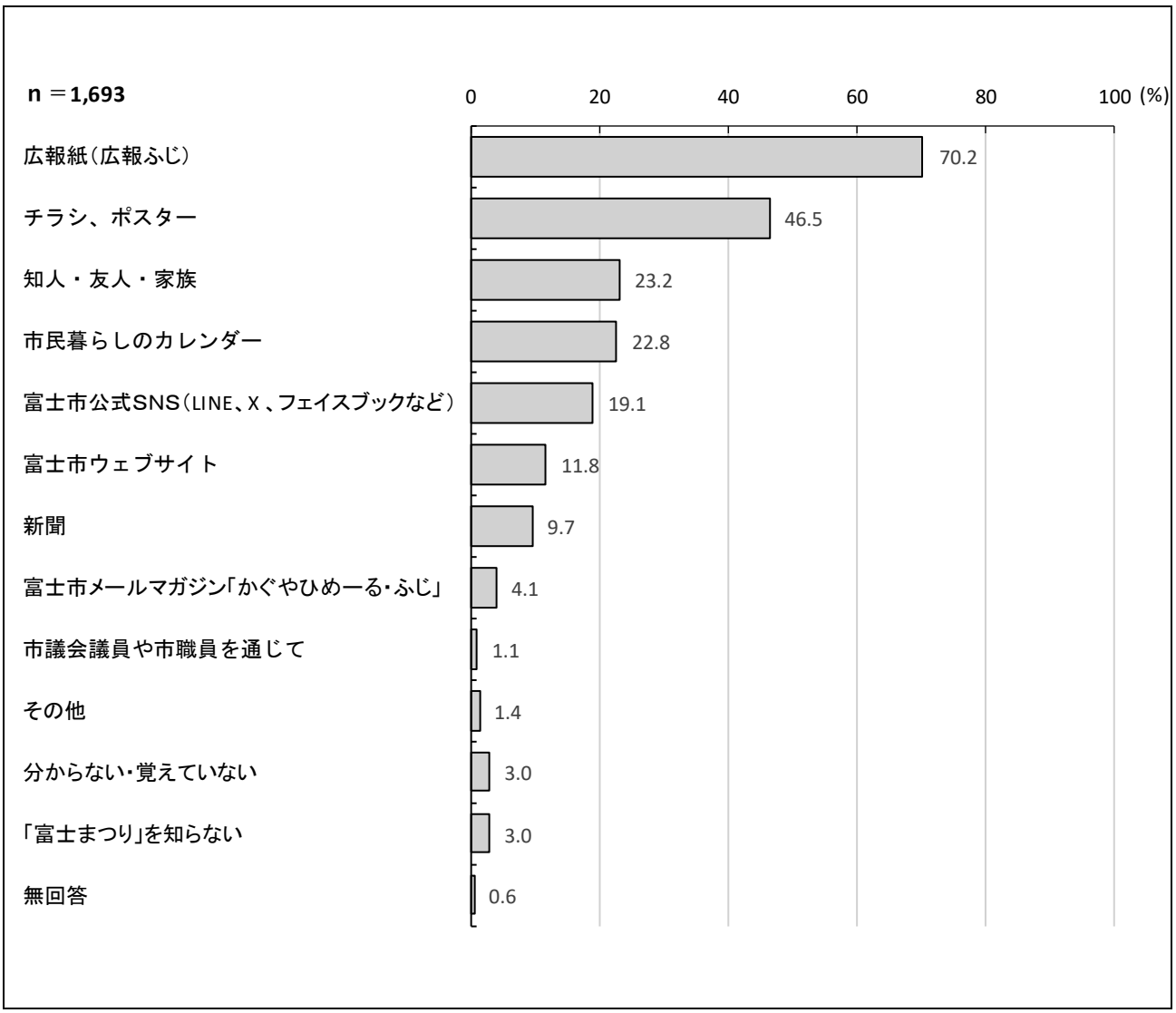


令和７年度の調査結果と比較すると、「１　富士市は、地震や風水害などの災害に対する危機管理体制が充実していると思いますか。」という設問において、『そう思う』が3.5ポイント増加している。「３　富士市は、安心して子どもを生み育てる環境が充実していると思いますか。」という設問では、『そう思う』が2.1ポイント増加している。その他の設問においては、大きな変化は見られないが、どの設問においても『そう思う』が数ポイント増加している。

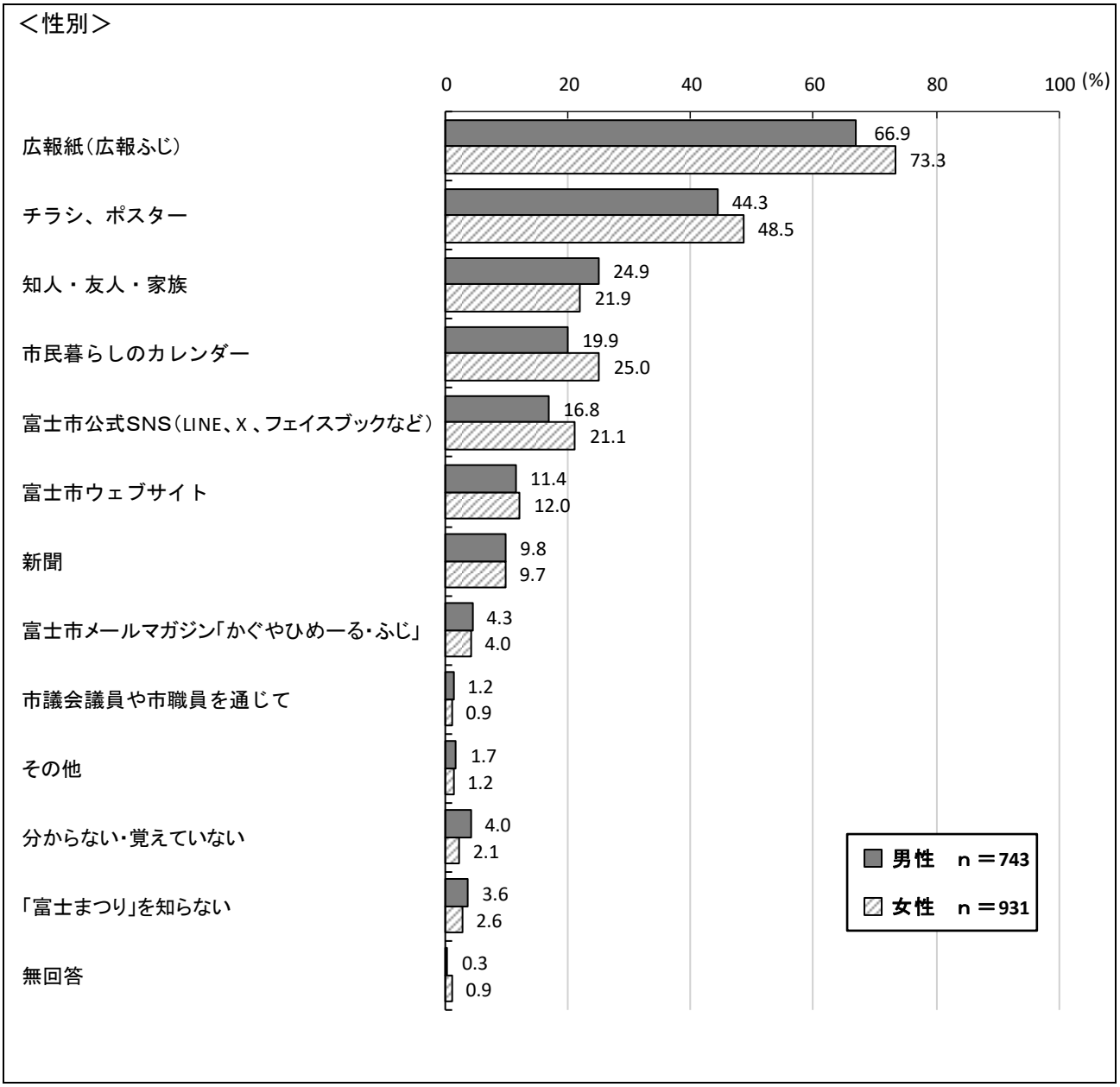
■「富士まつり」について

（１）「富士まつり」の情報源

問６　「富士まつり」の情報を何から得ていますか。次の中から当てはまるものを全て選んで○をつけてください。「富士まつり」を知らない人は「12　「富士まつり」を知らない」に○をつけてください。

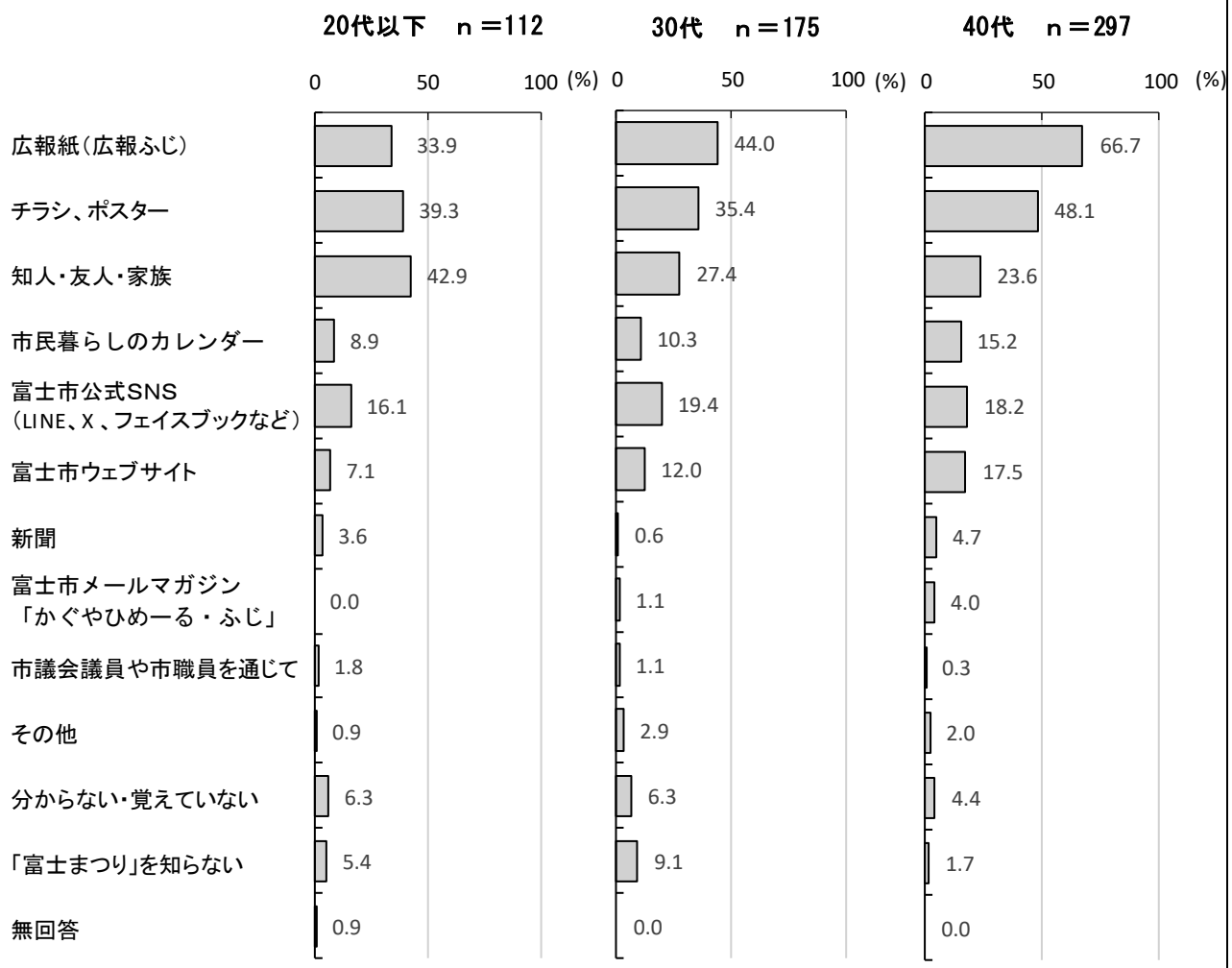


「富士まつり」の情報源については、「広報紙（広報ふじ）」が70.2％と最も多くなっている。次いで「チラシ、ポスター」が46.5％、「知人・友人・家族」が23.2％となっている。



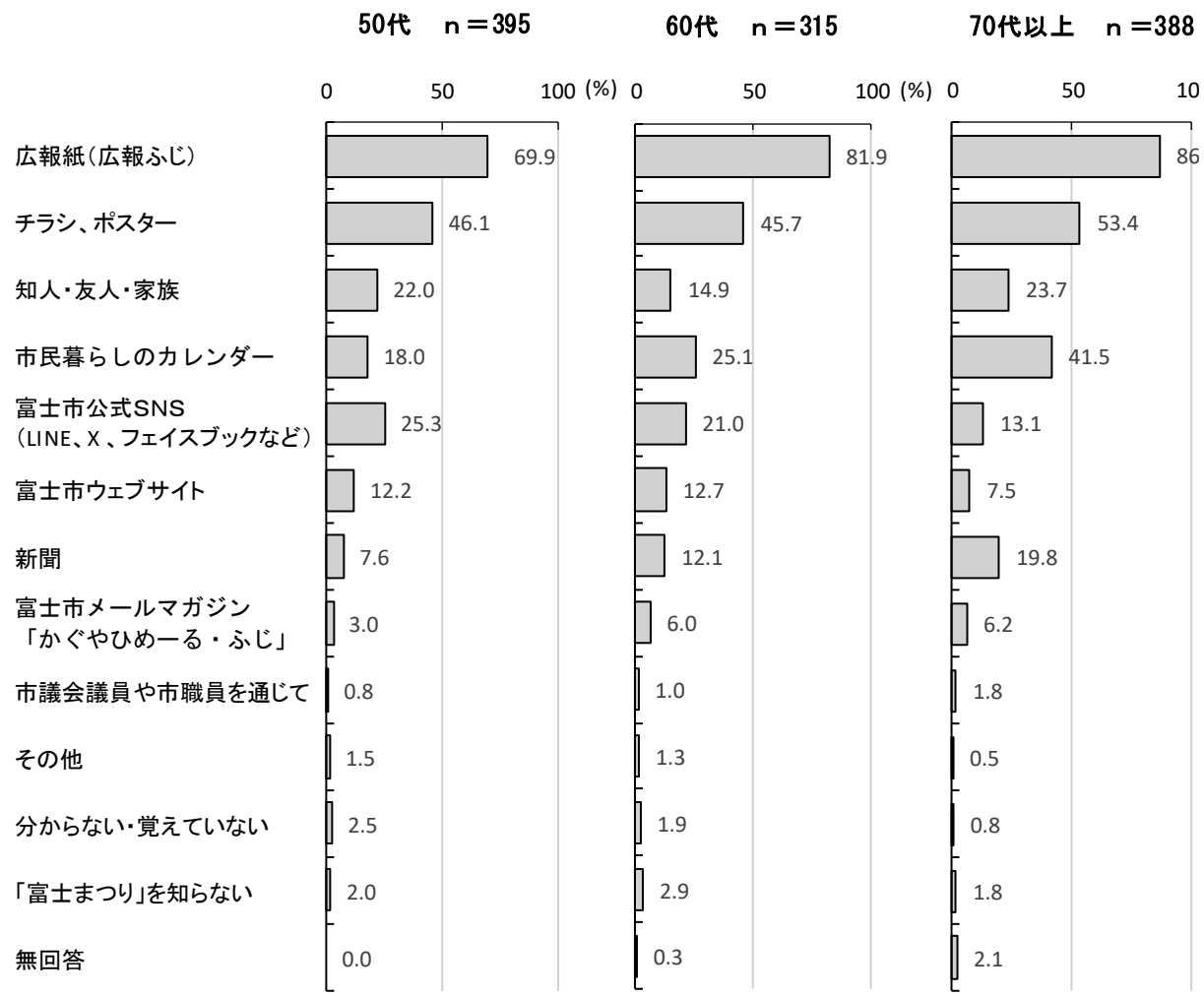
性別で見ると、女性において「広報紙（広報ふじ）」「チラシ、ポスター」「市民暮らしのカレンダー」「富士市公式ＳＮＳ」が男性より多くなっている。男性においては「知人・友人・家族」が女性より多くなっている。

＜年代別①＞

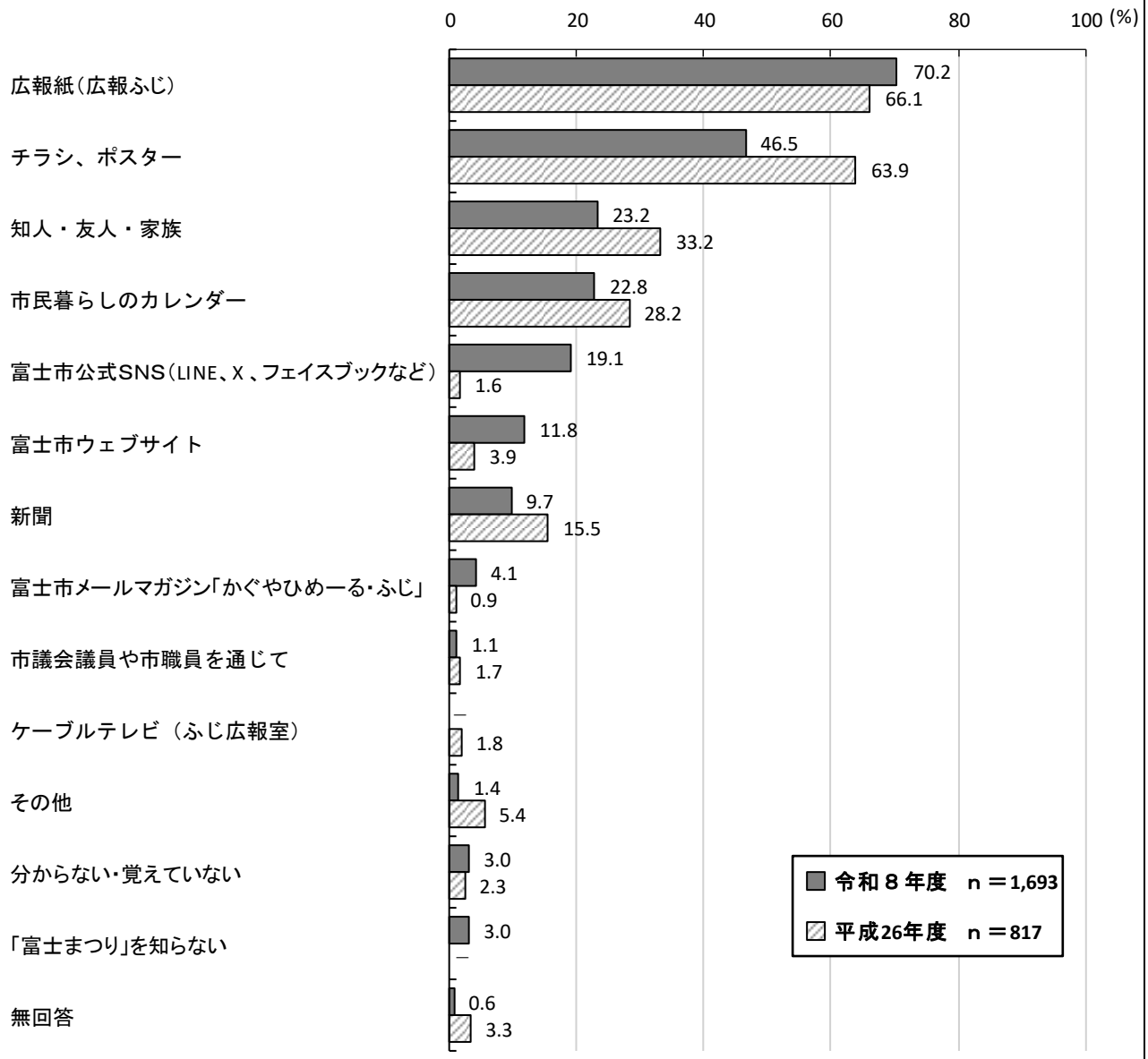


年代別では、20代以下を除く全ての年代において「広報紙（広報ふじ）」が最も多く、特に60代以上において80％以上と多くなっている。20代以下においては「知人・友人・家族」が42.9％と最も多くなっている。70代以上では「市民暮らしのカレンダー」が41.5％と、ほかの年代に比べて多くなっている。

＜年代別②＞


50代　n＝395
60代　n＝315
70代以上　n＝388
0
50
100 (%)
広報紙（広報ふじ）
69.9
81.9
86
チラシ、ポスター
46.1
45.7
53.4
知人・友人・家族
22.0
14.9
23.7
市民暮らしのカレンダー
18.0
25.1
41.5
富士市公式SNS
（LINE、X 、フェイスブックなど）
25.3
21.0
13.1
富士市ウェブサイト
12.2
12.7
7.5
新聞
7.6
12.1
19.8
富士市メールマガジン
「かぐやひめーる・ふじ」
3.0
6.0
6.2
市議会議員や市職員を通じて
0.8
1.0
1.8
その他
1.5
1.3
0.5
分からない・覚えていない
2.5
1.9
0.8
「富士まつり」を知らない
2.0
2.9
1.8
無回答
0.0
0.3
2.1

＜経年比較＞



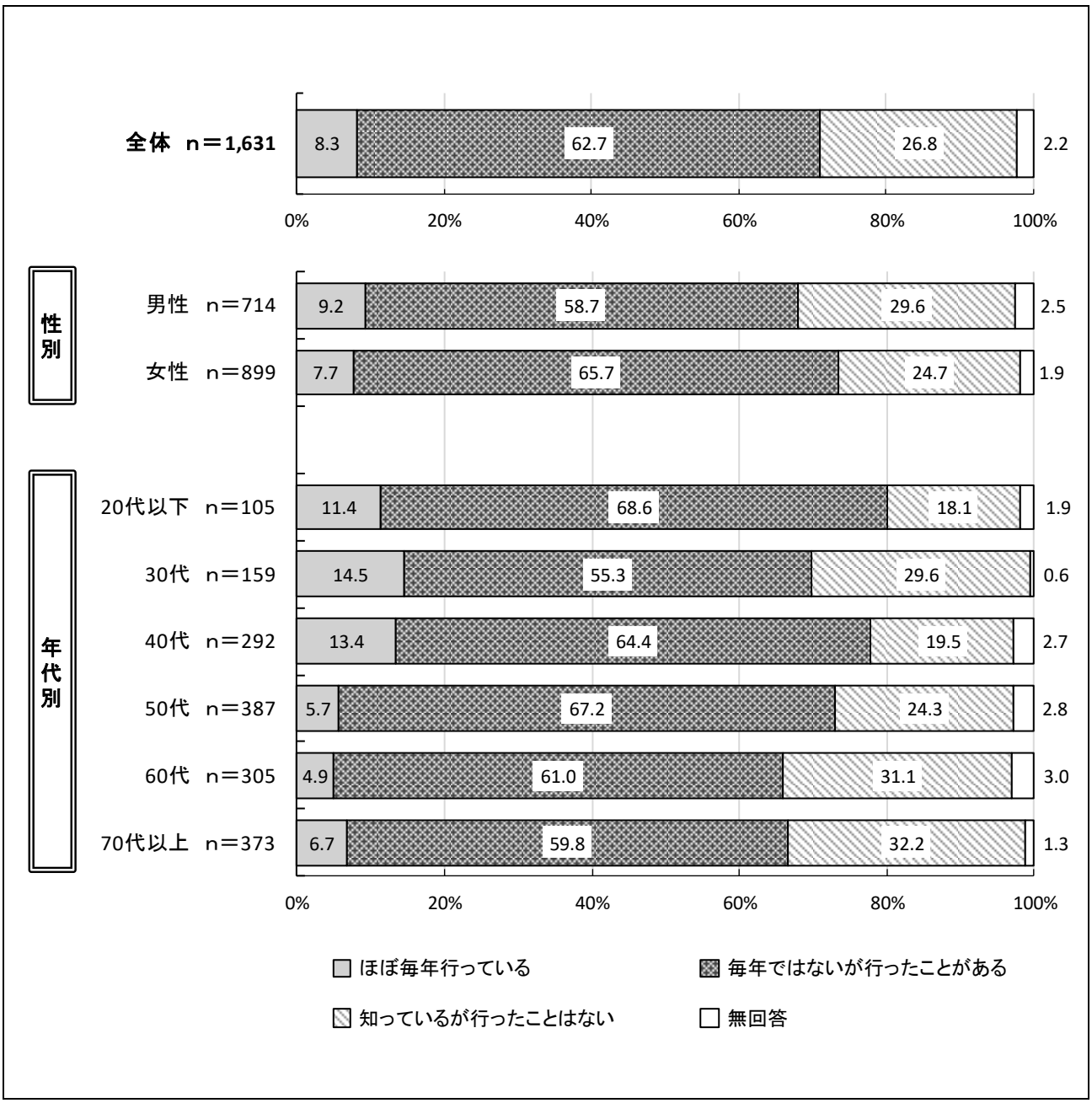
※平成26年度調査は、「富士まつり」に「参加したことがある」「見に行ったことがある」と回答した方を対象に実施。
　また、選択肢は「富士市フェブサイト」は「ウェブサイト」、「富士市公式SNS」は「SNS」で調査。
※令和8年度調査より、「ケーブルテレビ（ふじ広報室）」は削除、「「富士まつり」を知らない」を追加。

平成26年度の調査結果と比較すると、調査対象・選択肢が異なるため参考となるが、「チラシ、ポスター」が17.4ポイント減少し、「富士市公式ＳＮＳ」「富士市ウェブサイト」が大きく増加している。

（２）「富士まつり」参加有無

■ 問６で「12 「富士まつり」を知らない」を選択しなかった人（富士まつりを知っている人）のみ

問７　これまでに「富士まつり」に行ったことがありますか。次の中から１つだけ選んで○をつけてください。



「富士まつり」の参加有無については、「毎年ではないが行ったことがある」が62.7％と最も多く、「ほぼ毎年行っている」が8.3％、「知っているが行ったことはない」が26.8％となっている。

性別で見ると、女性において「毎年ではないが行ったことがある」が65.7％と、男性より多くなっている。男性においては「知っているが行ったことはない」が29.6％と、女性より多くなっている。

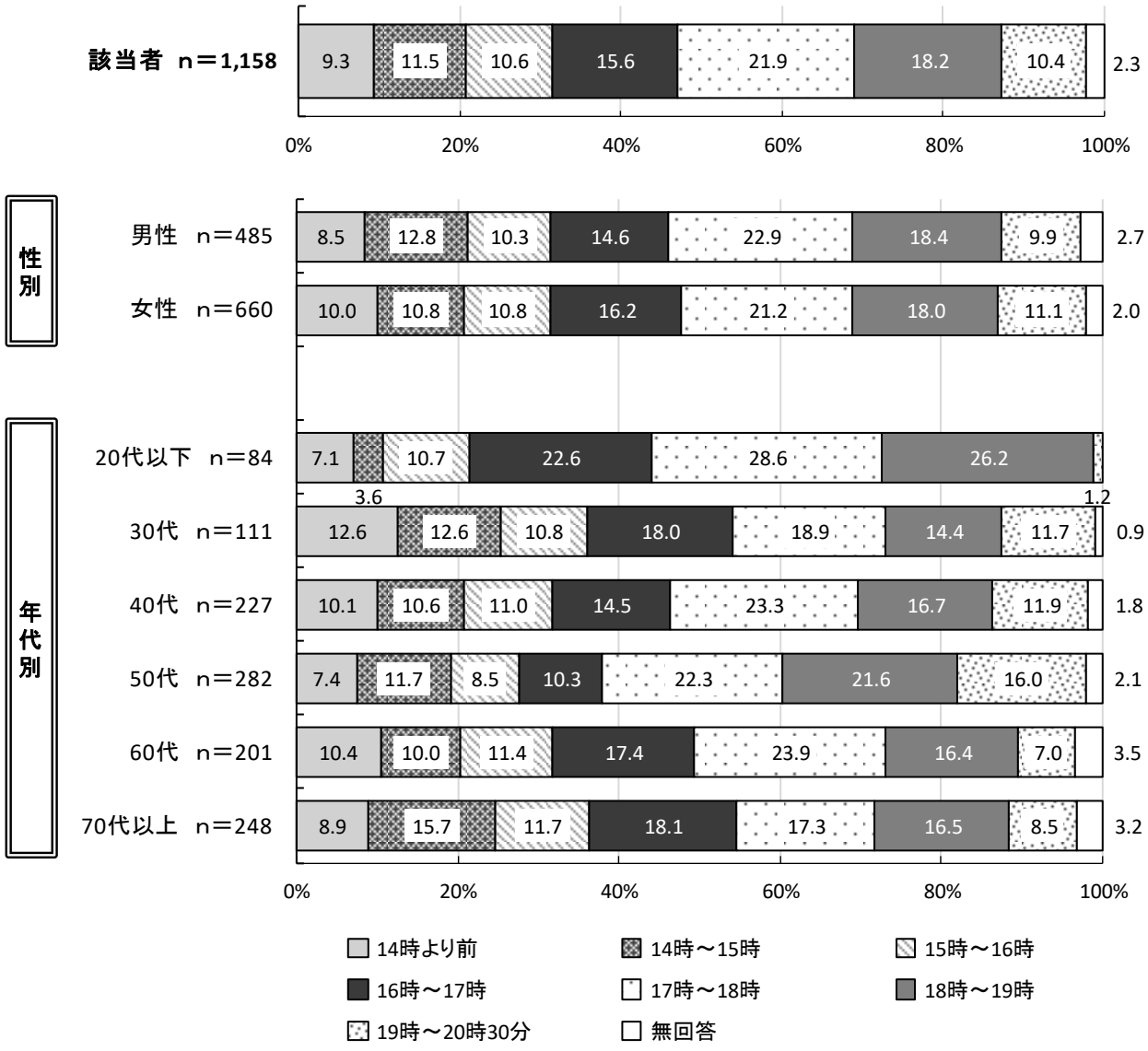
年代別では、40代以下において「ほぼ毎年行っている」が10％以上と、ほかの年代に比べて多くなっている。一方、60代以上においては「知っているが行ったことはない」が30％以上とほかの年代に比べて多くなっている。

（３）「富士まつり」の来場時間と退場時間

■ 問７で「１ ほぼ毎年行っている」「２ 毎年ではないが行ったことがある」と答えた人のみ

問８　「富士まつり」への来場時間と退場時間を、それぞれ１つだけ選んで○をつけてください。
年によって時間が違う場合は、最後に来場した年（直近）についてお答えください。

【来場時間】

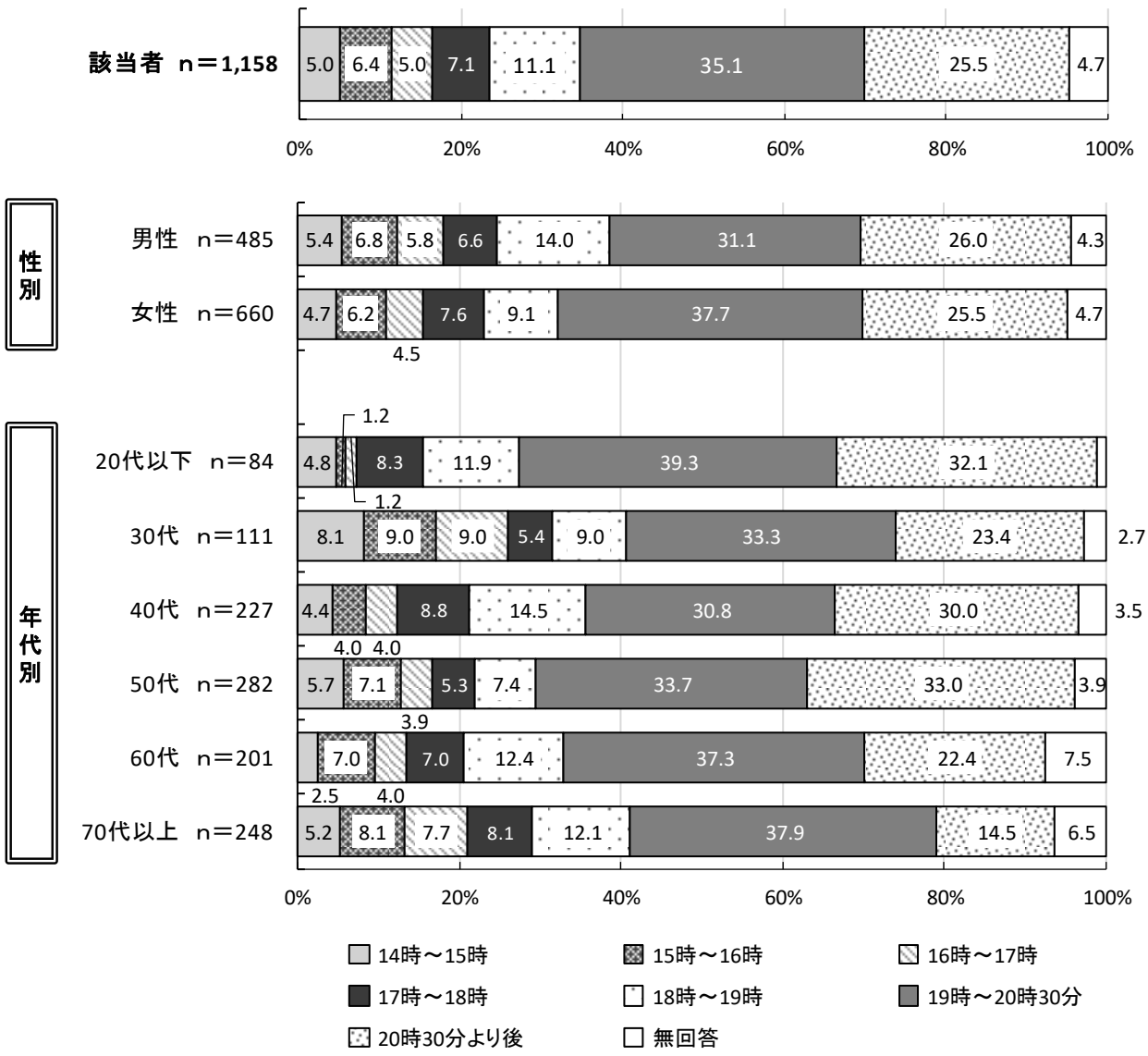


来場時間については、「17時～18時」が21.9％と最も多く、次いで「18時～19時」が18.2％、「16時～17時」が15.6％となっている。

性別で見ると、大きな差異は見られない。

年代別では、20代以下において「18時～19時」が26.2％と、ほかの年代と比べて多くなっている。60代以下において「17時～18時」が最も多くなっている。

【退場時間】

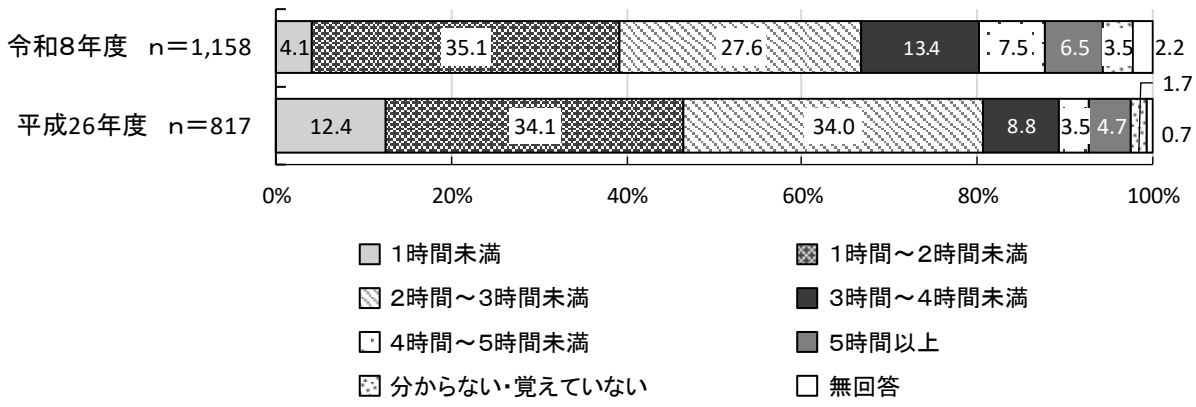


退場時間については、「19時～20時30分」が35.1％と最も多く、次いで「20時30分より後」が25.5％、「18時～19時」が11.1％となっている。

性別で見ると、女性において「19時～20時30分」が37.7％と、男性より多くなっている。

年代別では、20代以下において「19時～20時30分」が39.3％と、ほかの年代と比べて多くなっている。20代以下・40代・50代において「20時30分より後」が30％以上と、ほかの年代と比べて多くなっている。全ての年代で「19時～20時30分」が最も多くなっている。

＜経年比較＞



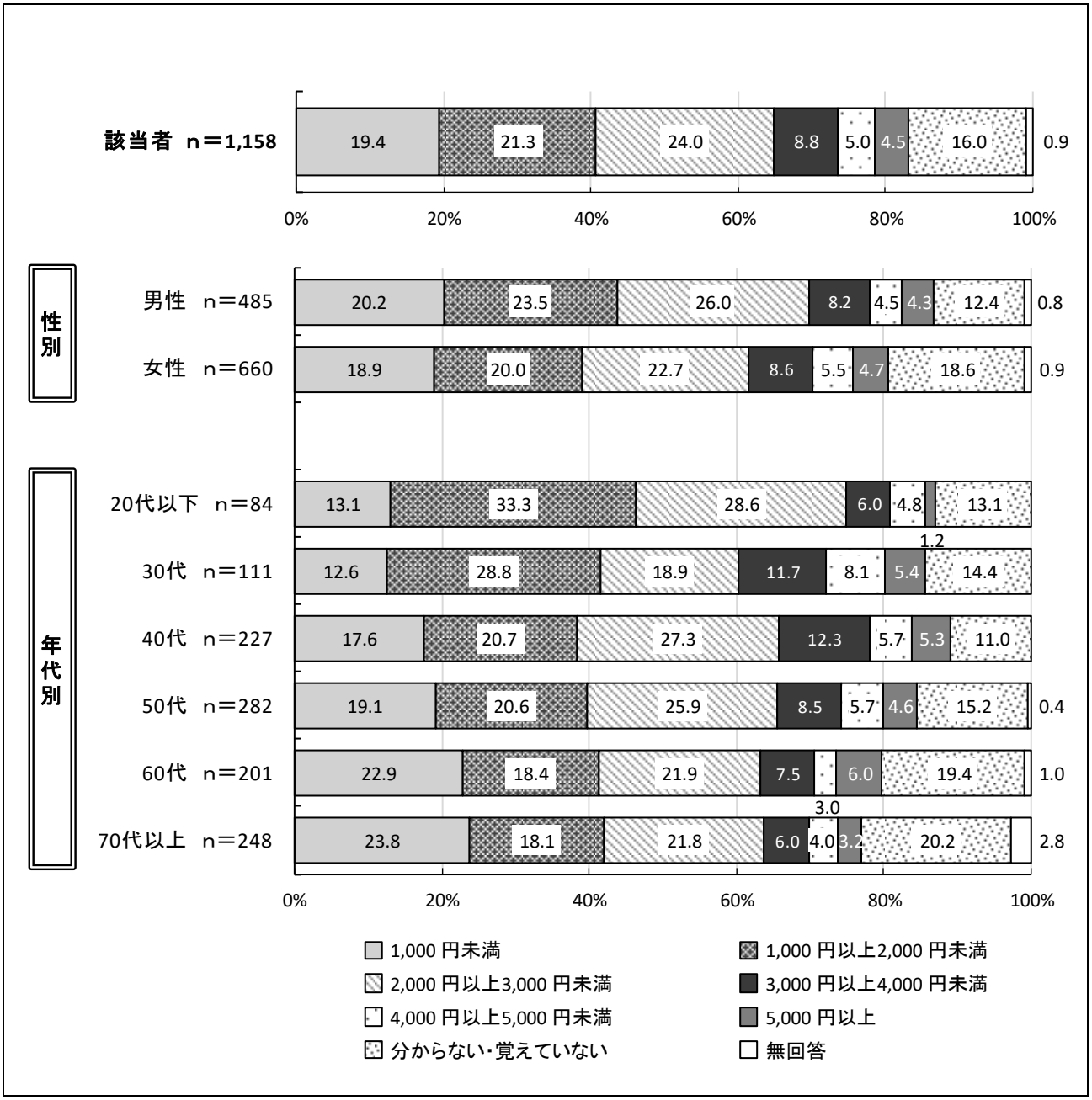
※令和8年度は、来場時間と退場時間から最大滞在時間を算出し再集計しています。

平成２６年度の調査結果と比較すると、「1時間未満」が減少し「３時間～４時間未満」「４時間～５時間未満」が増加している。

（４）「富士まつり」会場での使用金額

■ 問７で「１ ほぼ毎年行っている」「２ 毎年ではないが行ったことがある」と答えた人のみ

問９　「富士まつり」会場では、どのくらいお金を使いましたか。次の中から１つだけ選んで○をつけてください。複数回行ったことのある人は、最後に来場した年（直近）についてお答えください。

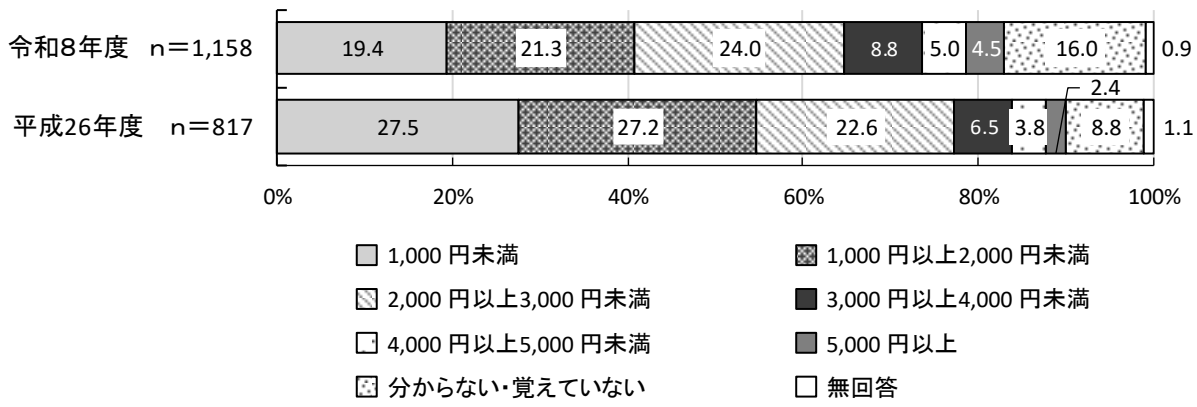


「富士まつり」会場での使用金額については、「2,000円以上3,000円未満」が24.0%と最も多く、次いで「1,000円以上2,000円未満」が21.3%、「1,000円未満」が19.4%となっている。

性別で見ると、男性において「2,000円以上3,000円未満」が26.0%、「1,000円以上2,000円未満」が23.5%と、女性より多くなっている。

年代別では、20代以下において「1,000円以上2,000円未満」が33.3%、「2,000円以上3,000円未満」が28.6%と、ほかの年代と比べて多くなっている。30代・40代において「3,000円以上4,000円未満」が10%以上と、ほかの年代と比べて多くなっている。

＜経年比較＞

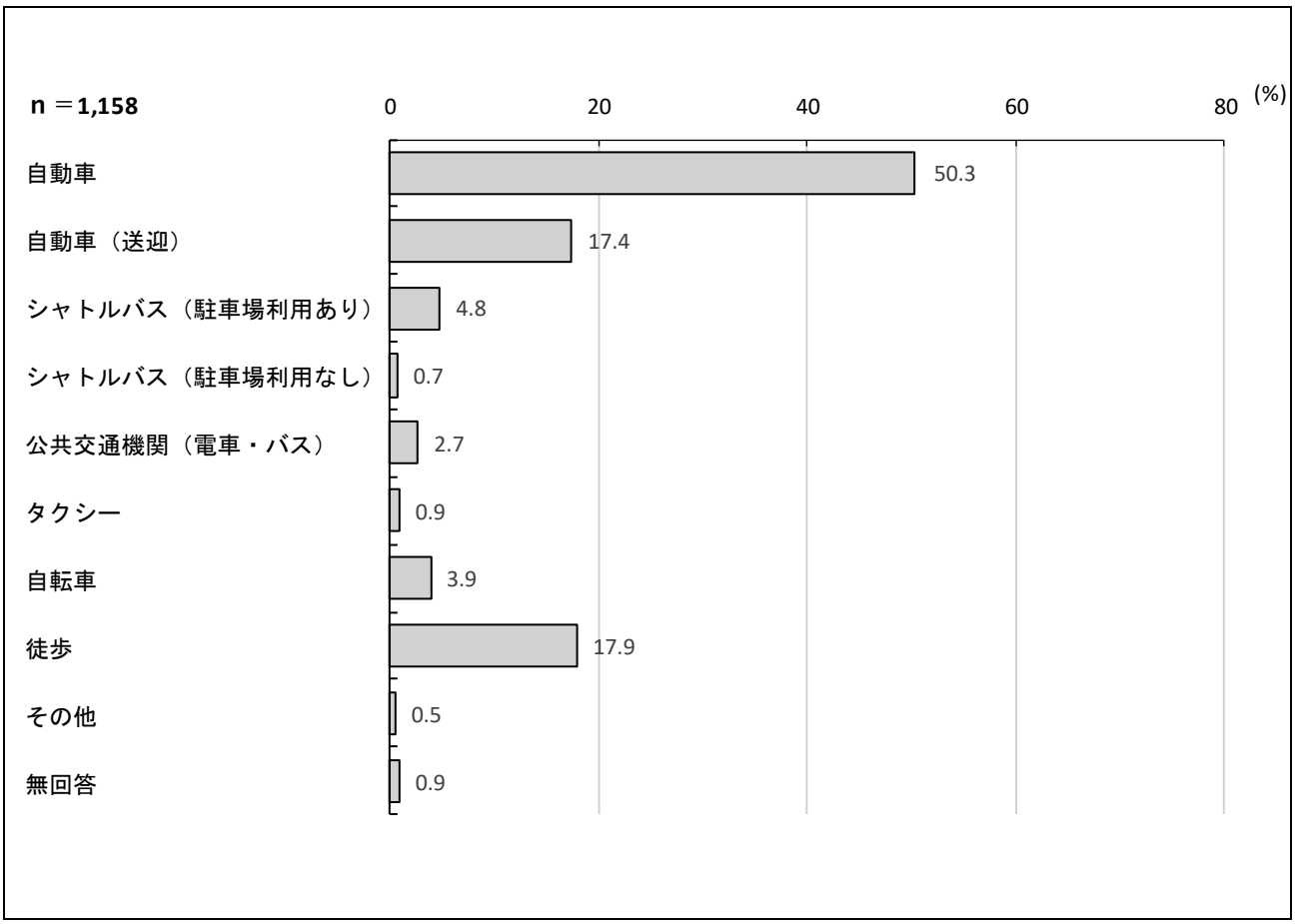


平成26年度の調査結果と比較すると、「1,000円未満」が8.1ポイント、「1,000円以上2,000円未満」が5.9ポイントそれぞれ減少し、「2,000円以上3,000円未満」が1.4ポイント、「3,000円以上4,000円未満」が2.3ポイント、「4,000円以上5,000円未満」が1.2ポイント、「5,000円以上」が2.1ポイントそれぞれ増加している。

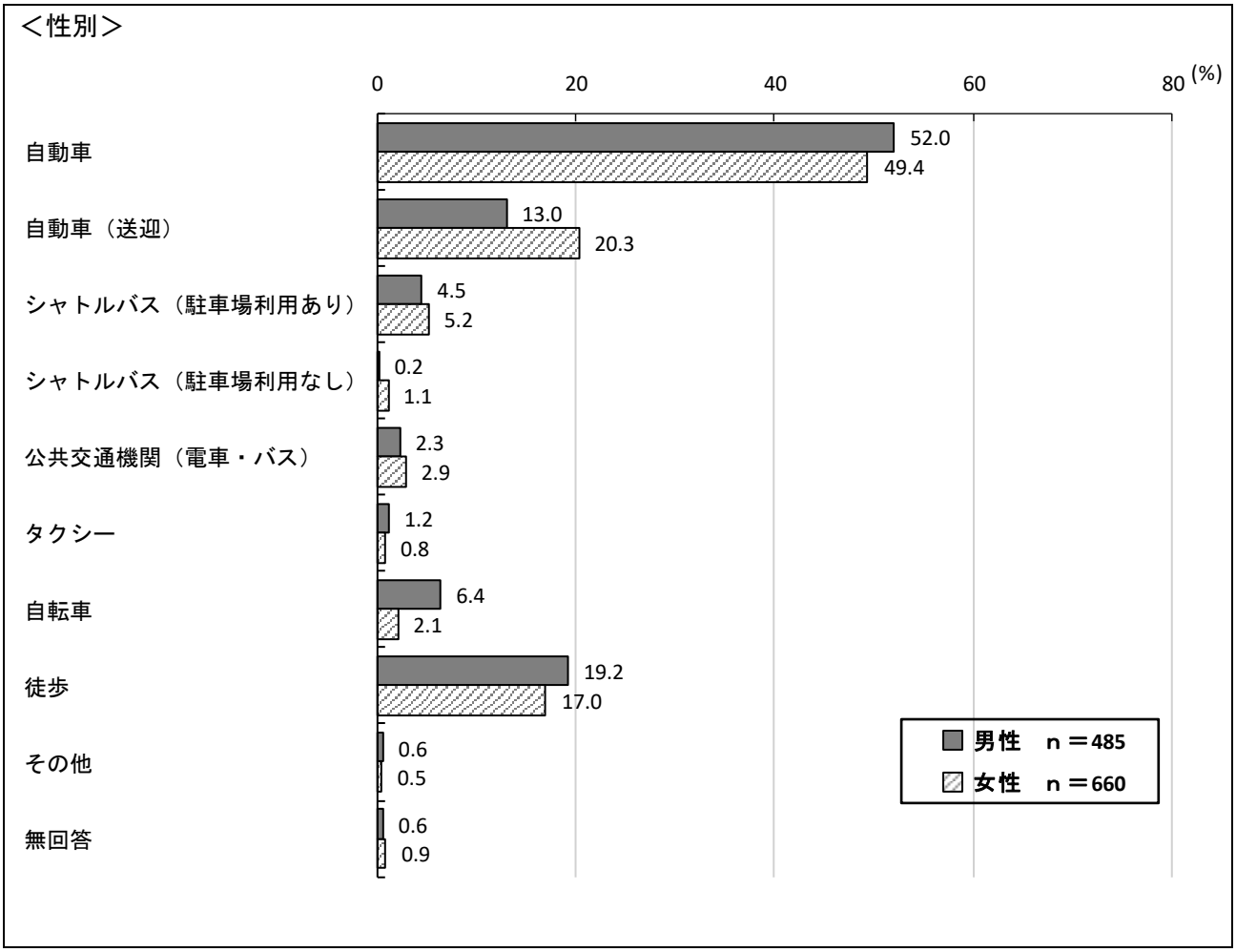
（５）「富士まつり」会場への交通手段

■ 問７で「１ ほぼ毎年行っている」「２ 毎年ではないが行ったことがある」と答えた人のみ

問10　「富士まつり」会場への交通手段は何ですか。次の中から１つだけ選んで○をつけてください。複数回行ったことのある人は、最後に来場した年（直近）についてお答えください。

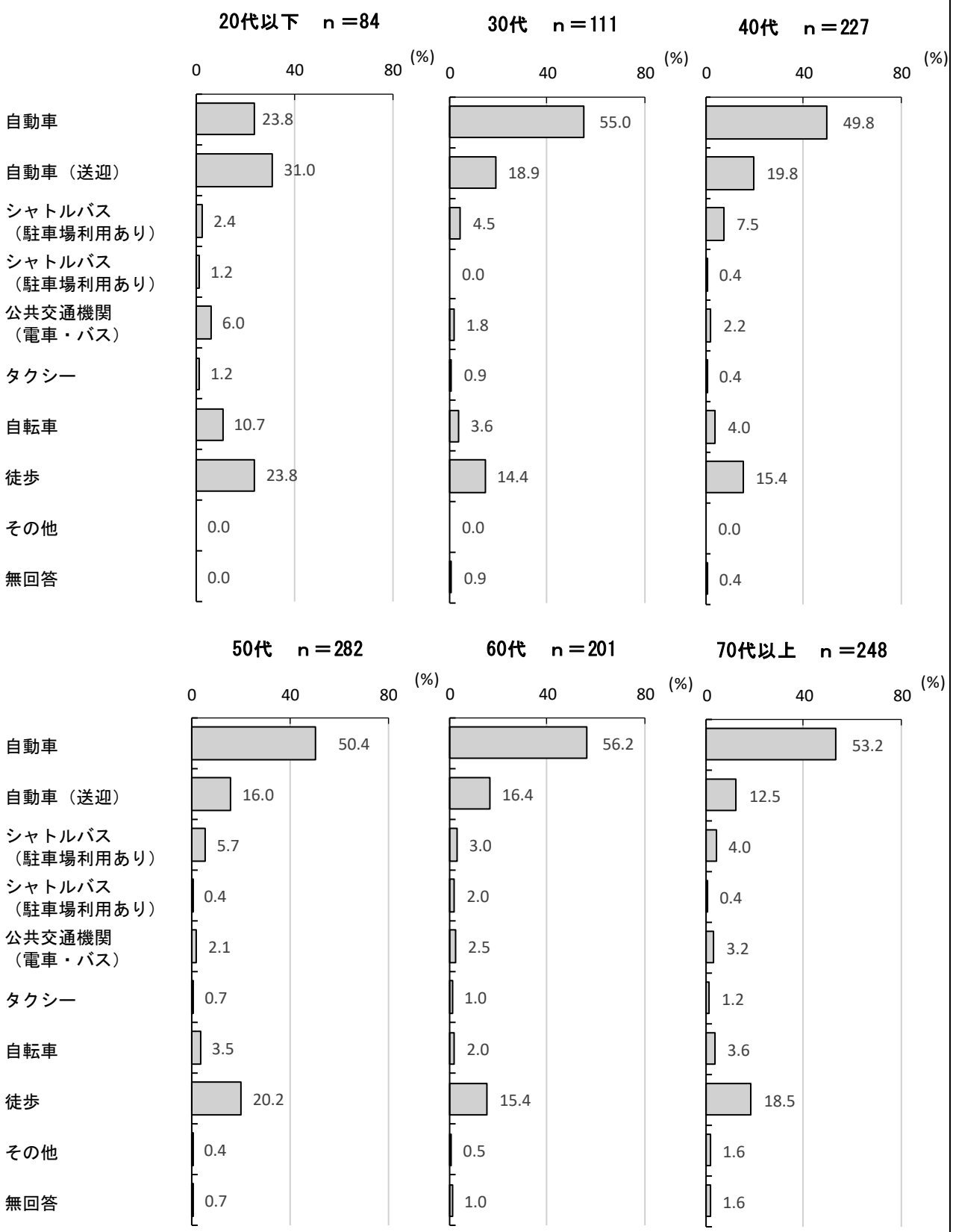


「富士まつり」会場への交通手段については、「自動車」が50.3％と最も多く、次いで「徒歩」が17.9％、「自動車（送迎）」が17.4％となっている。



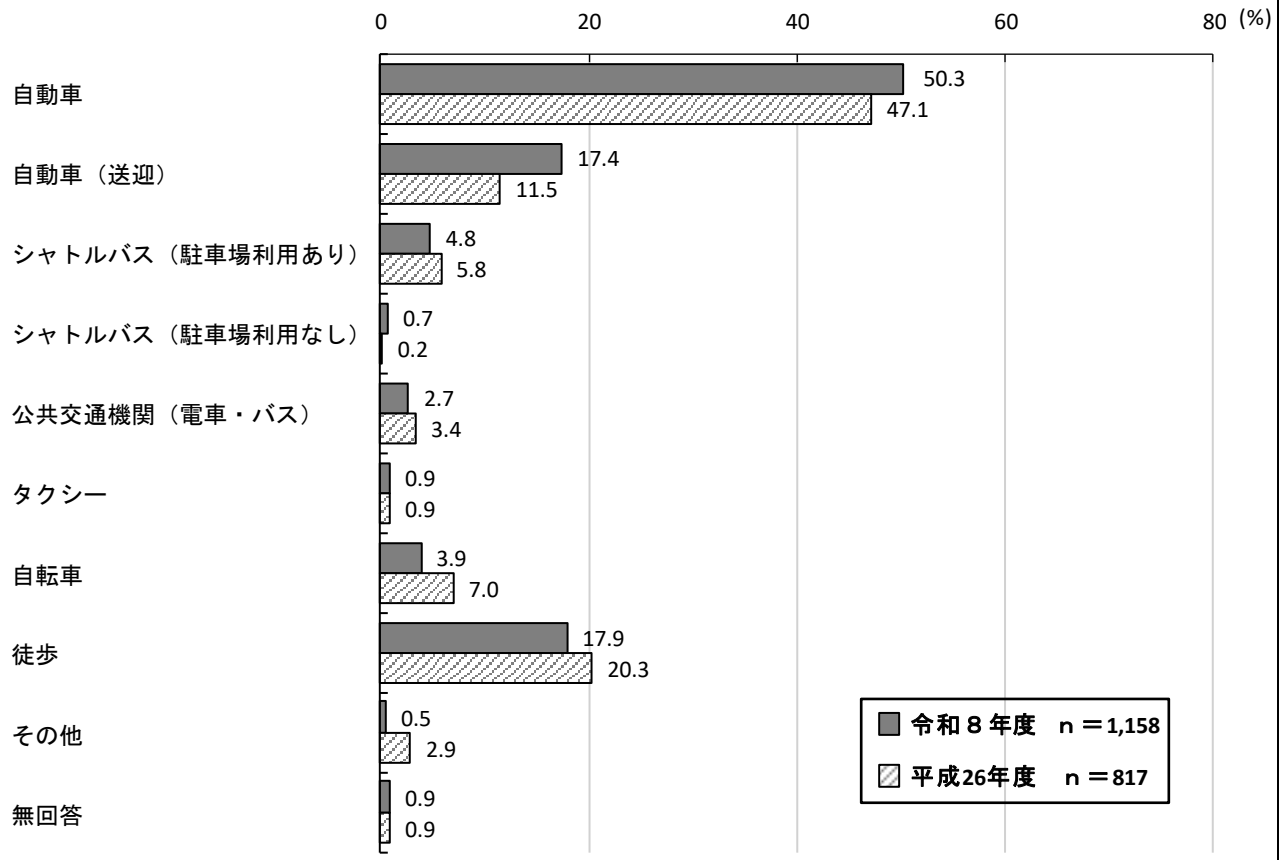
性別で見ると、男性において「自動車」が52.0%、「徒歩」が19.2%、「自転車」が6.4%と、女性より多くなっている。女性においては「自動車（送迎)」が20.3%と、男性より多くなっている。

＜年代別＞



年代別では、20代以下において「自動車（送迎）」が最も多く、そのほかの年代では「自動車」が最も多くなっている。

＜経年比較＞

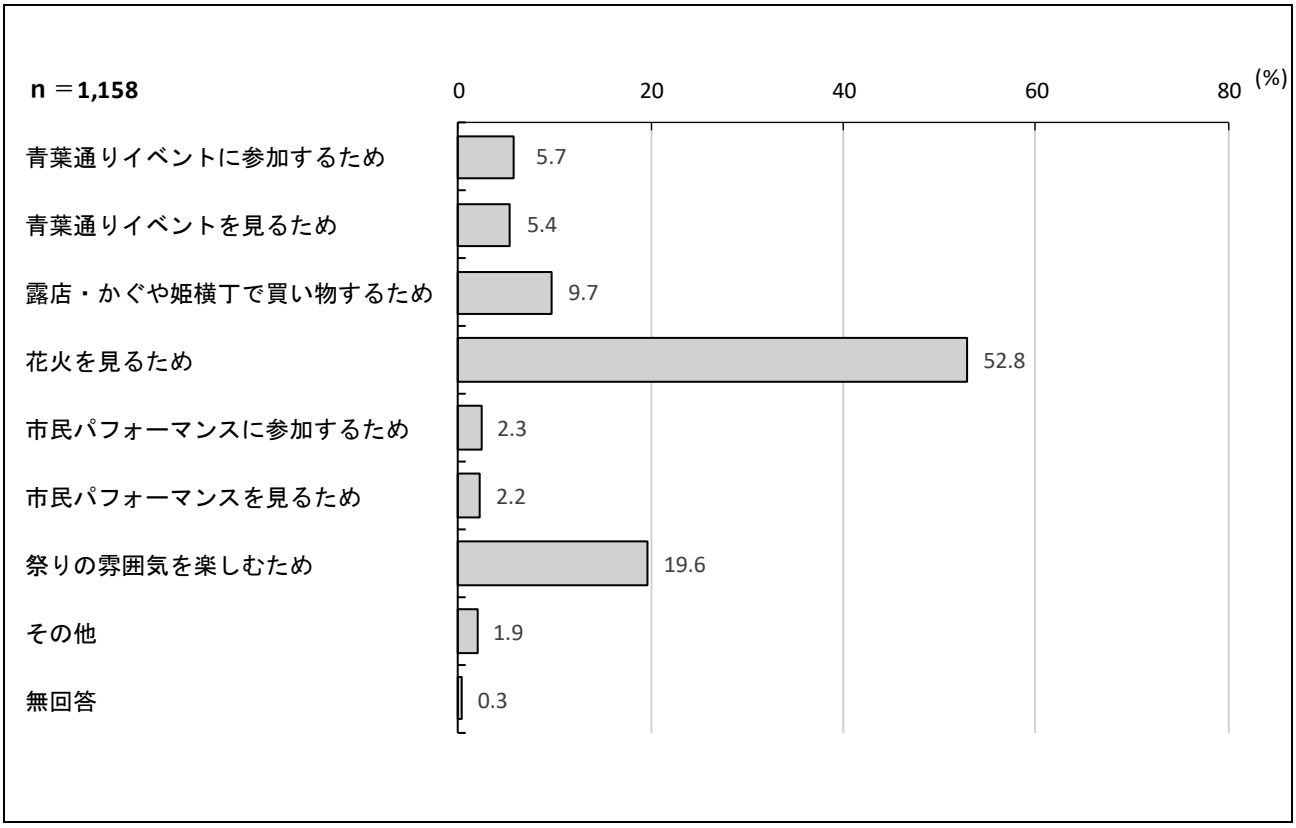


平成26年度の調査結果と比較すると、「自動車」が3.2ポイント、「自動車（送迎）」が5.9ポイントそれぞれ増加し、「徒歩」が2.4ポイント、「自転車」が3.1ポイント、「シャトルバス（駐車場利用あり）」が1.0ポイントそれぞれ減少している。

（６）「富士まつり」来場目的

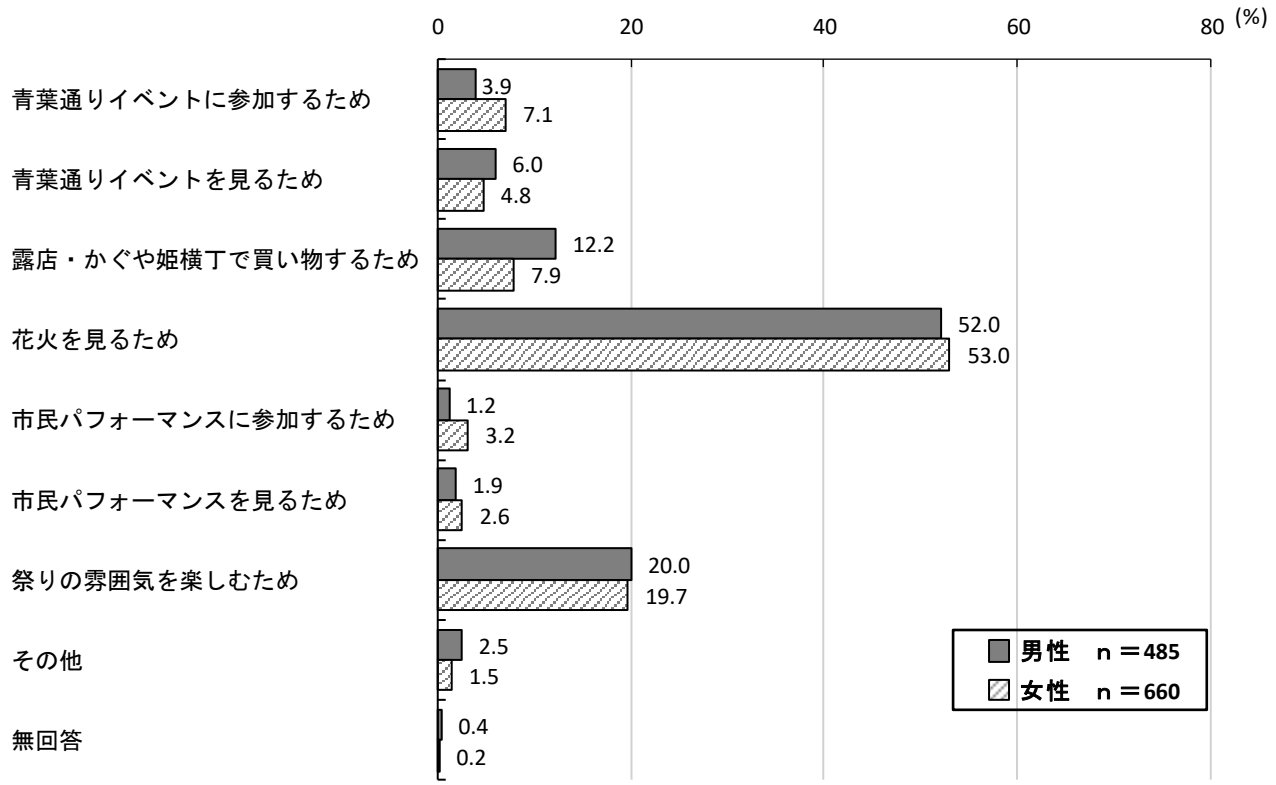
■ 問７で「１ ほぼ毎年行っている」「２ 毎年ではないが行ったことがある」と答えた人のみ

問11　「富士まつり」へ来場した一番の目的は何ですか。次の中から１つだけ選んで○をつけてください。複数回行ったことのある人は、最後に来場した年（直近）についてお答えください。



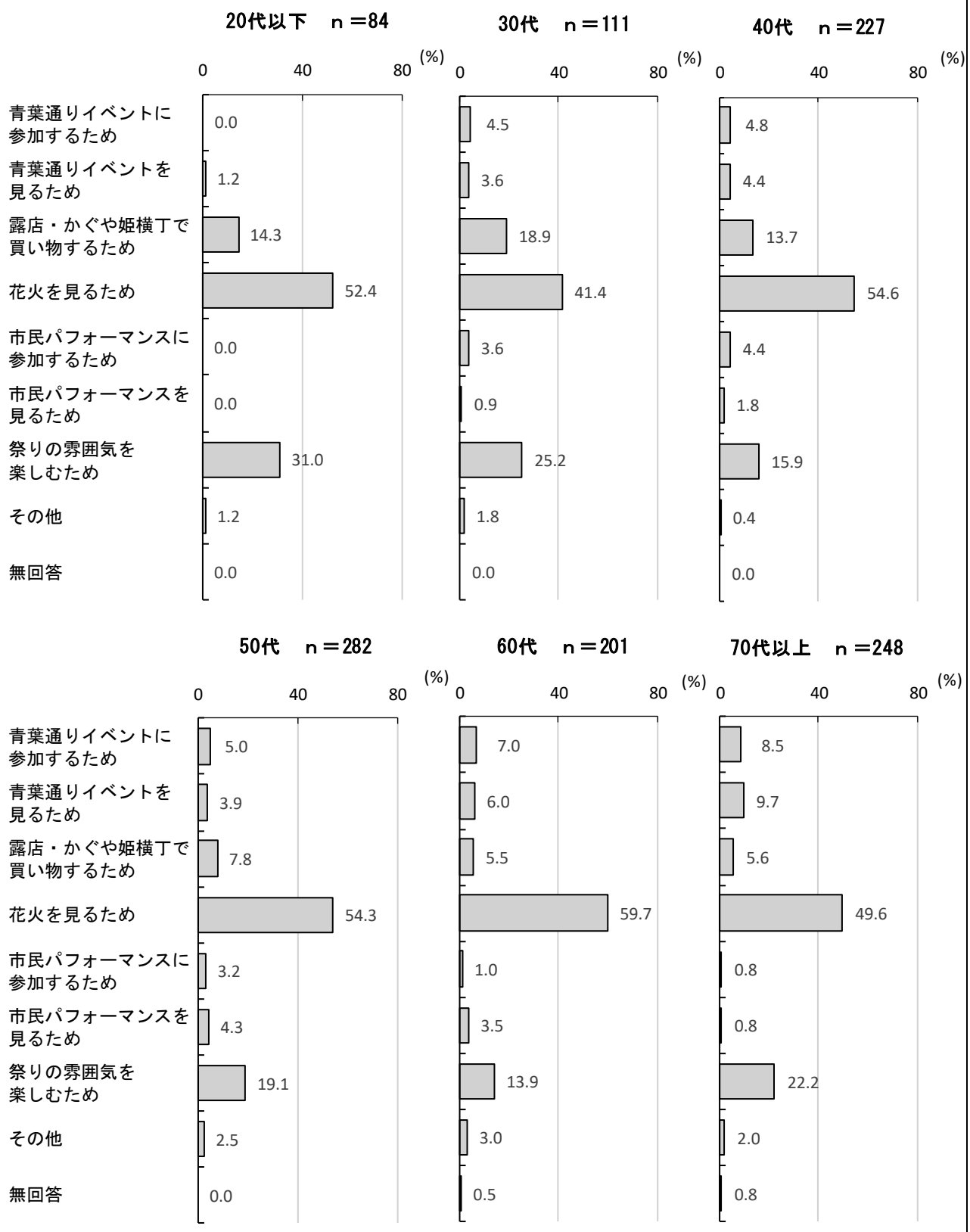
「富士まつり」来場の目的については、「花火を見るため」が52.8％と最も多く、次いで「祭りの雰囲気を楽しむため」が19.6％となっている。そのほかについては10％未満となっている。

＜性別＞



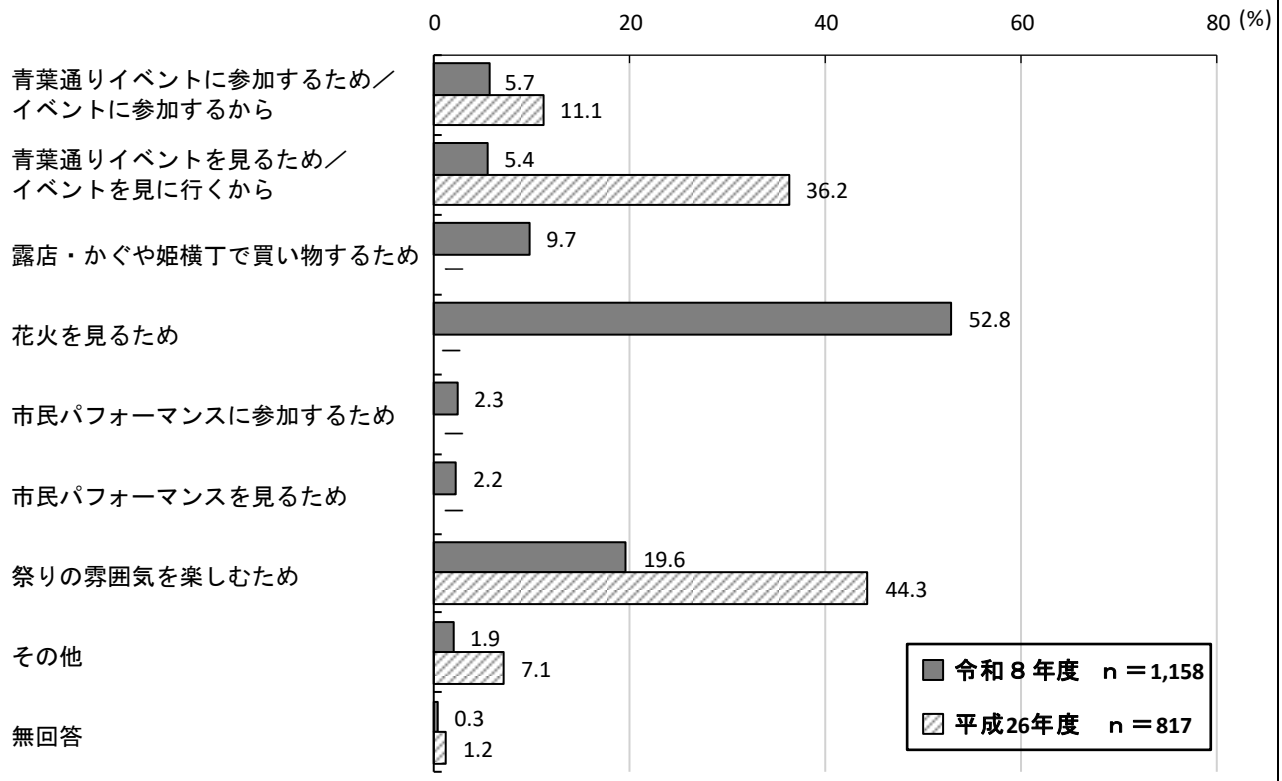
性別で見ると、男性において「露店・かぐや姫横丁で買い物するため」が12.2と、女性より多くなっている。女性においては「青葉通りイベントに参加するため」が7.1%、「市民パフォーマンスに参加するため」が3.2%と、男性より多くなっている。

＜年代別＞



年代別では、40代以下において「露店・かぐや姫横丁で買物するため」が10%以上と多くなっている。60代以上において「青葉通りイベントに参加するため」「青葉通りイベントを見るため」が、ほかの年代に比べて多くなっている。

＜経年比較＞



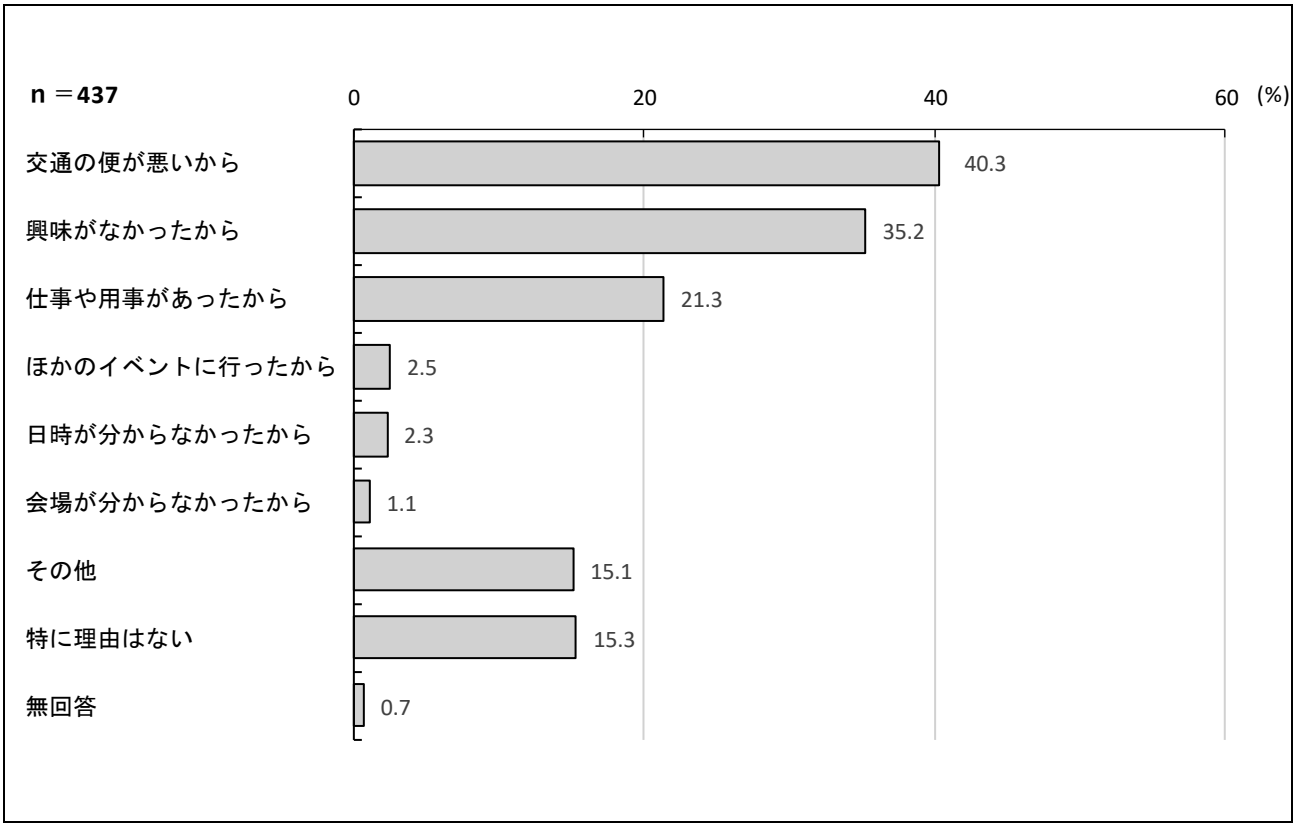
※平成26年度調査では、「イベントに参加するから」「イベントを見に行くから」「まつりの雰囲気を楽しみたいから」「その他」の4選択肢で実施。

平成26年度の調査結果と比較すると、選択肢が異なるため参考となるが、「イベントに参加するため」「イベントを見るため」「祭りの雰囲気を楽しむため」が減少している。

（７）「富士まつり」に行かない理由

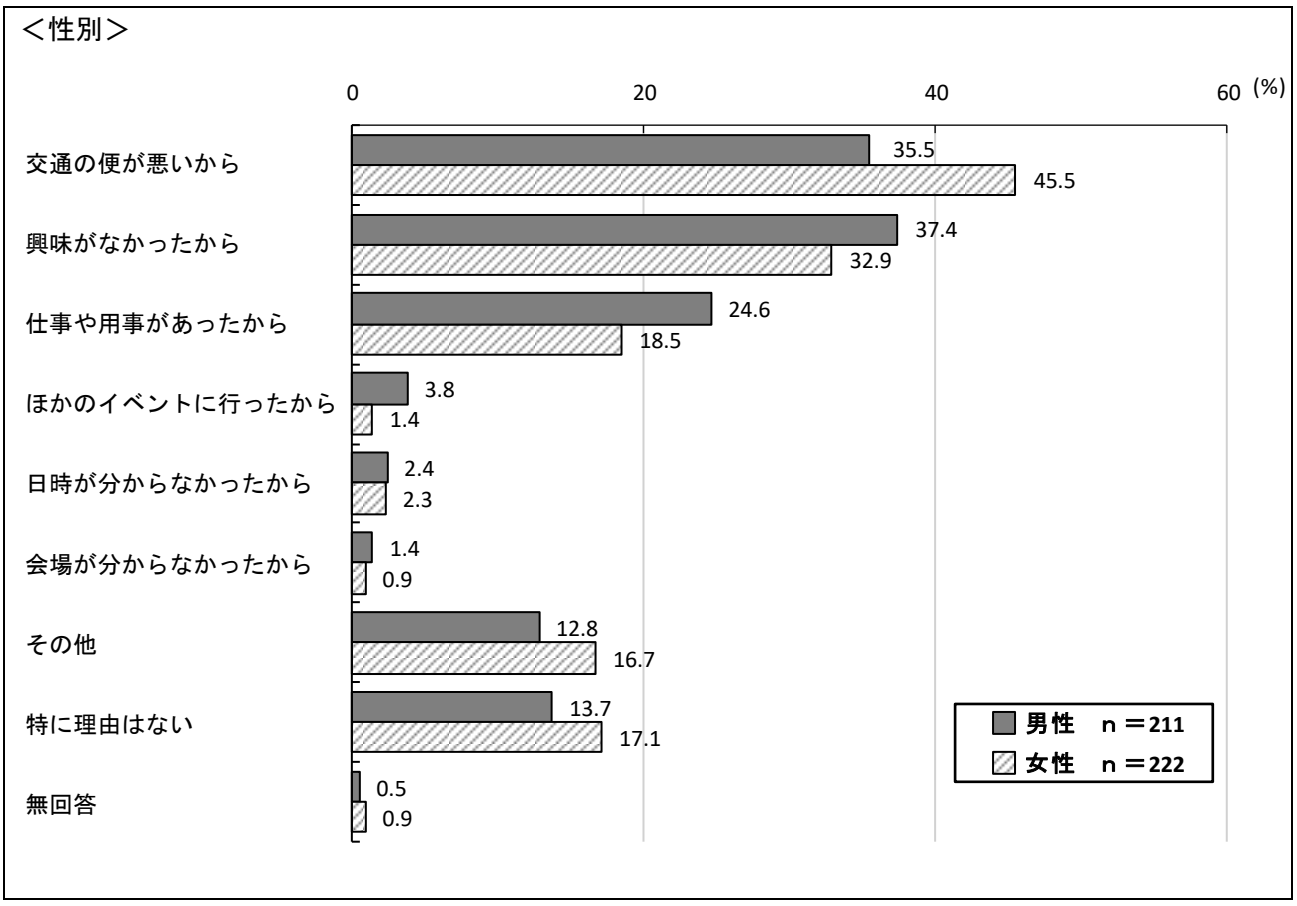
■ 問７で「３ 知っているが行ったことはない」と答えた人のみ

問12　「富士まつり」に行かない理由は何ですか。次の中から当てはまるものを全て選んで○をつけてください。



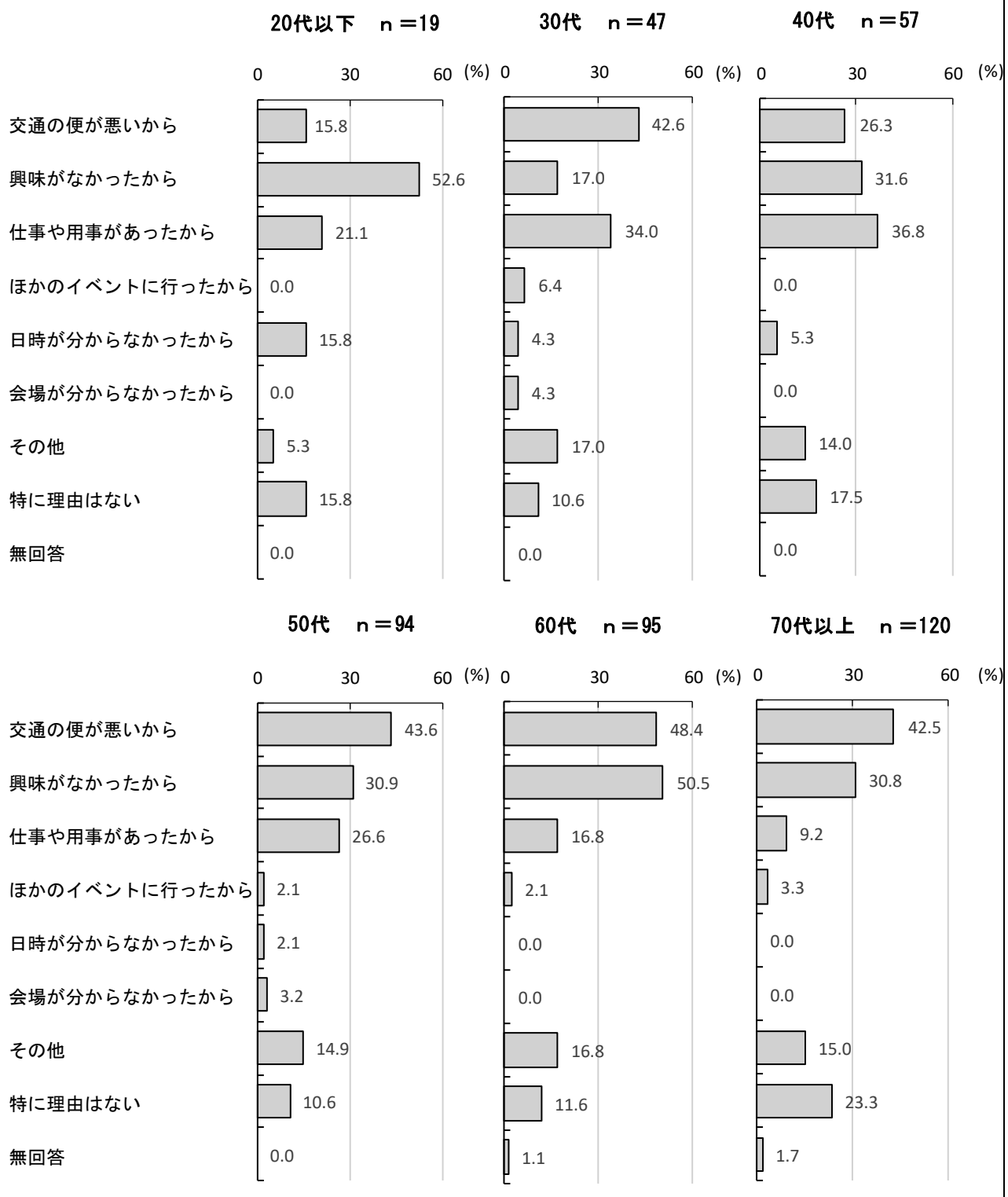
「富士まつり」に行かない理由については、「交通の便が悪いから」が40.3％と最も多く、次いで「興味がなかったから」が35.2％、「仕事や用事があったから」が21.3％となっている。

一方、「特に理由はない」は15.3％となっている。



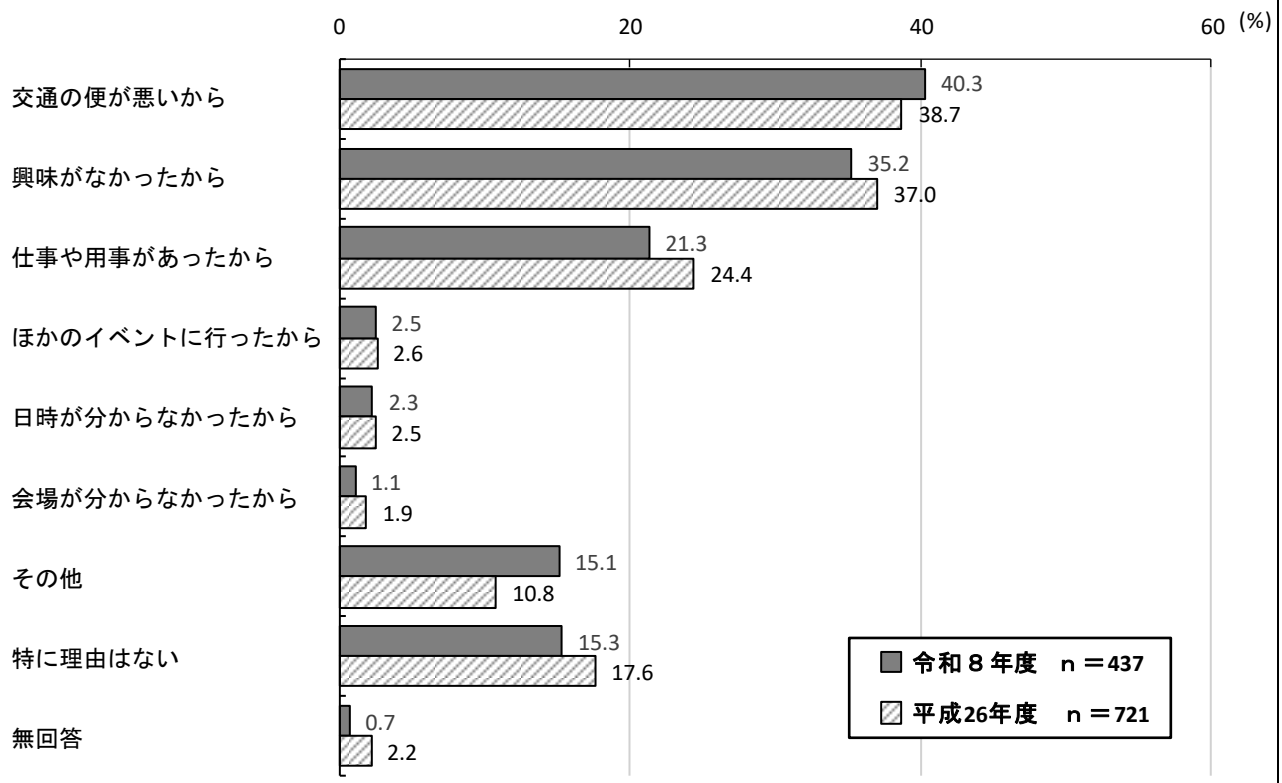
性別で見ると、男性において「興味がなかったから」が37.4%、「仕事や用事があったから」が24.6%、「ほかのイベントに行ったから」が3.8%と、女性より多くなっている。女性においては「交通の便が悪いから」が45.5%、「特に理由はない」が17.1%と、男性より多くなっている。

＜年代別＞



年代別では、20代以下は「興味がなかったから」が52.6%、40代は「仕事や用事があったから」が36.8%と最も多くなっている。また、20代以下において「日時が分からなかったから」が15.8%と、ほかの年代に比べて多くなっている。

＜経年比較＞

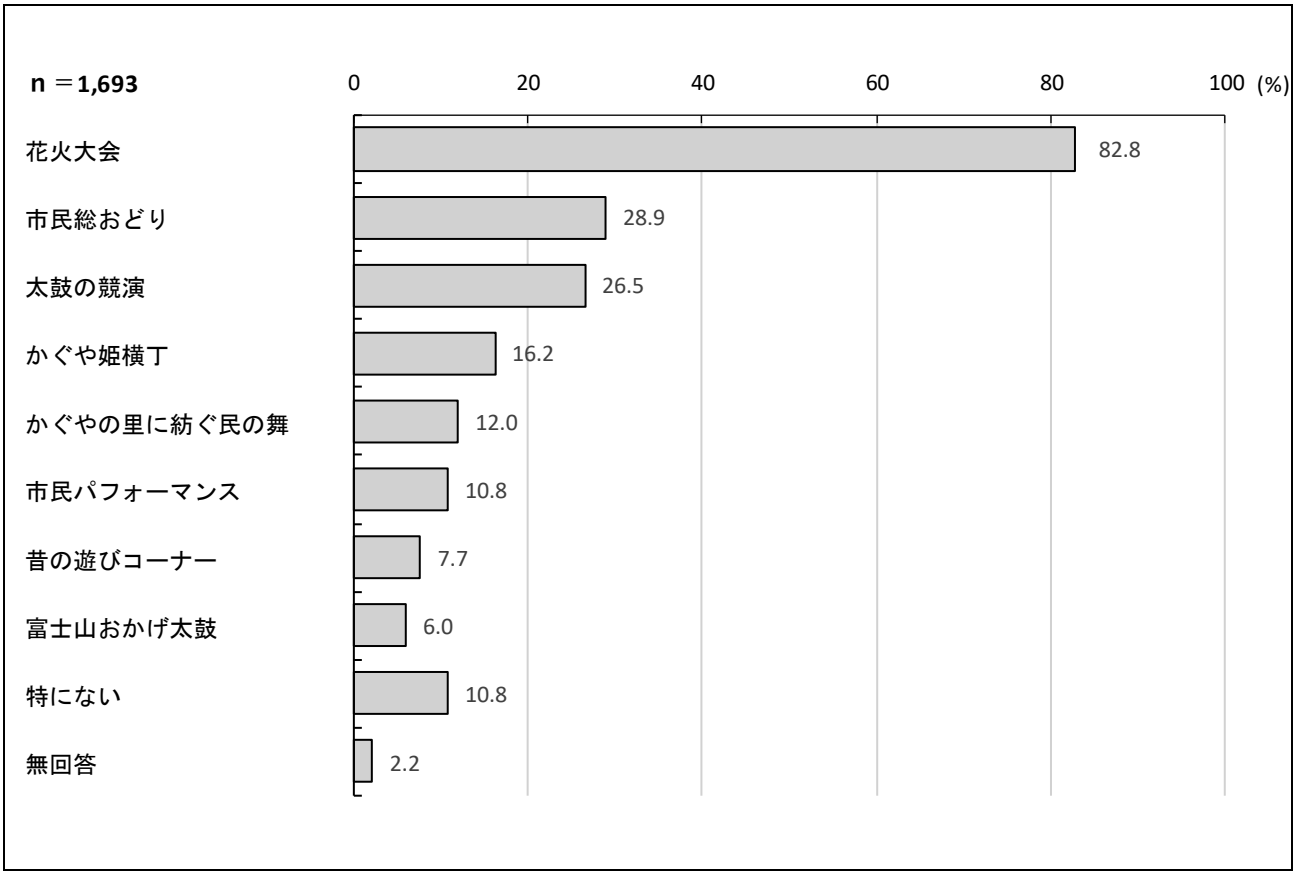


平成26年度の調査結果と比較すると、「交通の便が悪いから」が1.6ポイント増加している。「興味がなかったから」が1.8ポイント、「仕事や用事があったから」が3.1ポイント、「特に理由はない」が2.3ポイントそれぞれ減少している。

（８）過去の「富士まつり」のイベントについて

問13　過去の「富士まつり」のイベントについてお聞きします。

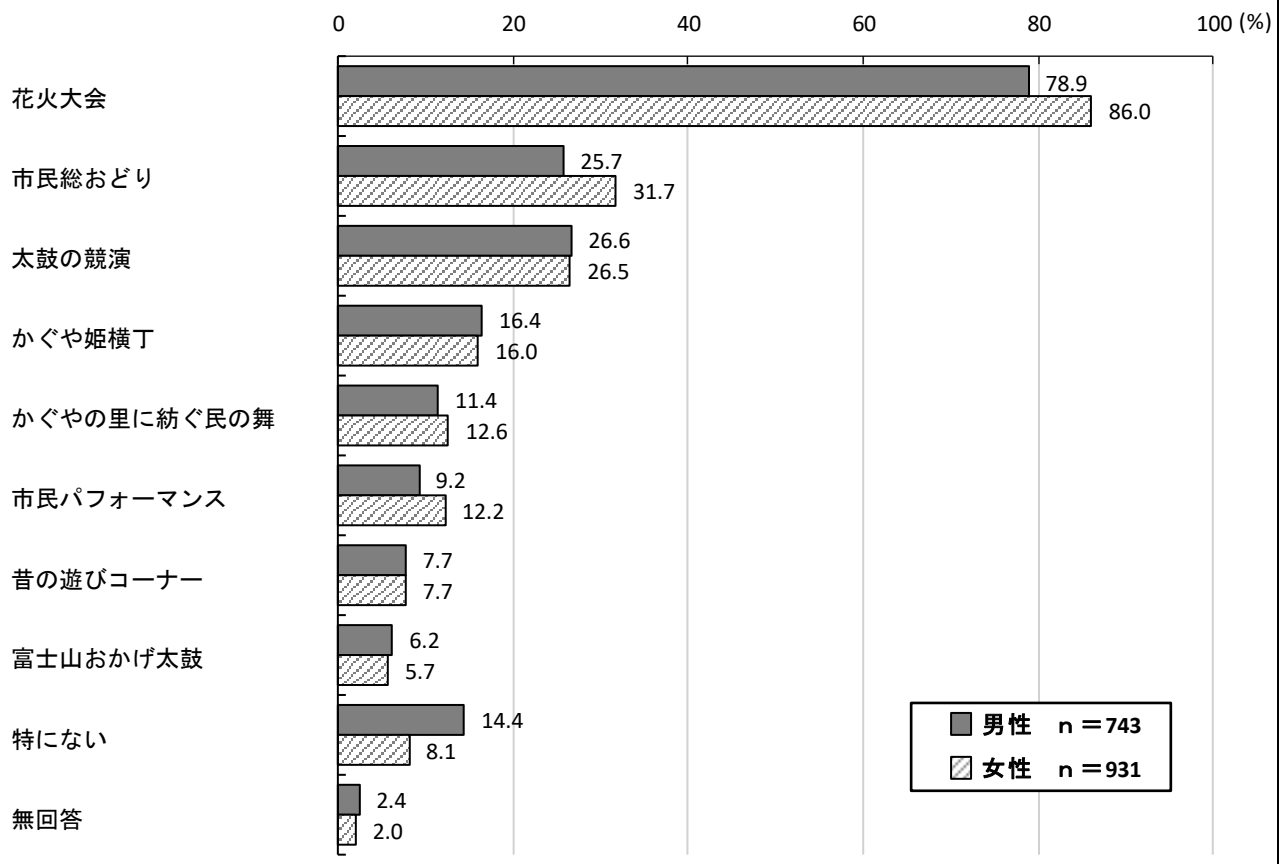
よいと思う、または興味があるイベントを、次の中から３つまで選んで○をつけてください。



過去の「富士まつり」のイベントで興味があるイベントについては、「花火大会」が82.8％と最も多く、次いで「市民総おどり」が28.9％、「太鼓の競演」が26.5％となっている。

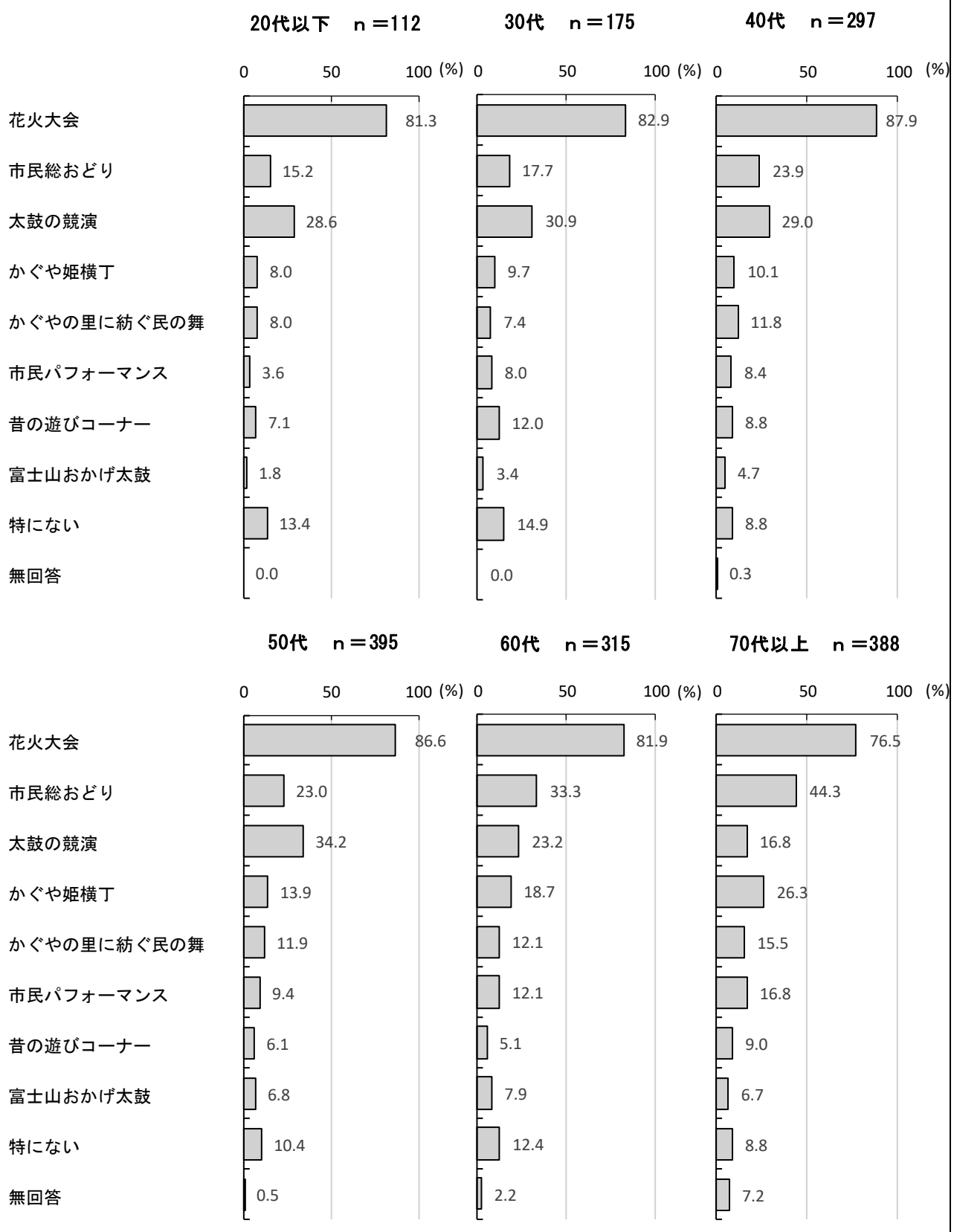
一方、「特にない」は10.8％となっている。

＜性別＞



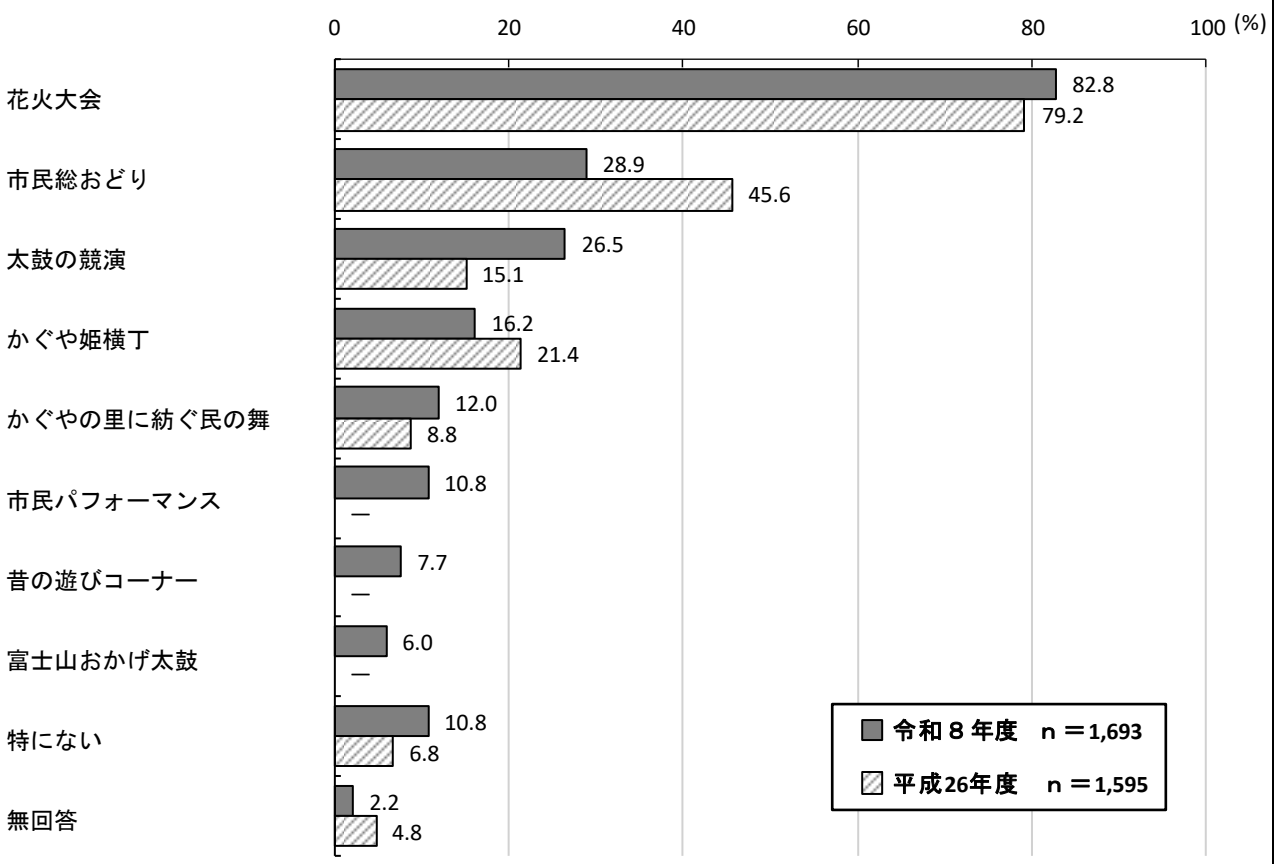
性別で見ると、女性において「花火大会」が86.0%、「市民総おどり」が31.7%、「市民パフォーマンス」が12.2%と、男性より多くなっている。男性においては「特にない」が14.4%と、女性より多くなっている。

＜年代別＞



年代別では、60代以上において「市民総おどり」が30％以上と、ほかの年代に比べて多くなっている。「市民総おどり」は、年代が高いほど多い傾向にある。「かぐや姫横丁」は、70代以上が26.3％と、ほかの年代に比べて最も多くなっている。

＜経年比較＞



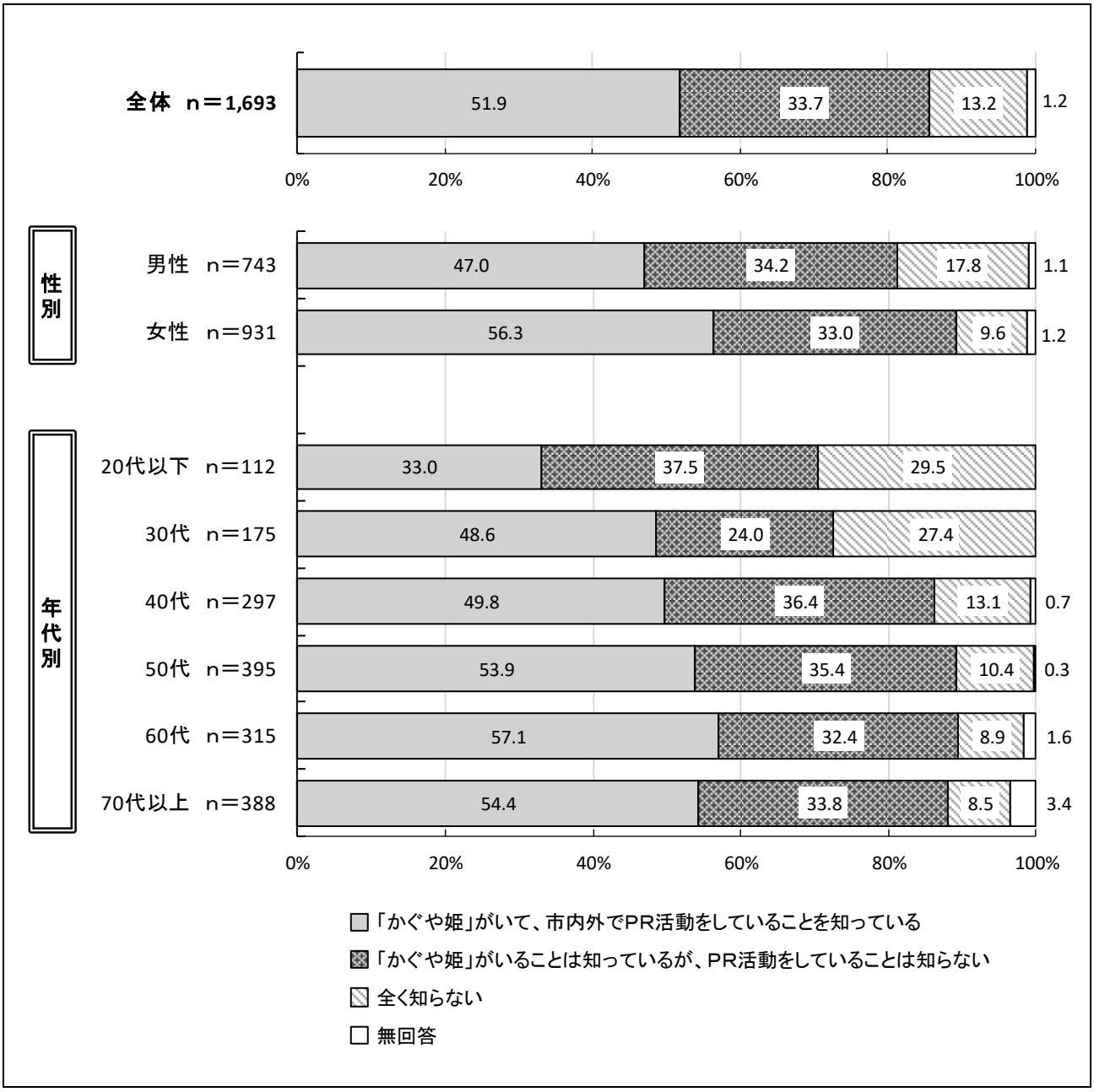
※平成26年度調査は選択肢が異なるため、令和8年度調査にある選択肢のみ掲載。

平成26年度の調査結果と比較すると、選択肢が異なるため参考となるが、「太鼓の競演」が11.4ポイント、「かぐやの里に紡ぐ民の舞」が3.2ポイントそれぞれ増加している。「市民総おどり」が16.7ポント、「かぐや姫横丁」が5.2ポイントそれぞれ減少している。

「特にない」は4.0ポイント増加している。

（９）観光ＰＲ大使「かぐや姫」の認知度

問14　「富士まつり」では、毎年「かぐや姫コンテスト」を実施し、観光ＰＲ大使である「かぐや姫」を選んで、市内外でＰＲ活動をしていることを知っていますか。
次の中から１つだけ選んで○をつけてください。

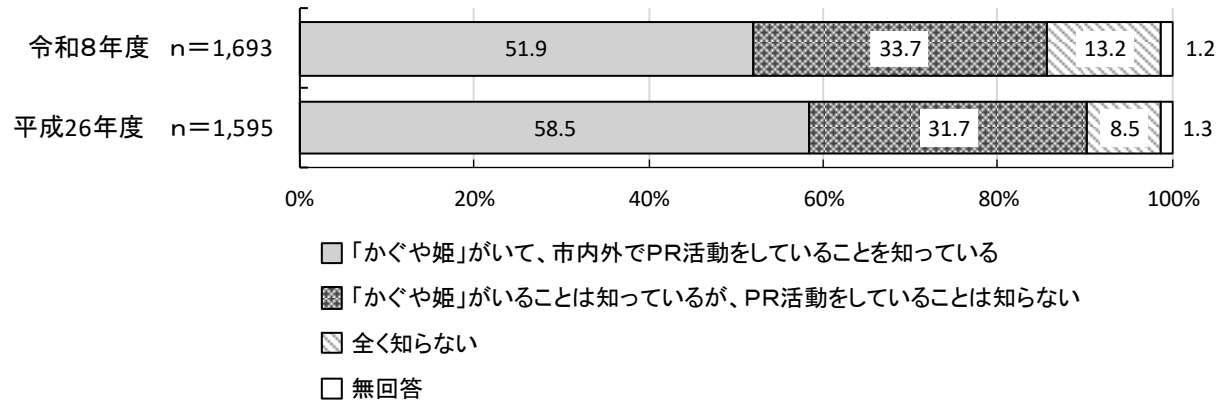


観光ＰＲ大使「かぐや姫」の認知度は、「『かぐや姫』がいて、市内外でＰＲ活動をしていることを知っている」が51.9%、「『かぐや姫』がいることは知っているが、ＰＲ活動をしていることは知らない」が33.7%、「全く知らない」が13.2%となっている。

性別で見ると、女性において「『かぐや姫』がいて、市内外でＰＲ活動をしていることを知っている」が56.3%と、男性より多くなっている。

年代別では、60代において「『かぐや姫』がいて、市内外でＰＲ活動をしていることを知っている」が57.1%と最も多くなっている。一方、30代以下において「全く知らない」が25%以上と、ほかの年代に比べて多くなっている。

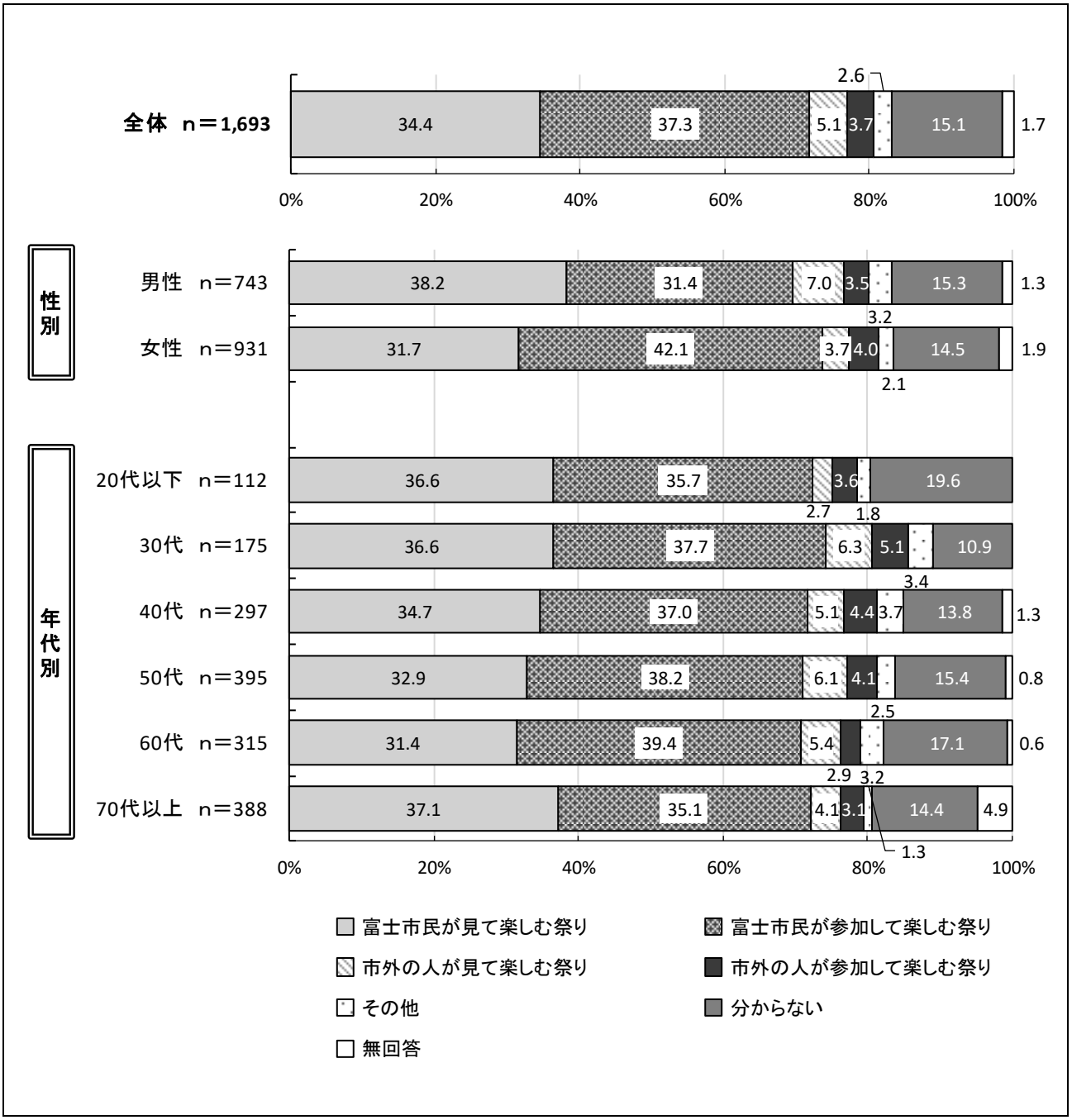
＜経年比較＞



平成26年度の調査結果と比較すると、「『かぐや姫』がいて、市内外でＰＲ活動をしていることを知っている」が6.6ポイント減少し、「『かぐや姫』がいることは知っているが、ＰＲ活動をしていることは知らない」が2.0ポイント、「全く知らない」が4.7ポイントそれぞれ増加している。

（10）今後の「富士まつり」について

問15　これからの「富士まつり」をどのように運営したらよいと思いますか。
次の中からあなたの考えに最も近いものを１つだけ選んで○をつけてください。

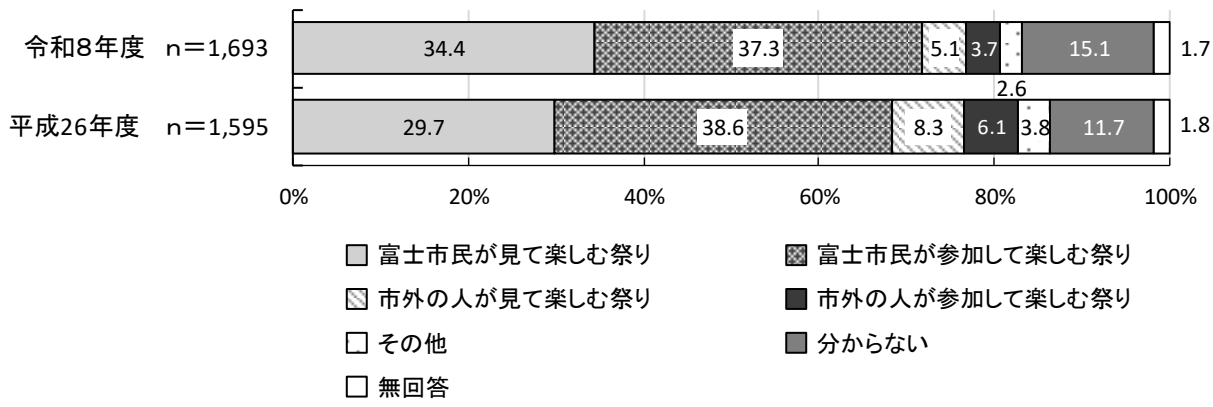


これからの「富士まつり」をどのように運営したらよいかについては、「富士市民が参加して楽しむ祭り」が37.3%と最も多く、次いで「富士市民が見て楽しむ祭り」が34.4%となっている。一方、「分からない」が15.1%と三番目に多くなっている。

性別で見ると、男性において「富士市民が見て楽しむ祭り」が女性より多く、女性においては「富士市民が参加して楽しむ祭り」が男性より多くなっている。

年代別では、20代以下と70代以上において「富士市民が見て楽しむ祭り」が、30代・40代・50代・60代においては「富士市民が参加して楽しむ祭り」が最も多くなっている。

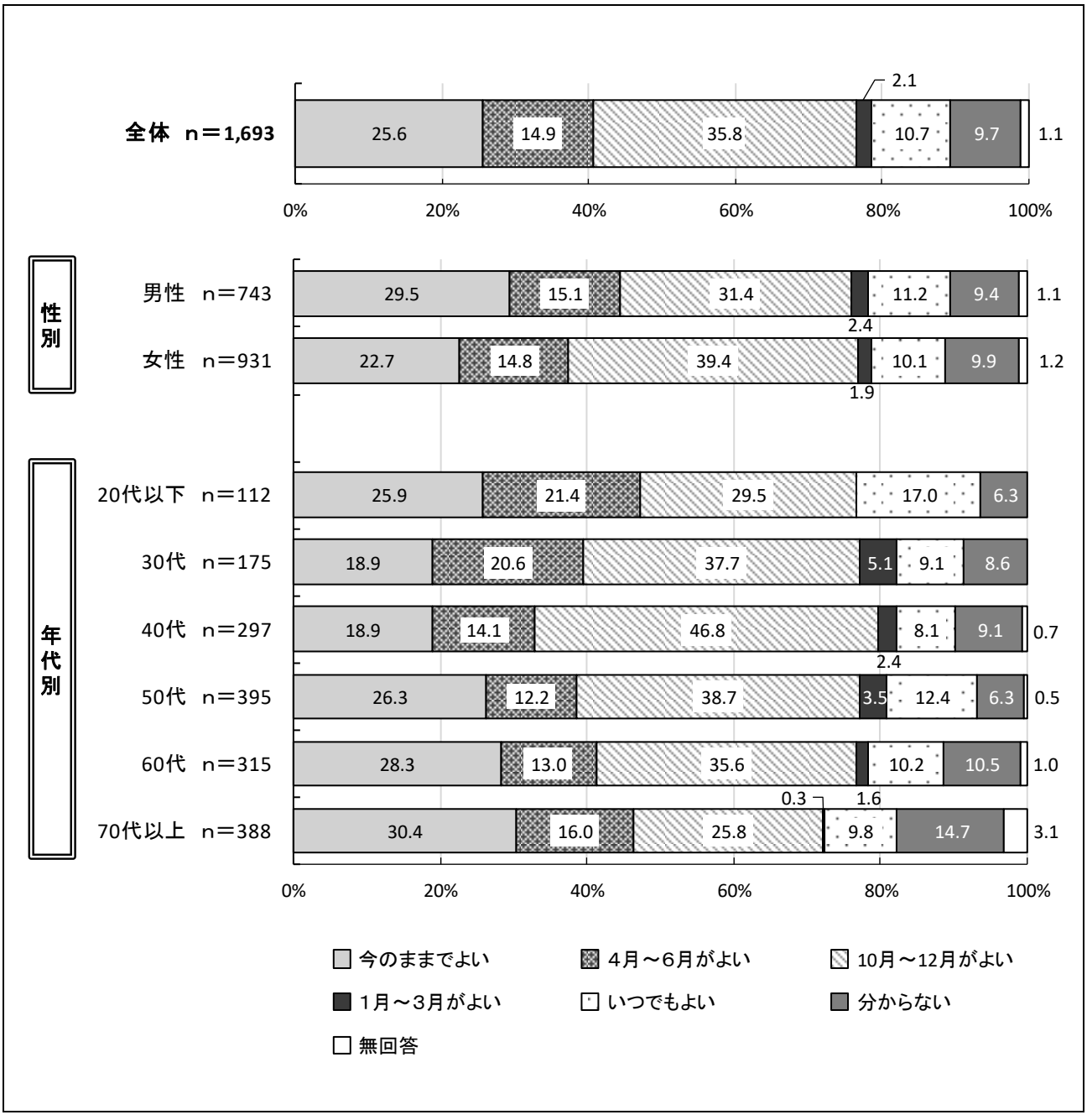
＜経年比較＞



平成26年度の調査結果と比較すると、「富士市民が見て楽しむ祭り」が4.7ポイント増加し、「富士市民が参加して楽しむ祭り」「市外の人が見て楽しむ祭り」「市外の人が参加して楽しむ祭り」がそれぞれ1.3ポイント以上減少している。

(11)「富士まつり」の開催時期について

問16　現在、「富士まつり」は７月４週目の日曜日に開催していますが、気温が高く熱中症の危険があり、花火大会も雷により中止の可能性もあるため開催日の変更を検討しています。開催時期について、最もよいと思うものを次の中から１つだけ選んで○をつけてください。



「富士まつり」の開催時期については、「10月～12月がよい」が35.8%と最も多く、次いで「今のままでよい」が25.6%、「４月～６月がよい」が14.9%となっている。

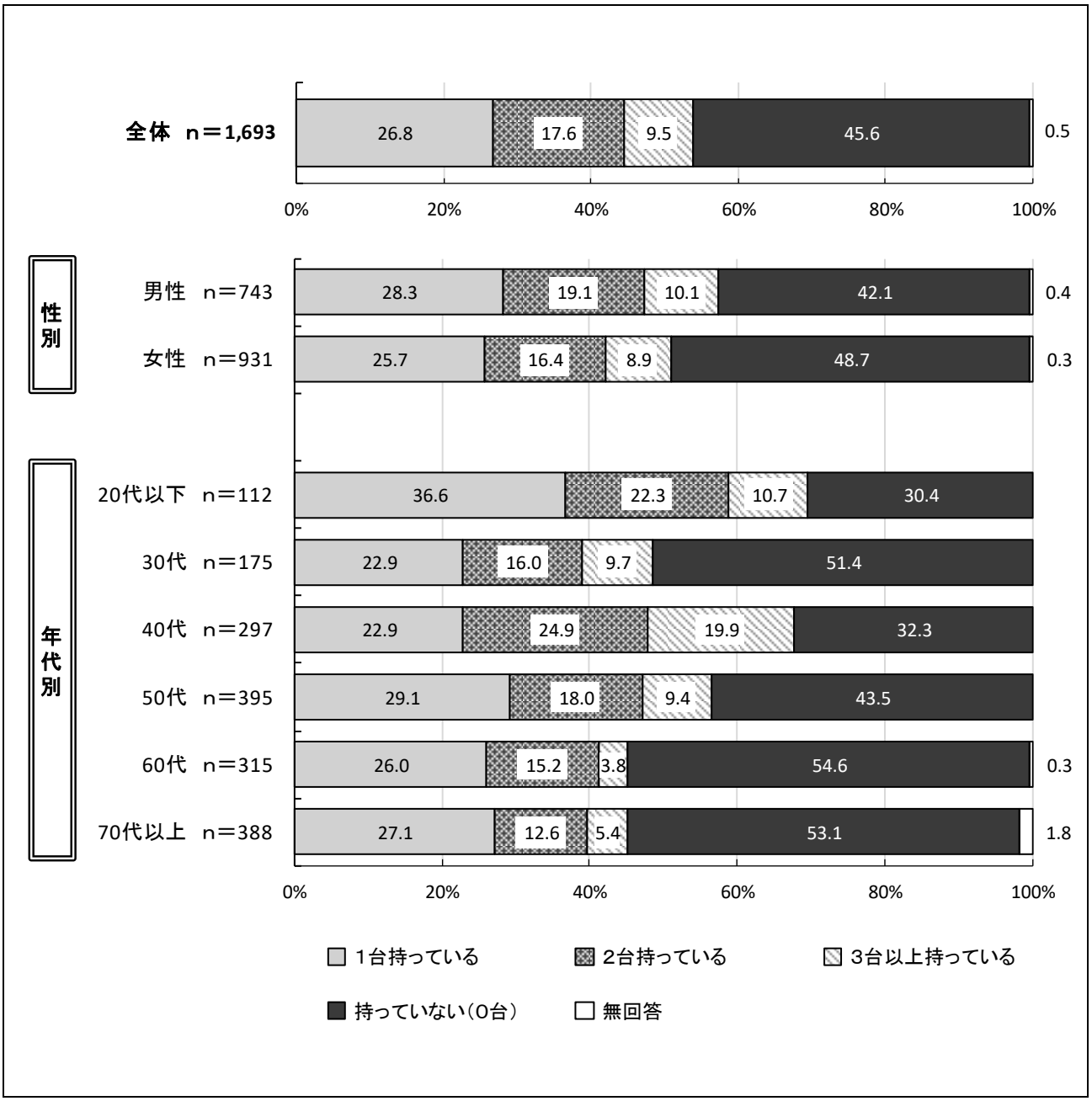
性別で見ると、男性において「今のままでよい」が29.5%と、女性より多くなっている。女性においては「10月～12月がよい」が39.4%と、男性より多くなっている。

年代別では、40代において「10月～12月がよい」が46.8%と、ほかの年代に比べて多くなっている。70代以上においては「今のままでよい」が30.4%と最も多くなっている。

■「市営駐輪場の利用」について

（１）自転車の所有台数

問18　あなたのお宅では自転車を持っていますか。あなたや、あなた以外のご家族がお持ちの自転車も含めて、次の中から１つだけ選んで○をつけてください。



自転車の所有台数は、「持っていない（０台)」が45.6％と最も多く、次いで「１台持っている」が26.8％、「２台持っている」が17.6％となっている。

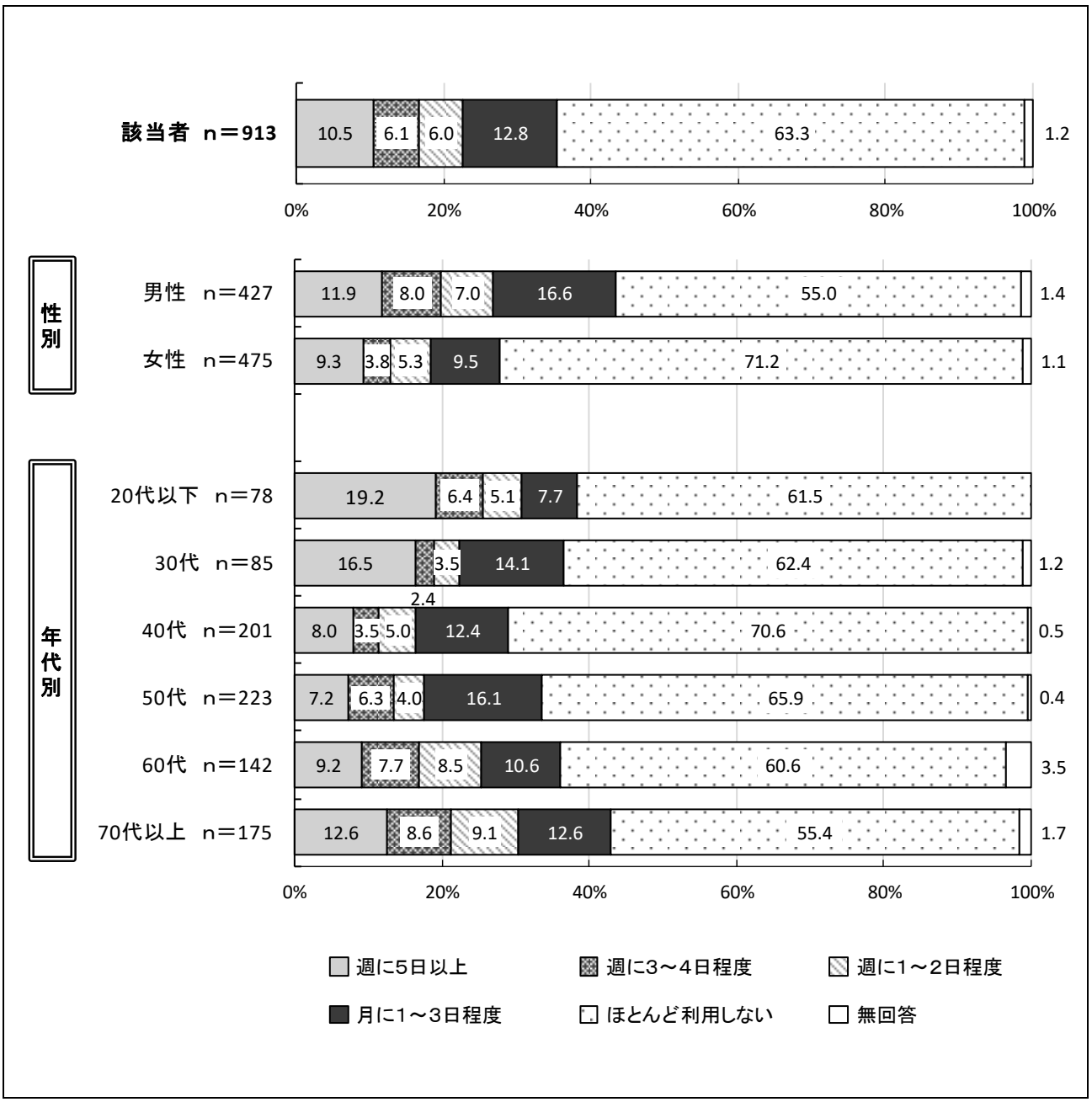
性別で見ると、男性において１台以上所有している割合が多く、女性においては「持っていない（０台)」が48.7％と半数近くとなっている。

年代別では、30代・60代・70代以上において「持っていない（０台)」が50％以上と多くなっている。40代においては「３台以上持っている」が19.9％と、ほかの年代に比べて多くなっている。

（２）自転車の利用頻度

■ 問18で「１　１台持っている」～「３　３台以上持っている」と答えた人のみ

問19　あなたは、自転車をどのくらいの頻度で利用していますか。次の中から１つだけ選んで○をつけてください。



自転車の利用頻度は、「ほとんど利用しない」が63.3％と半数以上となっている。次いで「月に１～３日程度」が12.8％、「週に５日以上」が10.5％となっている。

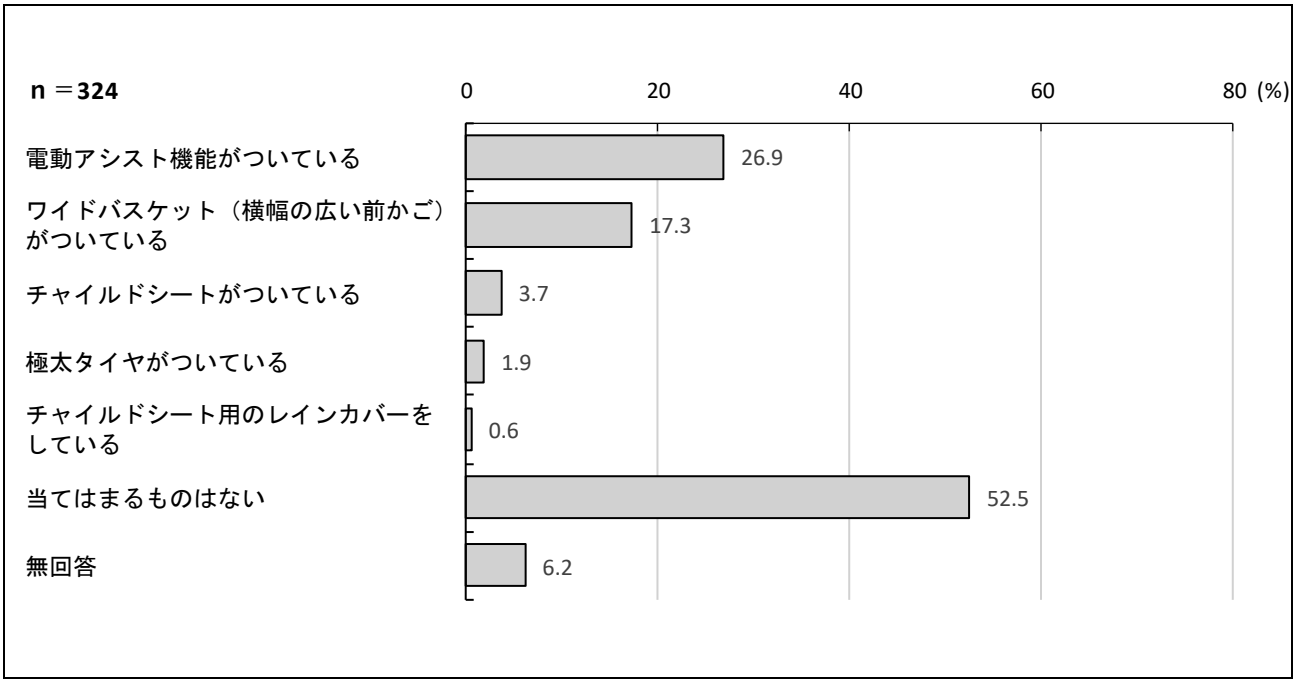
性別で見ると、女性において「ほとんど利用しない」が71.2％と、男性より多くなっている。男性においては、「ほとんど利用しない」以外の全てにおいて、女性より多くなっている。

年代別では、20代以下・30代・70代以上において「週に5日以上」が10％以上と、ほかの年代に比べて多くなっている。40代においては「ほとんど利用しない」が70.6％と、ほかの年代に比べて多くなっている。

（３）所有自転車の機能・付属品について

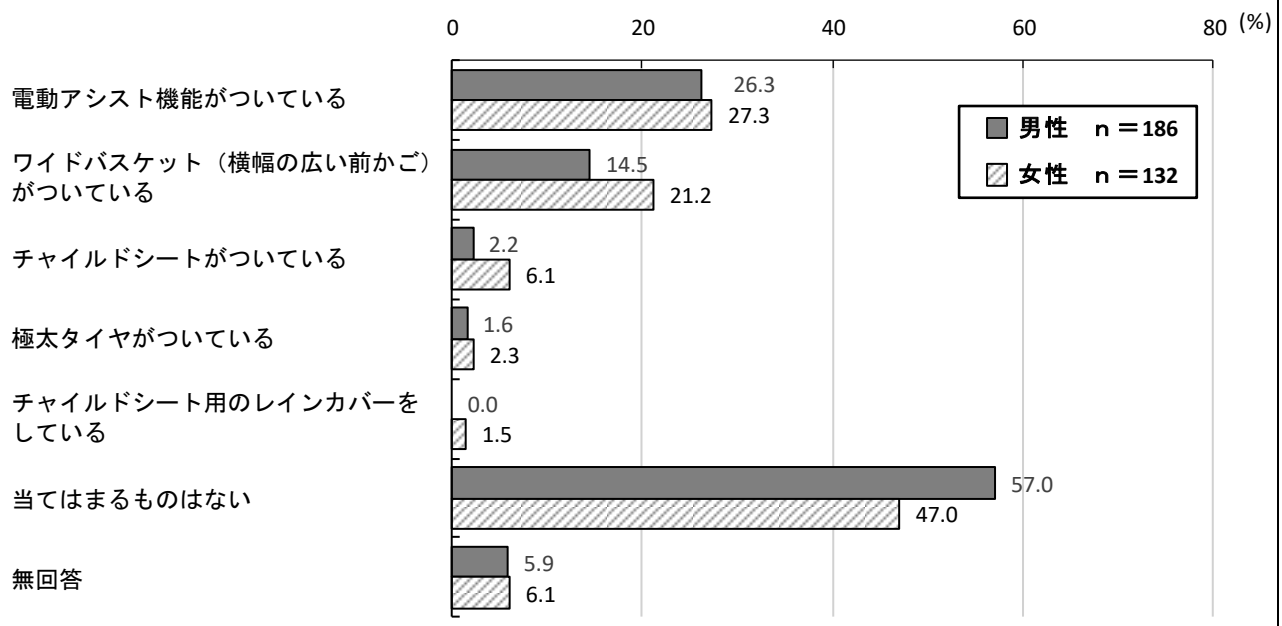
■ 問19で「１　週に５日以上」～「４　月に１～３日程度」と答えた人のみ

問20　あなたが利用している自転車の機能や付属品などについて伺います。次の中から当てはまるものを全て選んで○をつけてください。２台以上ある場合は、最も利用している自転車についてお答えください。



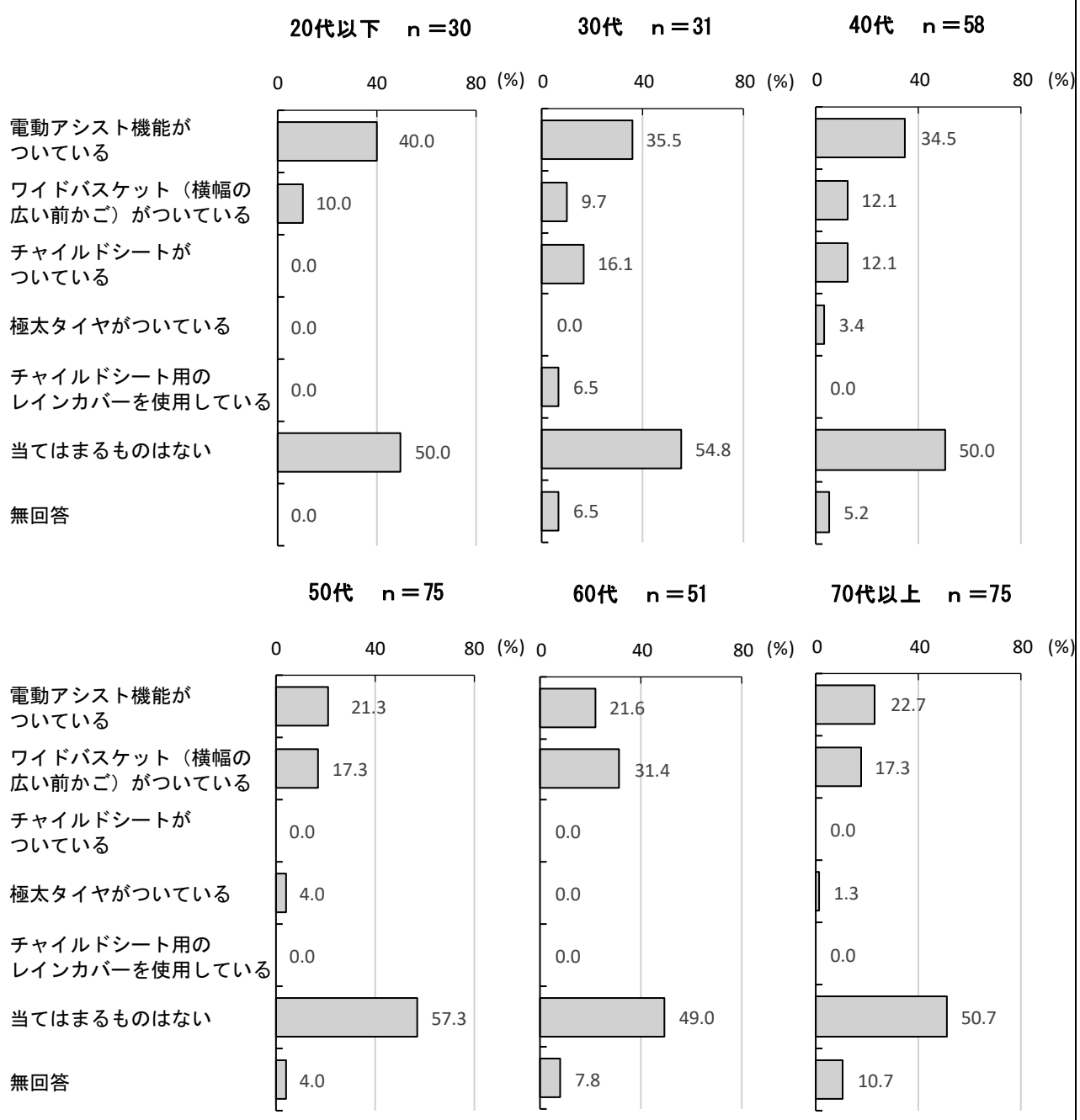
所有自転車の機能や付属品については、「当てはまるものはない」が52.5％と最も多く、次いで「電動アシスト機能がついている」が26.9％、「ワイドバスケットがついている」が17.3％となっている。

＜性別＞



性別で見ると、女性において「電動アシスト機能がついている」が1.0ポイント、「ワイドバスケットがついている」が6.7ポイント、「チャイルドシートがついている」が3.9ポイント、それぞれ男性より多くなっている。男性においては「当てはまるものはない」が10.0ポイント、女性より多くなっている。

＜年代別＞

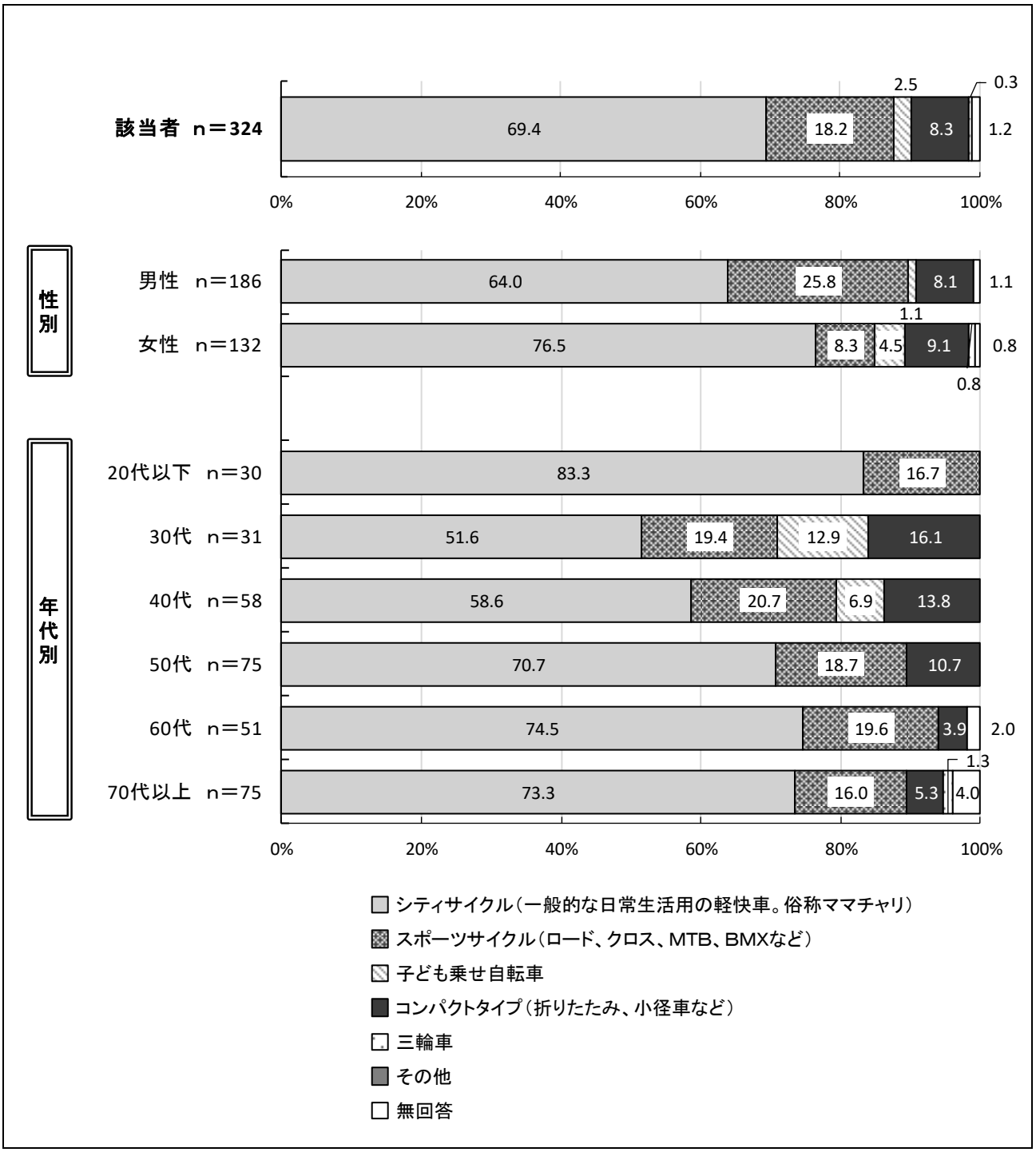


年代別では、30代・40代において「チャイルドシートがついている」が10%以上と、ほかの年代に比べて多くなっている。60代においては「ワイドバスケットがついている」が31.4%と、ほかの年代に比べて多くなっている。

（４）利用自転車のタイプ

■ 問19で「１　週に５日以上」～「４　月に１～３日程度」と答えた人のみ

問21　あなたが利用している自転車はどのタイプですか。次の中から１つだけ選んで○をつけてください。２台以上ある場合は、最も利用している自転車のタイプをお答えください。



利用している自転車のタイプは、「シティサイクル」が69.4%、「スポーツサイクル」が18.2%、「コンパクトタイプ」が8.3%となっている。

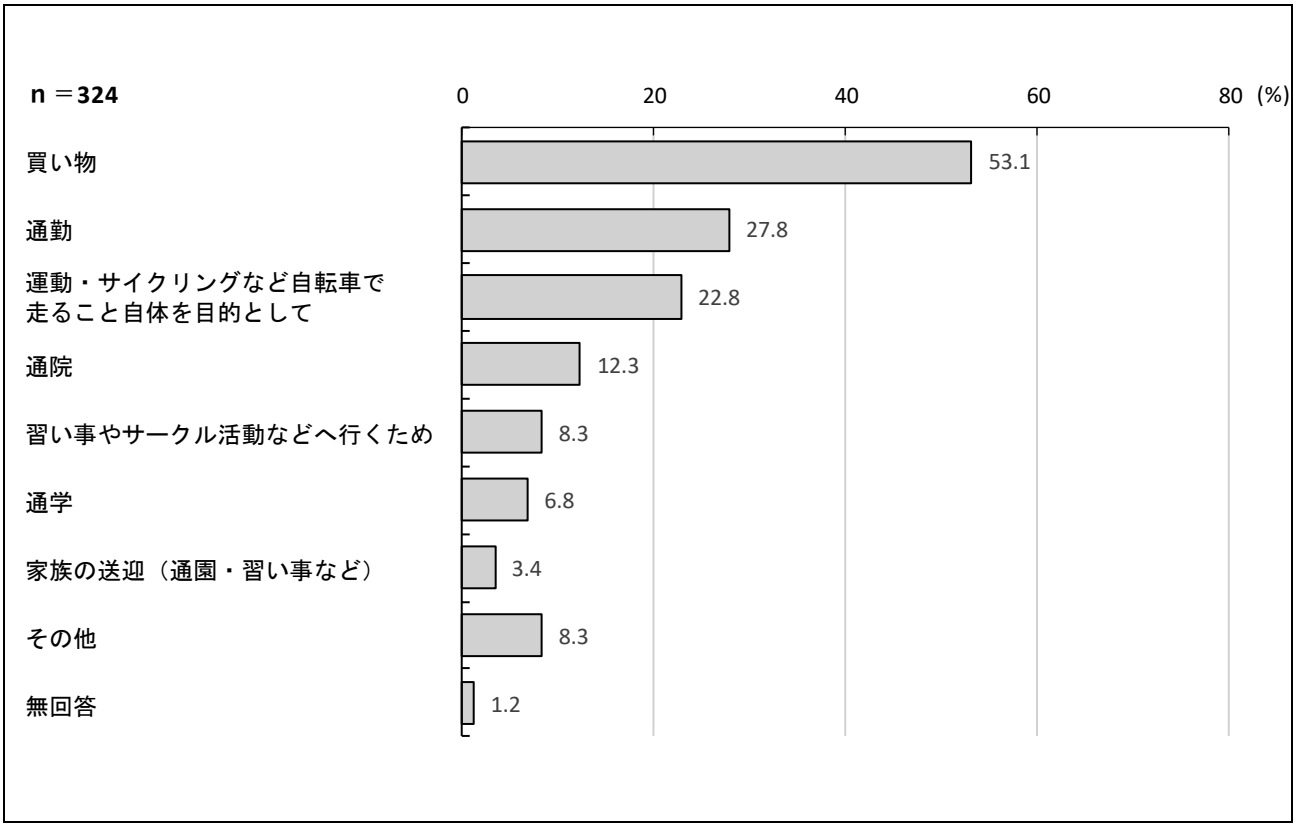
性別で見ると、女性において「シティサイクル」が76.5%と、男性より12.5ポイント多くなっている。男性においては「スポーツサイクル」が25.8%と、女性より17.5ポイント多くなっている。

年代別では、20代以下において「シティサイクル」が83.3%と最も多くなっている。30代・40代・50代においては「コンパクトタイプ」が10%以上と、ほかの年代に比べて多くなっている。

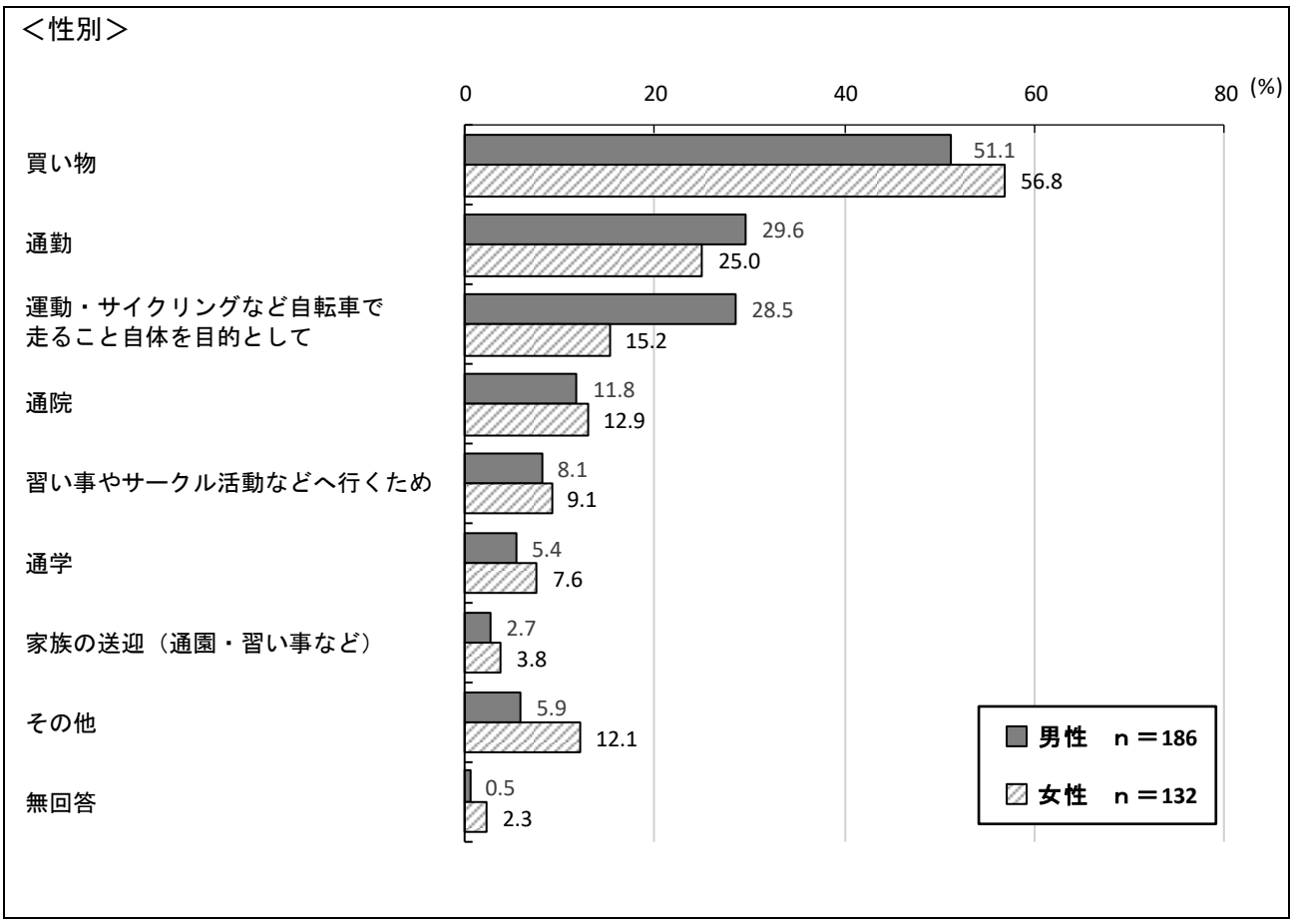
（５）自転車の利用目的

■ 問19で「１　週に５日以上」～「４　月に１～３日程度」と答えた人のみ

問22　あなたが自転車を利用する目的は何ですか。次の中から当てはまるものを全て選んで○をつけてください。

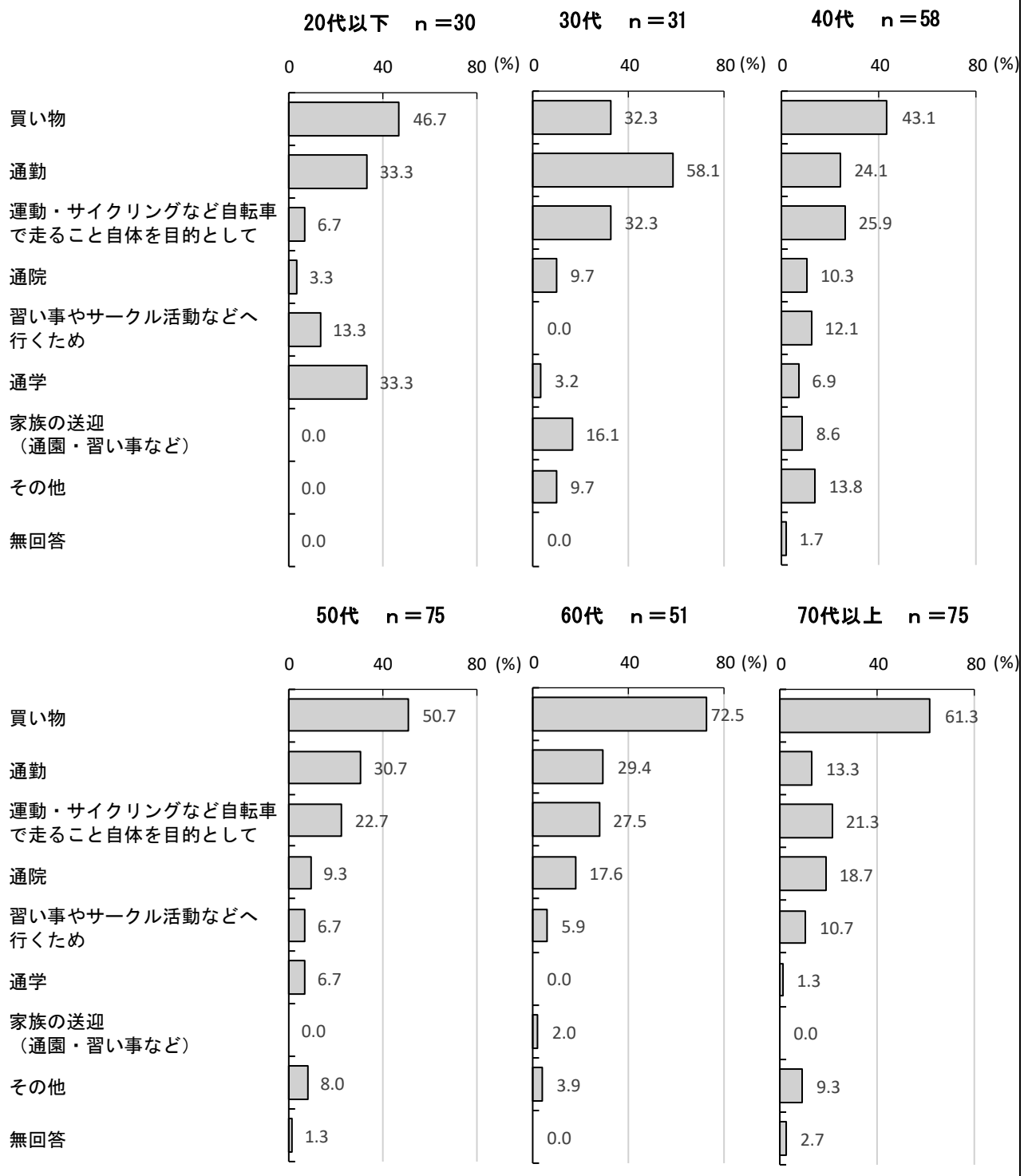


自転車の利用目的は、「買い物」が53.1％と最も多く、次いで「通勤」が27.8％、「運動・サイクリングなど自転車で走ること自体を目的として」が22.8％となっている。



性別で見ると、男性において「通勤」「運動・サイクリングなど自転車で走ること自体を目的として」が、女性より多くなっている。女性においては「買い物」が56.8%と、男性より5.7ポイント多くなっている。

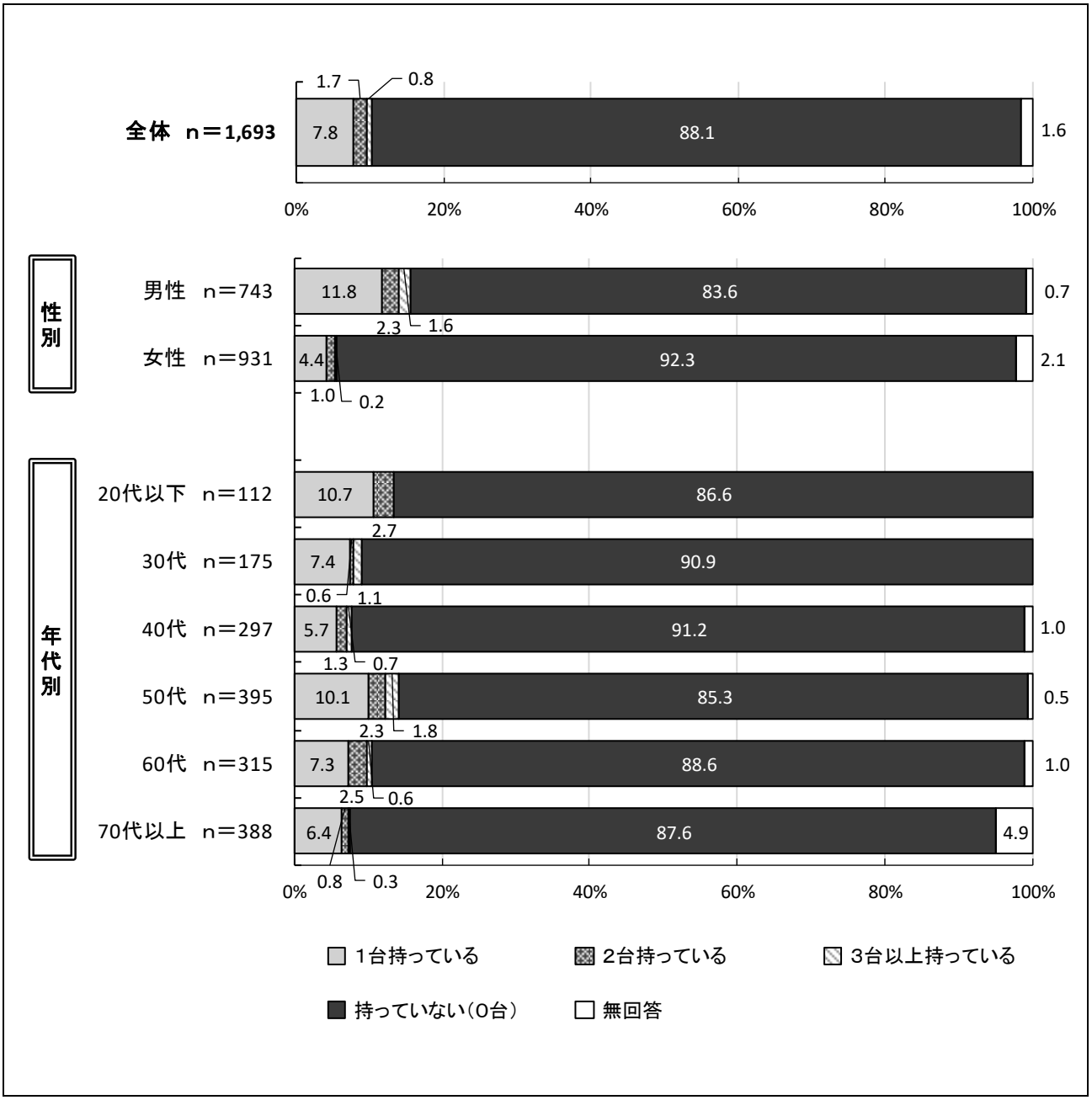
＜年代別＞



年代別では、20代以下において「通学」が33.3%と、ほかの年代に比べて多くなっている。30代においては「通勤」が58.1%と、最も多くなっている。

（６）原付・バイクの所有台数

問23　あなたは、原動機付自転車（以下「原付」）やバイクを持っていますか。次の中から１つだけ選んで○をつけてください。



原付・バイクの所有台数は、「持っていない（０台)」が最も多く、88.1%を占めている。次いで「１台持っている」が7.8%となっている。

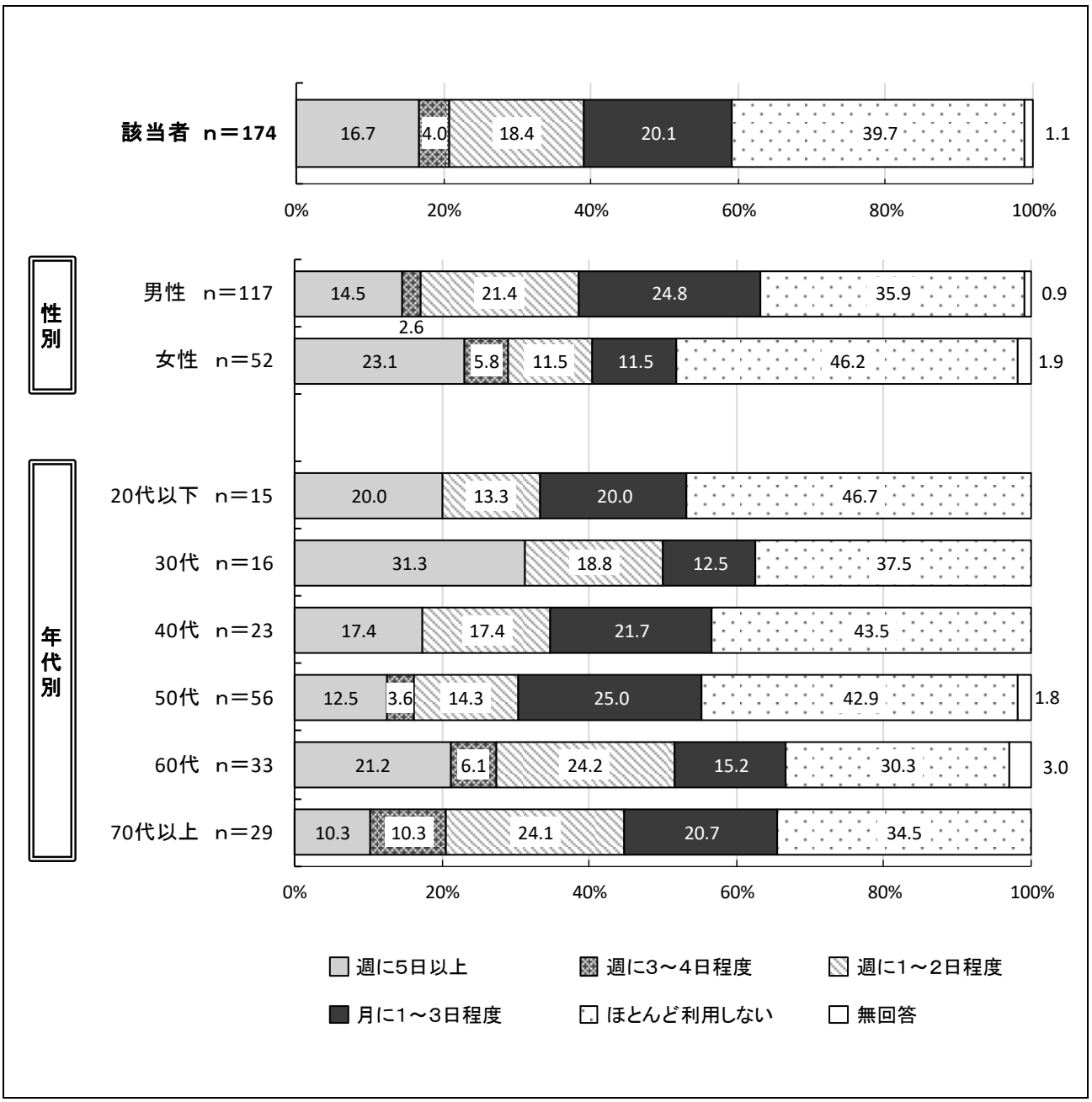
性別で見ると、男性において「１台持っている」が11.8%と、女性より多くなっている。女性においては「持っていない（０台)」が92.3%と、男性より多くなっている。

年代別では、20代以下・50代において「１台持っている」が10%以上と、ほかの年代に比べて多くなっている。

（７）原付・バイクの利用頻度

■ 問23で「１　１台持っている」～「３　３台以上持っている」と答えた人のみ

問24　あなたは、原付・バイクをどのくらいの頻度で利用していますか。次の中から１つだけ選んで○をつけてください。



原付・バイクの利用頻度は、「ほとんど利用しない」が39.7％と最も多く、次いで「月に１～３日程度」が20.1％、「週に１～２日程度」が18.4％となっている。

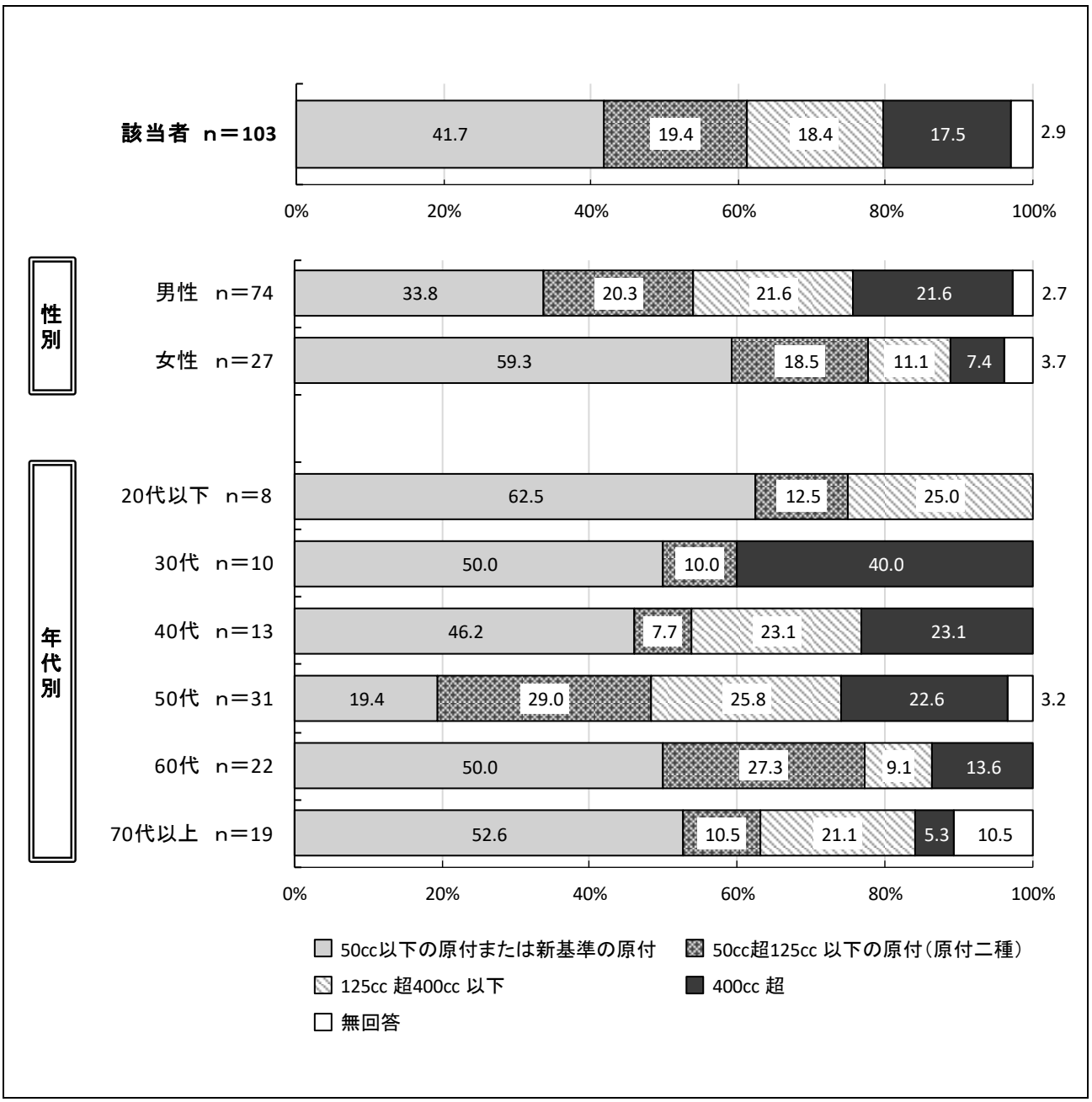
性別で見ると、女性において「週に５日以上」「週に３～４日程度」「ほとんど利用しない」が、男性より多くなっている。男性においては「週に１～２日程度」「月に１～３日程度」が、女性より多くなっている。

年代別では、30代において「週に5日以上」が31.3％と、ほかの年代に比べて多くなっている。50代においては「月に１～３日程度」が25.0％と、ほかの年代に比べて多くなっている。

（８）所有原付・バイクの総排気量

■ 問24で「１　週に５日以上」～「４　月に１～３日程度」と答えた人のみ

問25　あなたが持っている原付・バイクの総排気量を、次の中から１つだけ選んで○をつけてください。２台以上ある場合は、最も利用している原付・バイクについてお答えください。



所有する原付・バイクの総排気量は、「50cc以下の原付または新基準の原付」が41.7%と最も多く、次いで「50cc超125cc以下の原付（原付二種）」が19.4%、「125cc超400cc以下」が18.4%、「400cc超」が17.5%となっている。

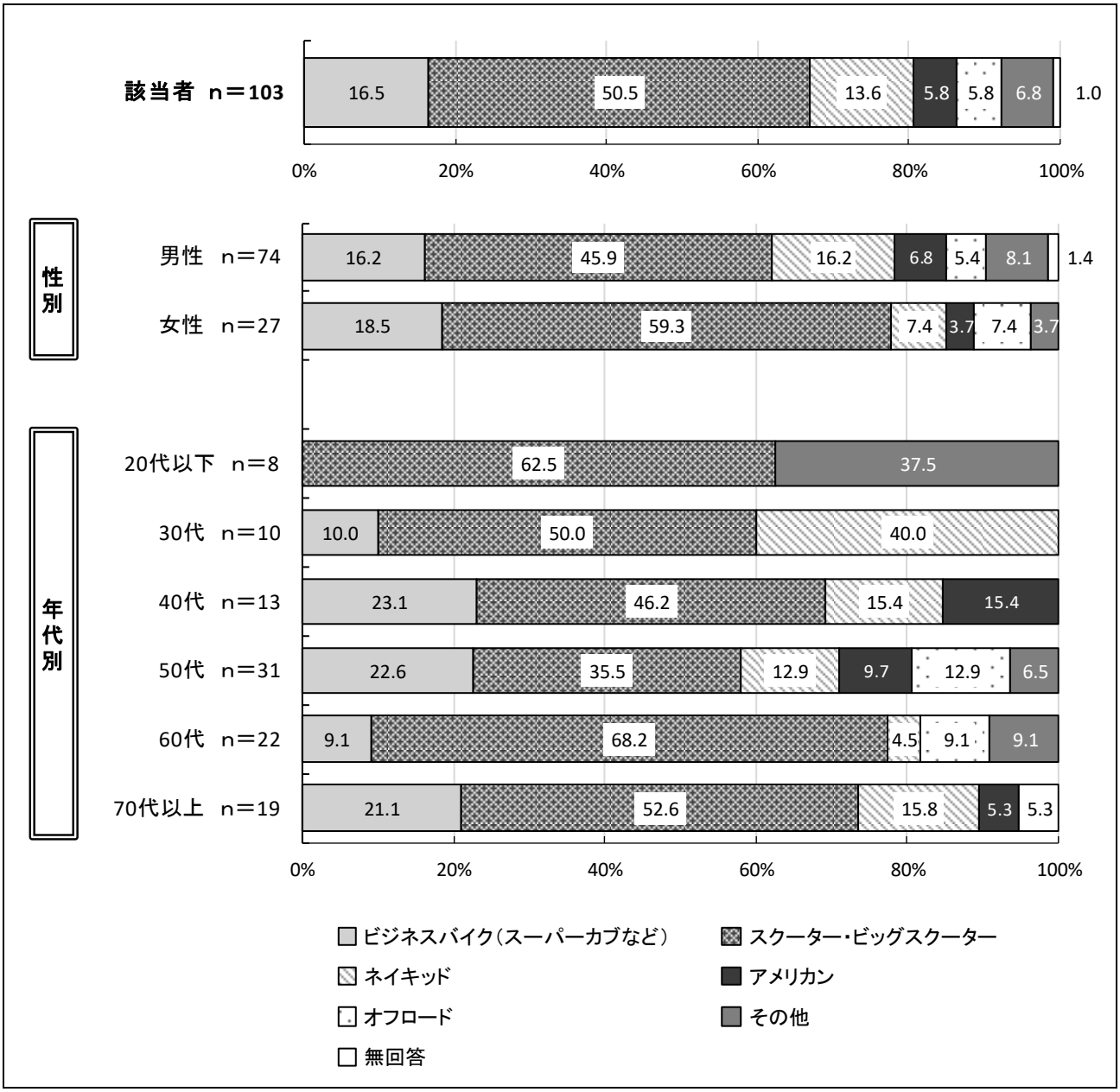
性別で見ると、男性において50cc以上の原付・バイクを所有している割合が、女性より多くなっている。女性においては「50cc以下の原付または新基準の原付」が59.3%と、男性よりも多くなっている。

年代別では、該当者が少ないため参考となるが、20代以下において「50cc以下の原付または新基準の原付」が62.5%と、ほかの年代に比べて多くなっている。30代において「400cc超」が、50代において、50cc以上の原付・バイクを所有している割合が、ほかの年代に比べて多くなっている。

（９）所有原付・バイクのタイプ

■ 問24で「１　週に５日以上」～「４　月に１～３日程度」と答えた人のみ

問26　あなたが持っている原付・バイクのタイプを、次の中から１つだけ選んで○をつけてください。２台以上ある場合は、最も利用している原付・バイクについてお答えください。



所有する原付・バイクのタイプは、「スクーター・ビッグスクーター」が50.5%と最も多く、次いで「ビジネスバイク（スーパーカブなど）」が16.5%、「ネイキッド」が13.6%となっている。

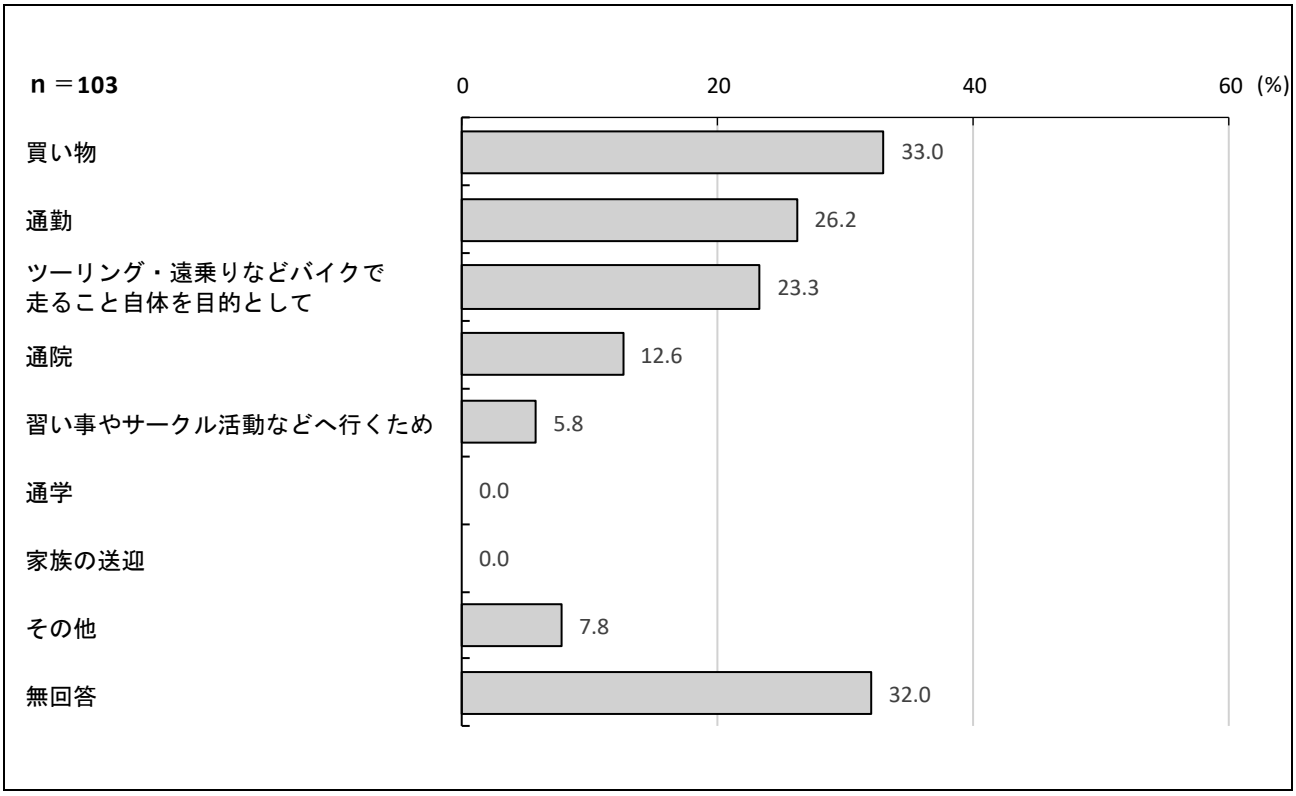
性別で見ると、女性において「スクーター・ビッグスクーター」が59.3%と、男性より13.4ポイント多くなっている。男性においては「ネイキッド」が16.2%と、女性より8.8ポイント多くなっている。

年代別では、該当者が少ないため参考となるが、20代以下と60代において「スクーター・ビッグスクーター」が60%以上と、ほかの年代に比べて多くなっている。30代においては「ネイキッド」が、40代・50代・70代以上においては「ビジネスバイク（スーパーカブなど」が20%以上と、ほかの年代に比べて多くなっている。

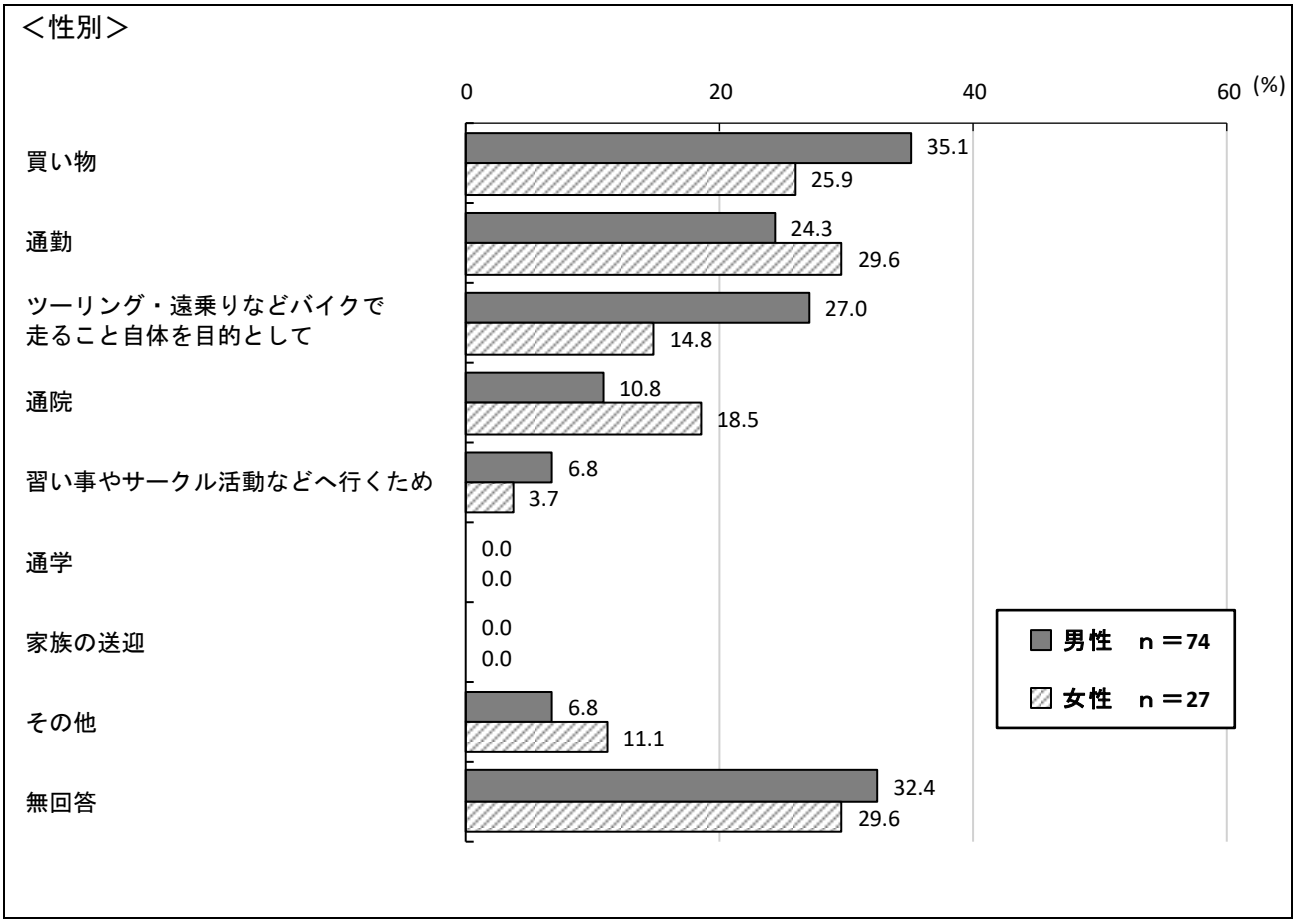
(10) 原付・バイクの利用目的

■ 問24で「１　週に５日以上」～「４　月に１～３日程度」と答えた人のみ

問27　あなたが原付・バイクを利用する目的は何ですか。次の中から当てはまるものを全て選んで○をつけてください。

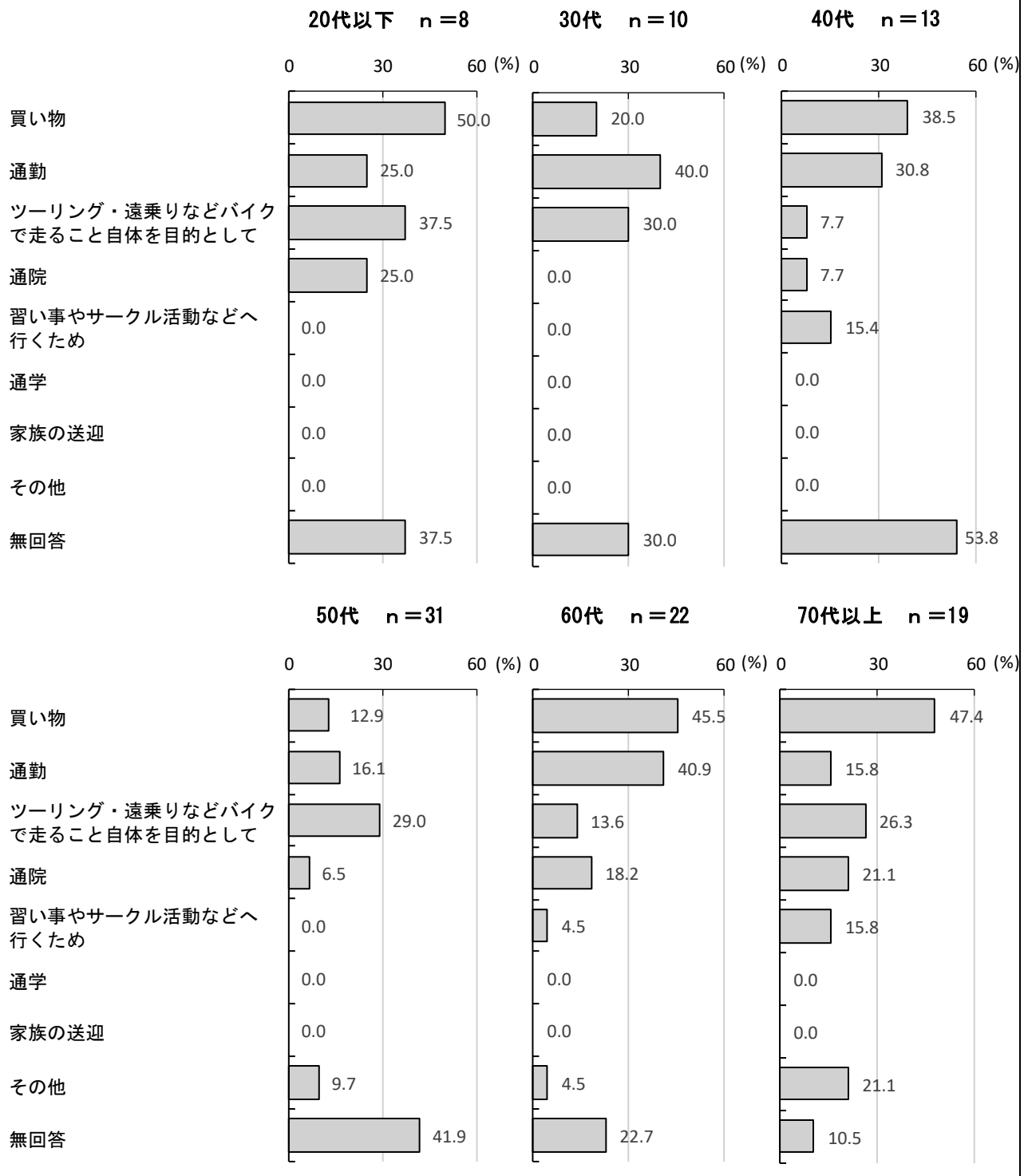


原付・バイクの利用目的は、「買い物」が33.0%と最も多く、次いで「通勤」が26.2%、「ツーリング・遠乗りなどバイクで走ること自体を目的として」が23.3%となっている。



性別で見ると、男性において「買い物」「ツーリング・遠乗りなどバイクで走ること自体を目的として」が、女性より9.0ポイント以上多くなっている。女性においては「通勤」「通院」が、男性より5.0ポイント以上多くなっている。

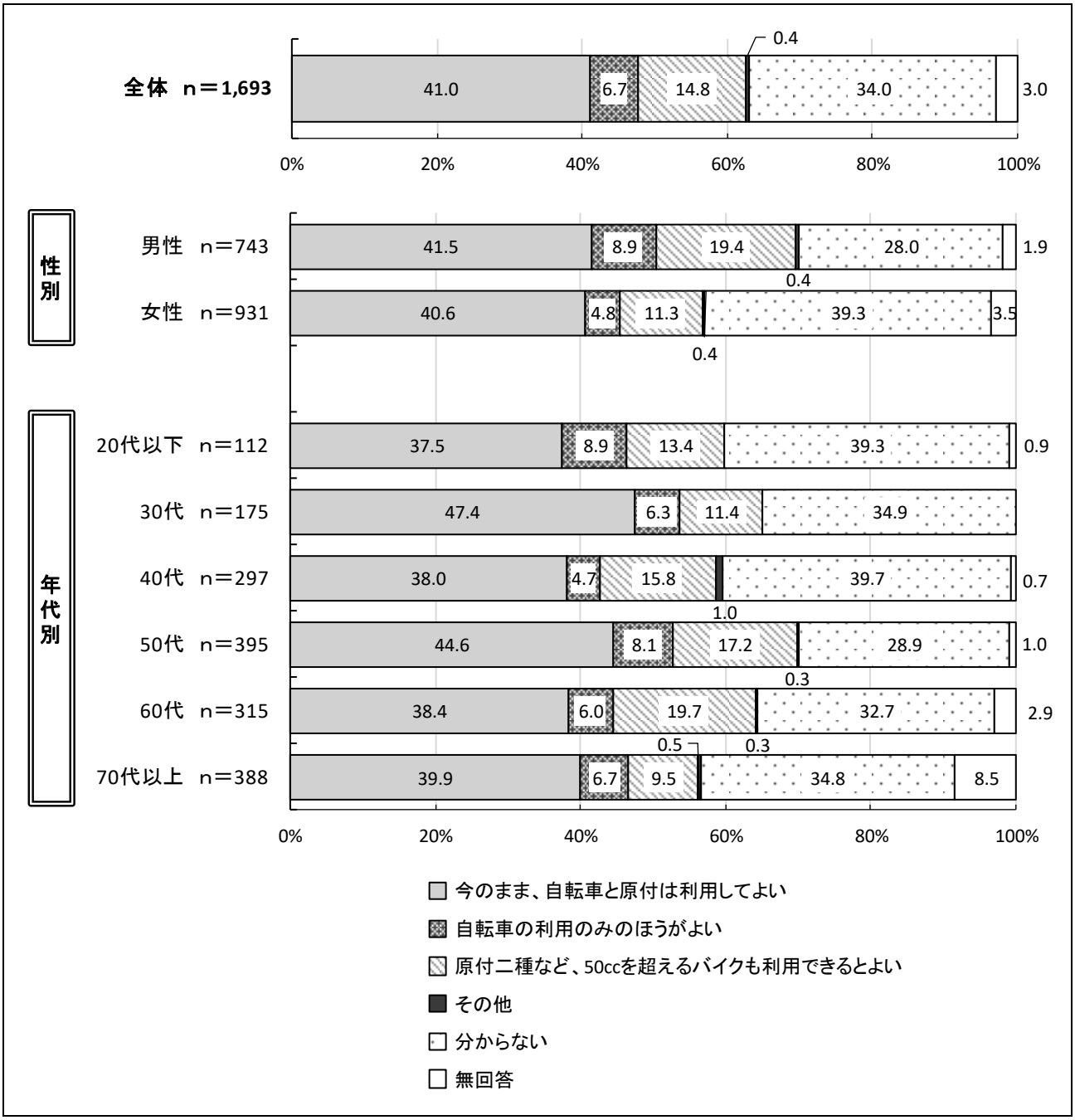
＜年代別＞



年代別では、該当者が少ないため参考となるが、30代と50代を除く年代において「買い物」が最も多くなっている。30代においては「通勤」が、50代においては「ツーリング・遠乗りなどバイクで走ること自体を目的として」が最も多くなっている。

（11）市営駐輪場の原付利用について

問28　市営駐輪場は、50cc以下の原付または新基準の原付が利用できます。このことについて、あなたの考えに最も近いものを、次の中から１つだけ選んで○をつけてください。



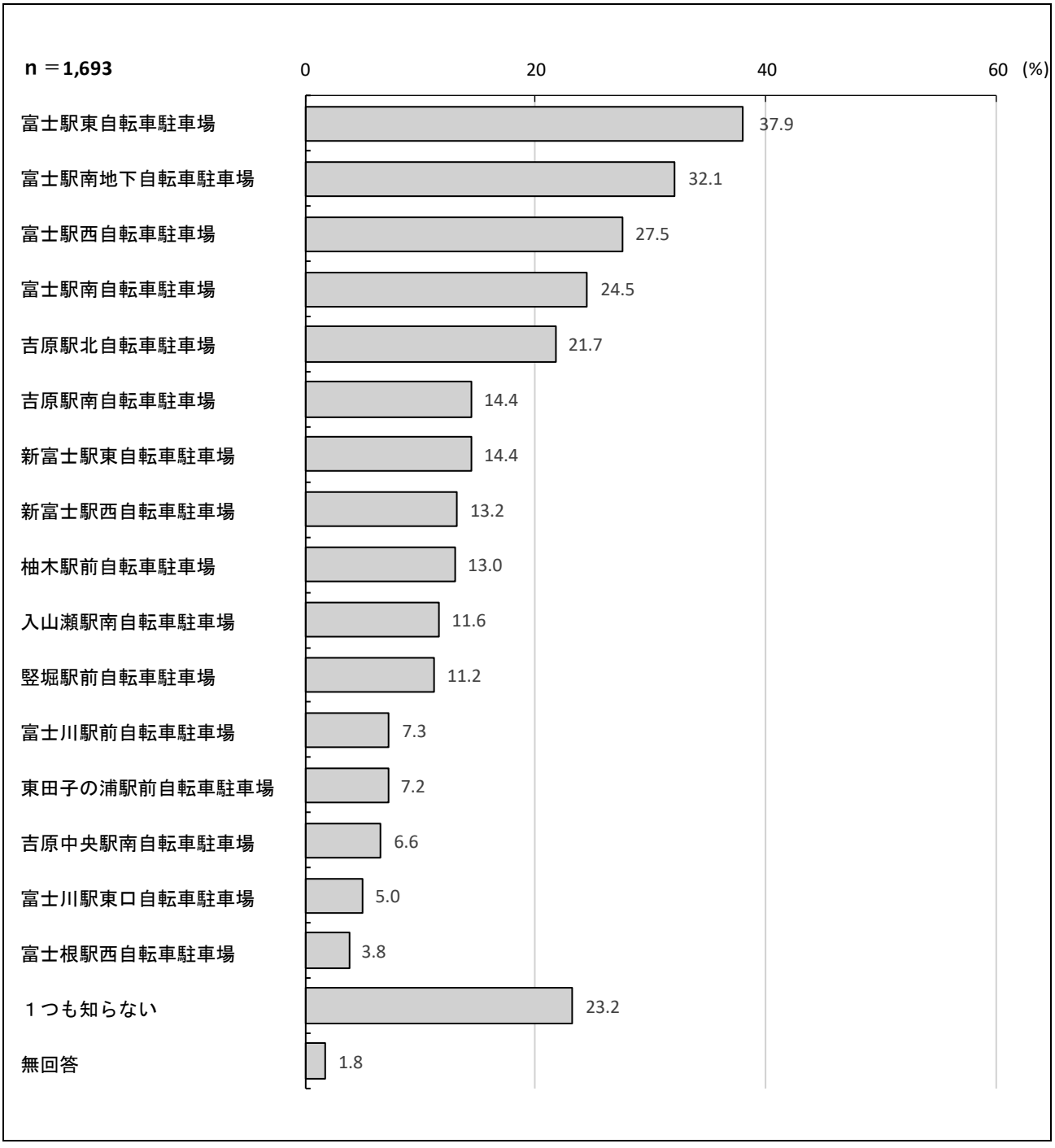
市営駐輪場は50cc以下の原付または新基準の原付が利用できることについては、「今のまま、自転車と原付は利用してよい」が41.0％と最も多く、次いで「原付二種など、50ccを超えるバイクも利用できるとよい」が14.8％、「自転車の利用のみのほうがよい」が6.7％となっている。また、「分からない」が34.0％と多くなっている。

性別で見ると、男性において「原付二種など、50ccを超えるバイクも利用できるとよい」が19.4％と、女性より8.1ポイント多くなっている。

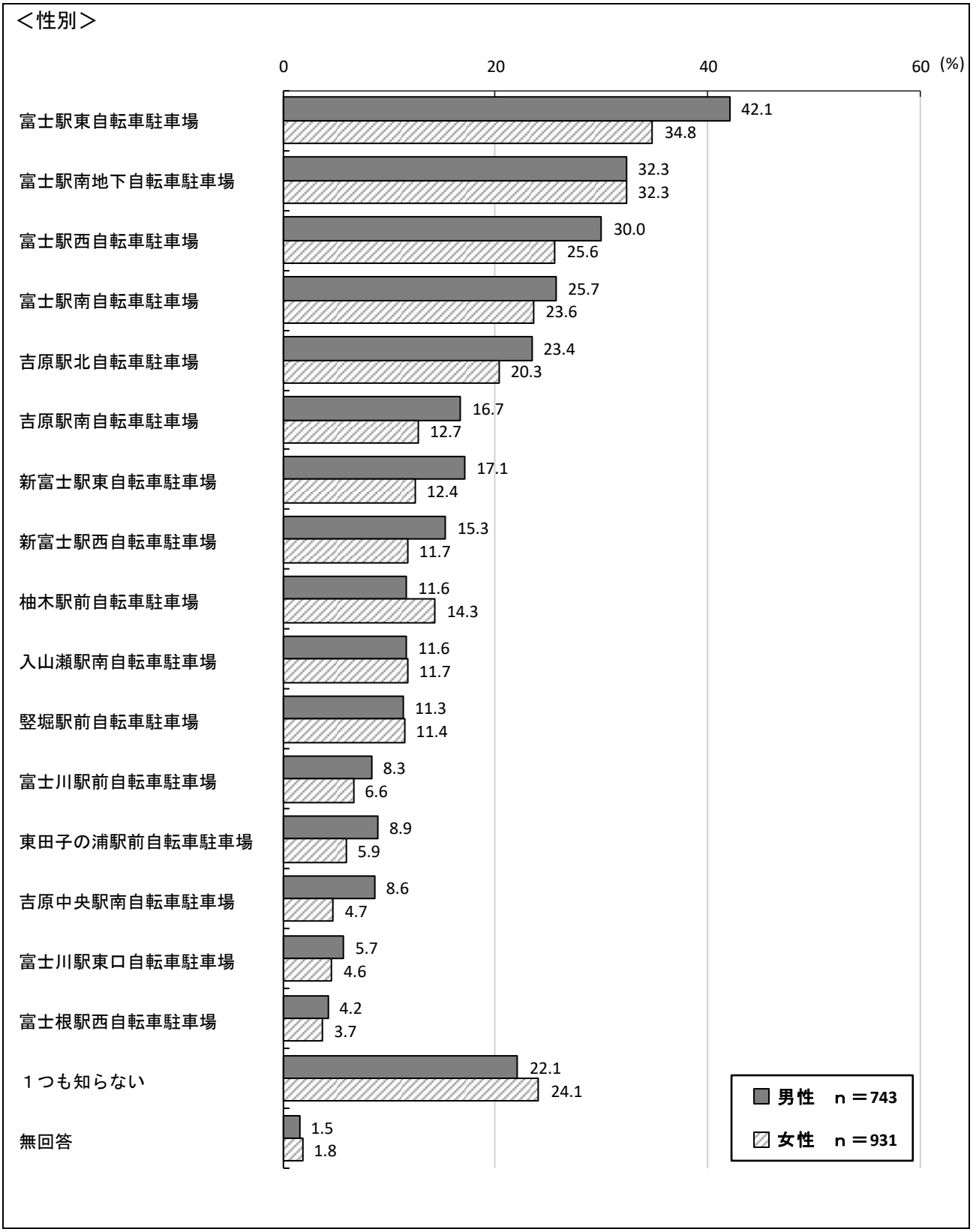
年代別では、30代・50代において「今のまま、自転車と原付は利用してよい」が40％以上と、ほかの年代に比べて多くなっている。

(12) 市営駐輪場の認知度

問29　あなたが知っている市営駐輪場はどれですか。下の地図を参考に、次の中から当てはまるものを全て選んで○をつけてください。

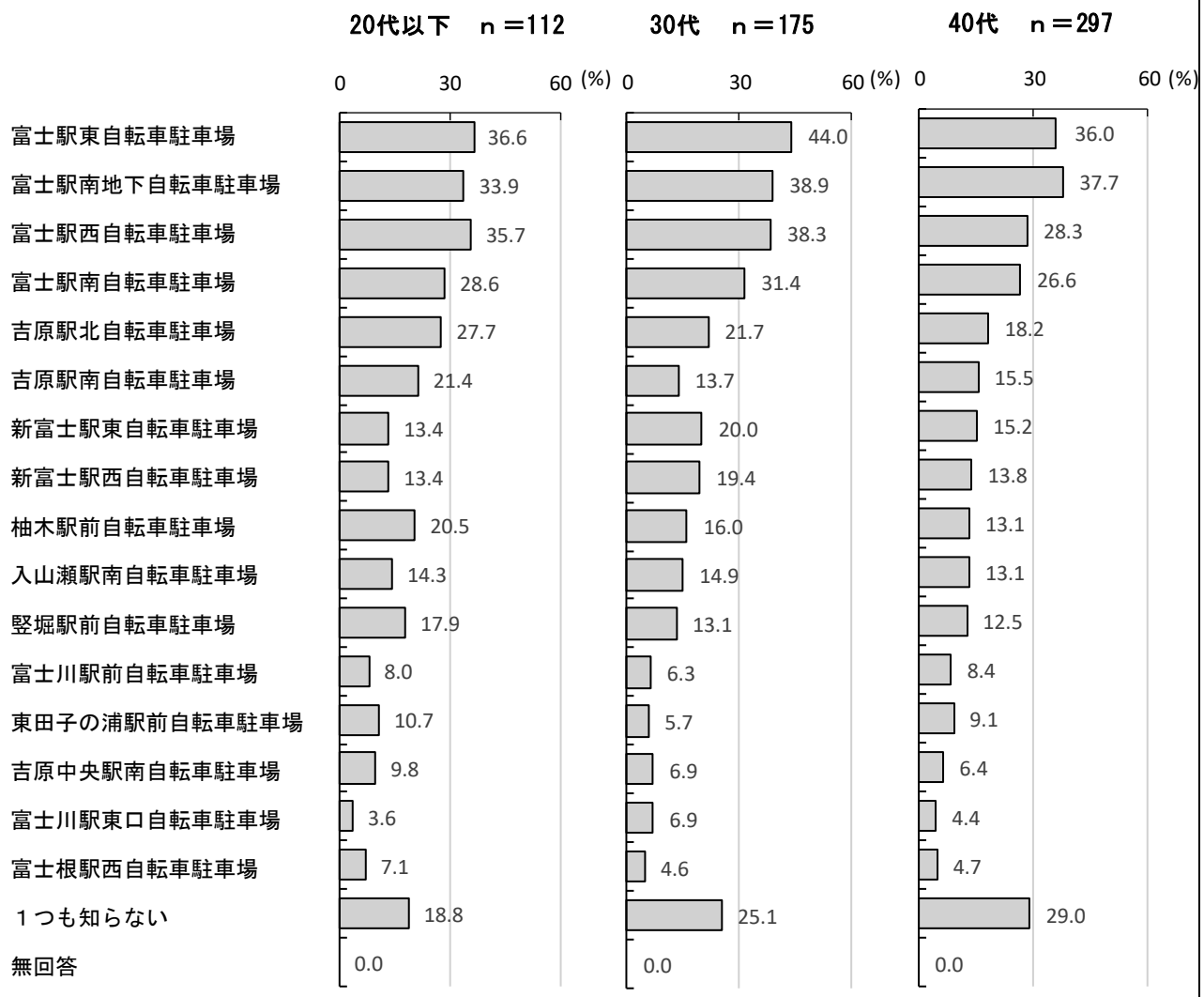


市営駐輪場の認知度は、「富士駅東自転車駐輪場」が37.9%と最も多く、次いで「富士駅南地下自転車駐輪場」が32.1%、「富士駅西自転車駐輪場」が27.5%となっている。一方、「１つも知らない」は23.2%となっている。



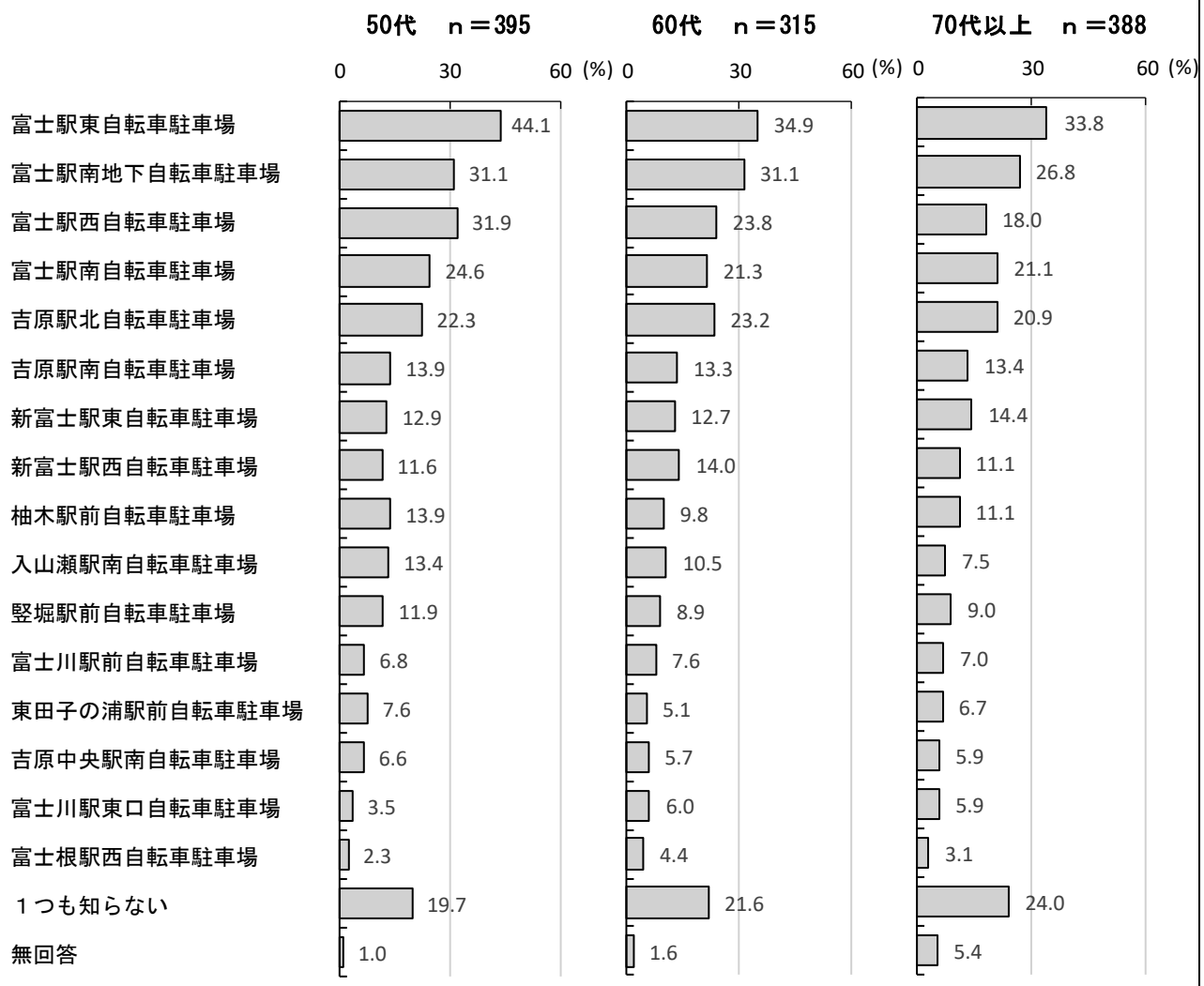
性別で見ると、男性が女性より各市営駐輪場の認知度が高い傾向にある。女性において「柚木駅前自転車駐輪場」が14.3%と、男性より2.7ポイント多くなっている。「１つも知らない」は、男女ともに20%台となっている。

＜年代別①＞



年代別では、40代を除く年代において「富士駅東自転車駐輪場」の認知度が最も高くなっている。40代においては「富士駅南地下自転車駐輪場」の認知度が最も高くなっている。また、20代以下と50代において「１つも知らない」が20%以下と、ほかの年代に比べて低くなっている。

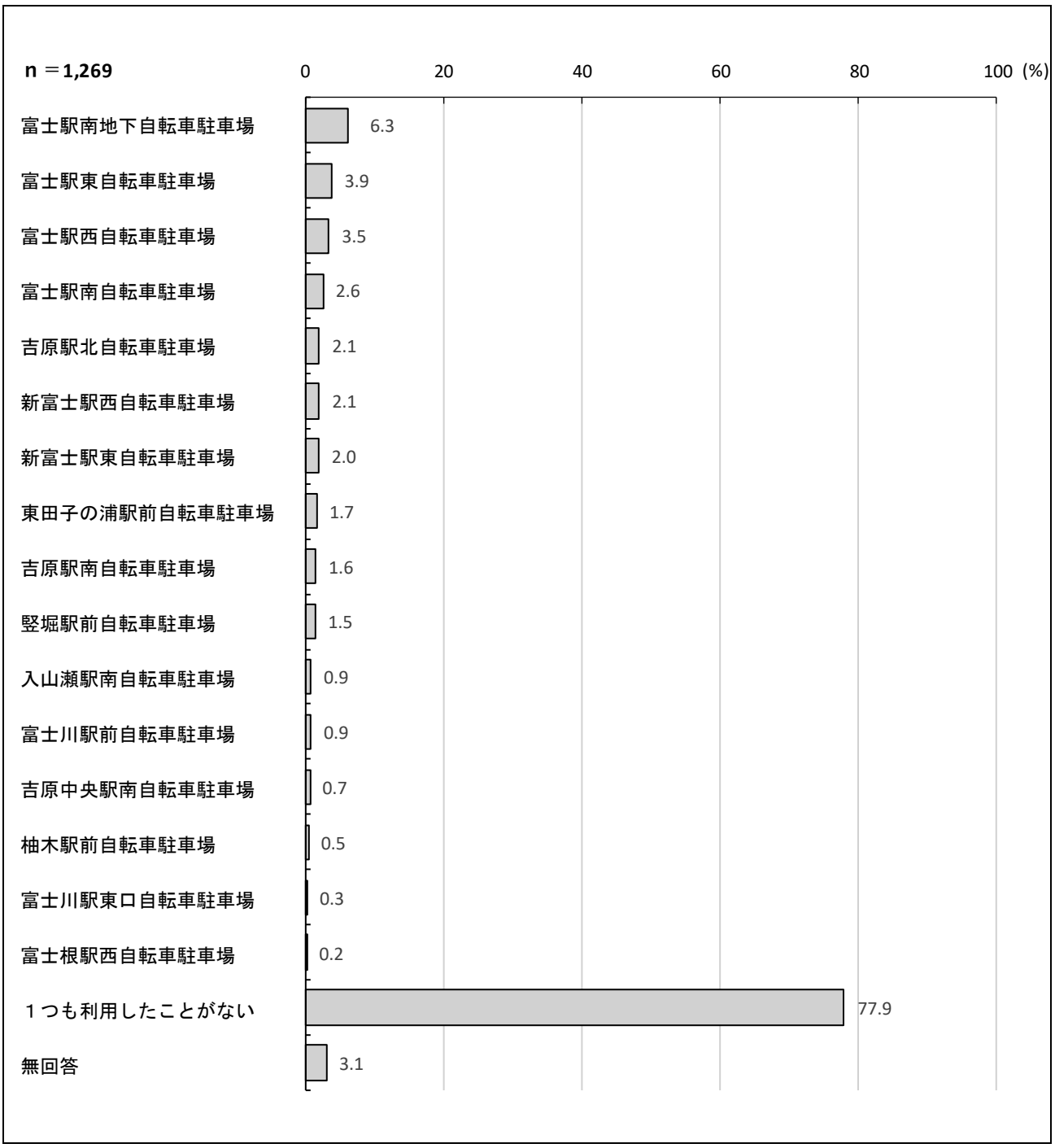
＜年代別②＞


50代　n＝395
60代　n＝315
70代以上　n＝388
0
30
60 (%)
富士駅東自転車駐車場
富士駅南地下自転車駐車場
富士駅西自転車駐車場
富士駅南自転車駐車場
吉原駅北自転車駐車場
吉原駅南自転車駐車場
新富士駅東自転車駐車場
新富士駅西自転車駐車場
柚木駅前自転車駐車場
入山瀬駅南自転車駐車場
竪堀駅前自転車駐車場
富士川駅前自転車駐車場
東田子の浦駅前自転車駐車場
吉原中央駅南自転車駐車場
富士川駅東口自転車駐車場
富士根駅西自転車駐車場
１つも知らない
無回答
44.1
31.1
31.9
24.6
22.3
13.9
12.9
11.6
13.9
13.4
11.9
6.8
7.6
6.6
3.5
2.3
19.7
1.0
34.9
31.1
23.8
21.3
23.2
13.3
12.7
14.0
9.8
10.5
8.9
7.6
5.1
5.7
6.0
4.4
21.6
1.6
33.8
26.8
18.0
21.1
20.9
13.4
14.4
11.1
11.1
7.5
9.0
7.0
6.7
5.9
5.9
3.1
24.0
5.4

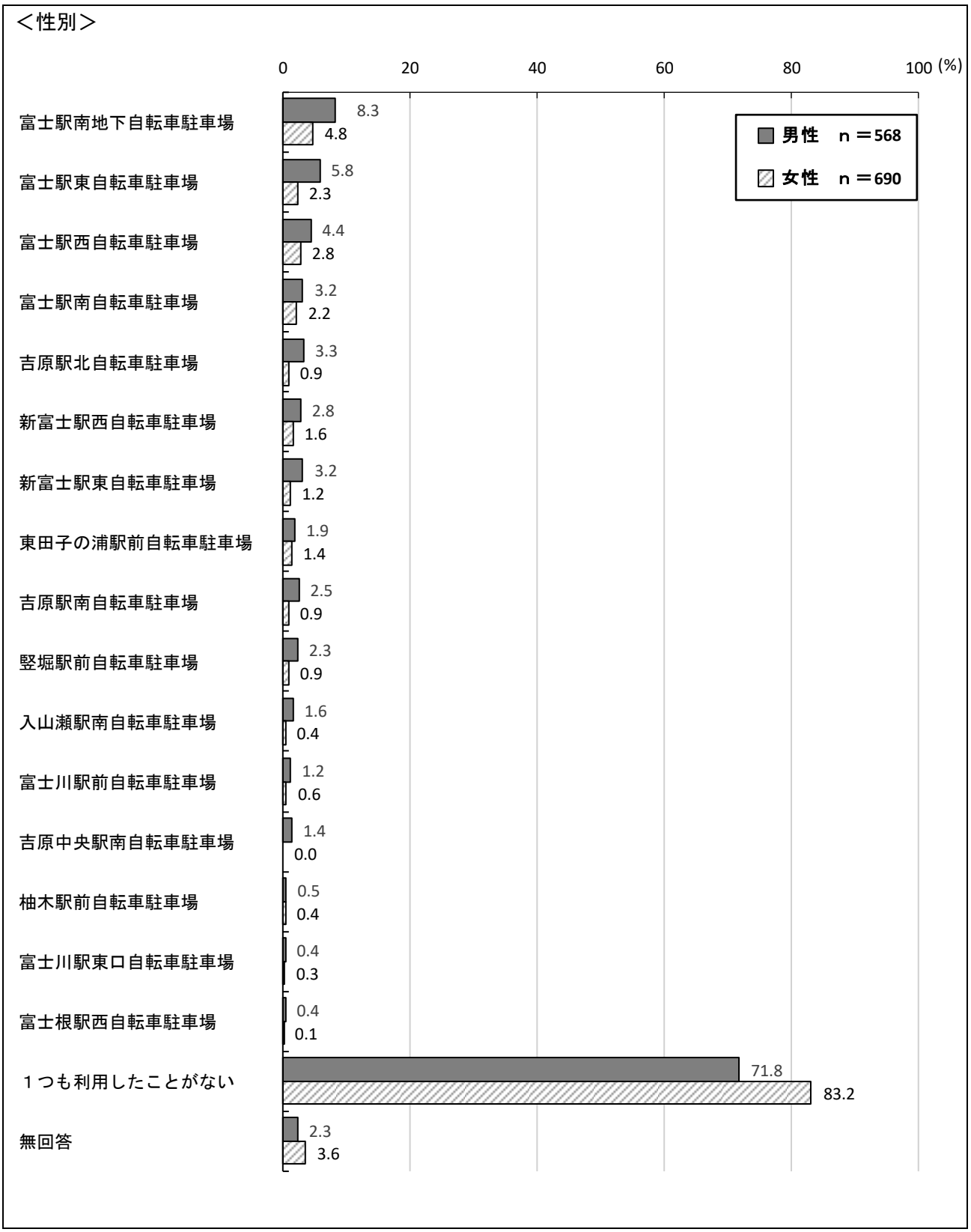
(13) 最近１年間の市営駐輪場利用有無

■ 問29で「１」～「16」の駐輪場のいずれかを知っていると答えた人のみ

問30　あなたが最近１年間に利用したことのある市営駐輪場はどれですか。下の地図を参考に、次の中から当てはまるものを全て選んで○をつけてください。

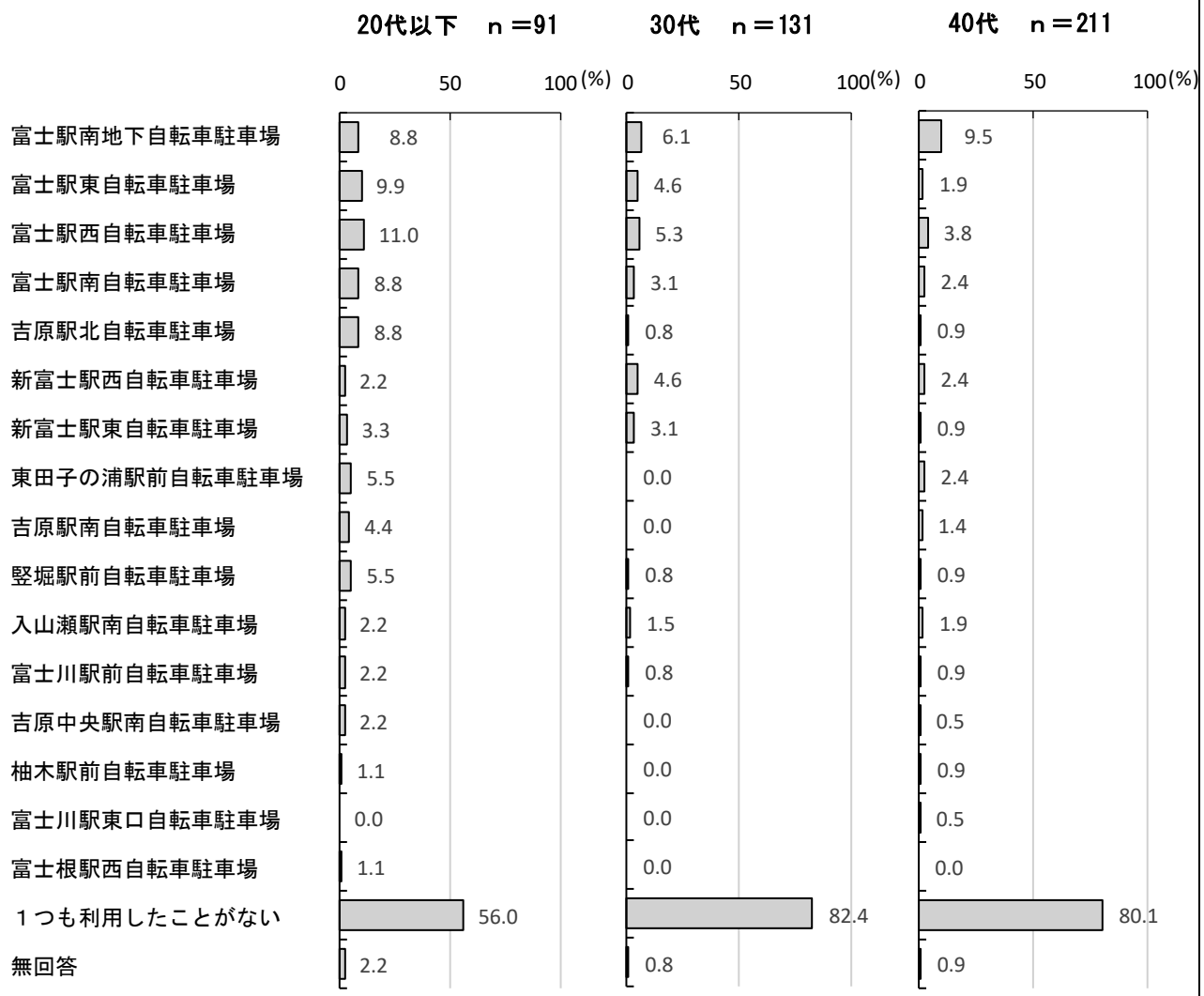


最近１年間の市営駐輪場利用については、「１つも利用したことがない」が77.9%と最も多くなっている。利用したことかのある駐輪場では、「富士駅南地下自転車駐輪場」が6.3%で最も多くなっている。次いで「富士駅東自転車駐輪場」「富士駅西自転車駐輪場」と続くが、いずれも5.0%未満となっている。



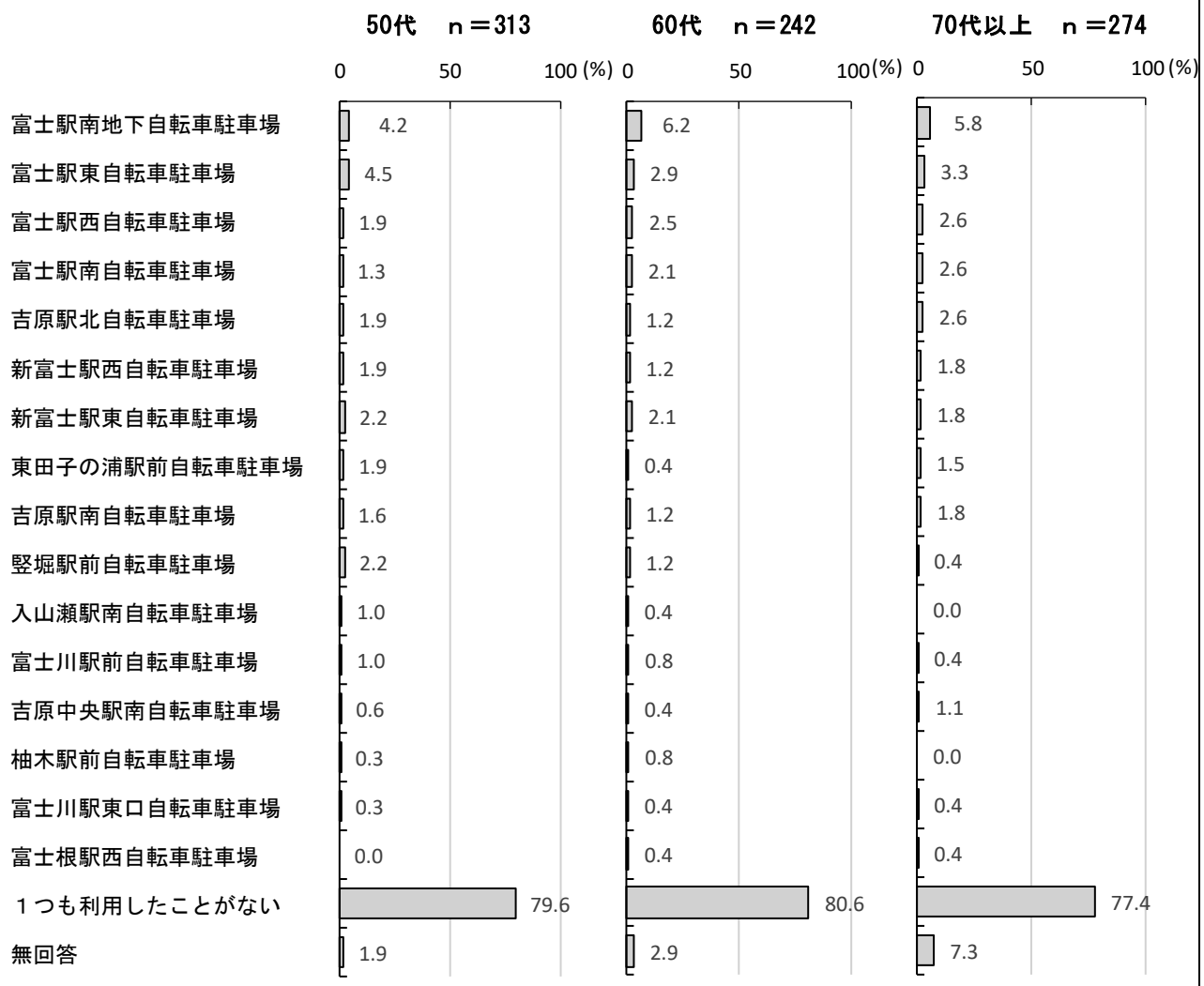
性別で見ると、男性が女性より各市営駐輪場を利用した割合が多いが、いずれも10％未満となっている。女性においては「１つも利用したことがない」が83.2％と、男性より11.4ポイント多くなっている。

＜年代別①＞



年代別では、20代以下において「富士駅西自転車駐輪場」が11.0％と、ほかの年代に比べて多くなっている。また、「１つも利用したことがない」が56.0％と、ほかの年代に比べて20ポイント以上少なくなっている。

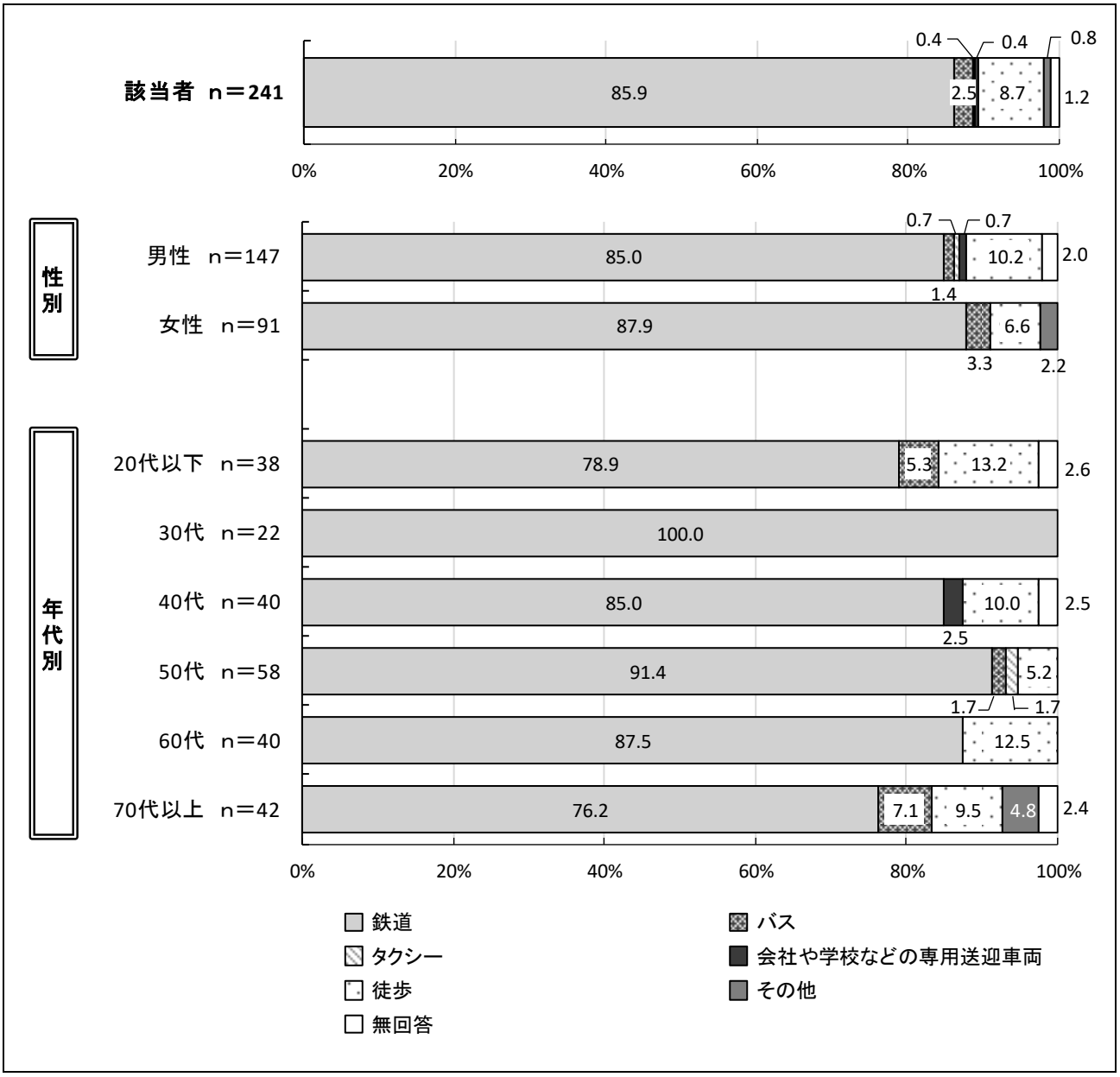
＜年代別②＞


50代　n＝313
60代　n＝242
70代以上　n＝274
0
50
100 (%)
富士駅南地下自転車駐車場
富士駅東自転車駐車場
富士駅西自転車駐車場
富士駅南自転車駐車場
吉原駅北自転車駐車場
新富士駅西自転車駐車場
新富士駅東自転車駐車場
東田子の浦駅前自転車駐車場
吉原駅南自転車駐車場
竪堀駅前自転車駐車場
入山瀬駅南自転車駐車場
富士川駅前自転車駐車場
吉原中央駅南自転車駐車場
柚木駅前自転車駐車場
富士川駅東口自転車駐車場
富士根駅西自転車駐車場
１つも利用したことがない
無回答
4.2
4.5
1.9
1.3
1.9
1.9
2.2
1.9
1.6
2.2
1.0
1.0
0.6
0.3
0.3
0.0
79.6
1.9
6.2
2.9
2.5
2.1
1.2
1.2
2.1
0.4
1.2
1.2
0.4
0.8
0.4
0.8
0.4
0.4
80.6
2.9
5.8
3.3
2.6
2.6
2.6
1.8
1.8
1.5
1.8
0.4
0.0
0.4
1.1
0.0
0.4
0.4
77.4
7.3

（14）市営駐輪場利用後の移動手段

■ 問30で「１」～「16」の駐輪場のいずれかを利用したことがあると答えた人のみ

問31　あなたが市営駐輪場を利用した後の移動手段は何ですか。次の中から１つだけ選んで○をつけてください。複数ある場合は、主なものを１つだけお答えください。



市営駐輪場利用後の移動手段については、「鉄道」が85.9％と最も多く、次いで「徒歩」が8.7％、「バス」が2.5％となっている。

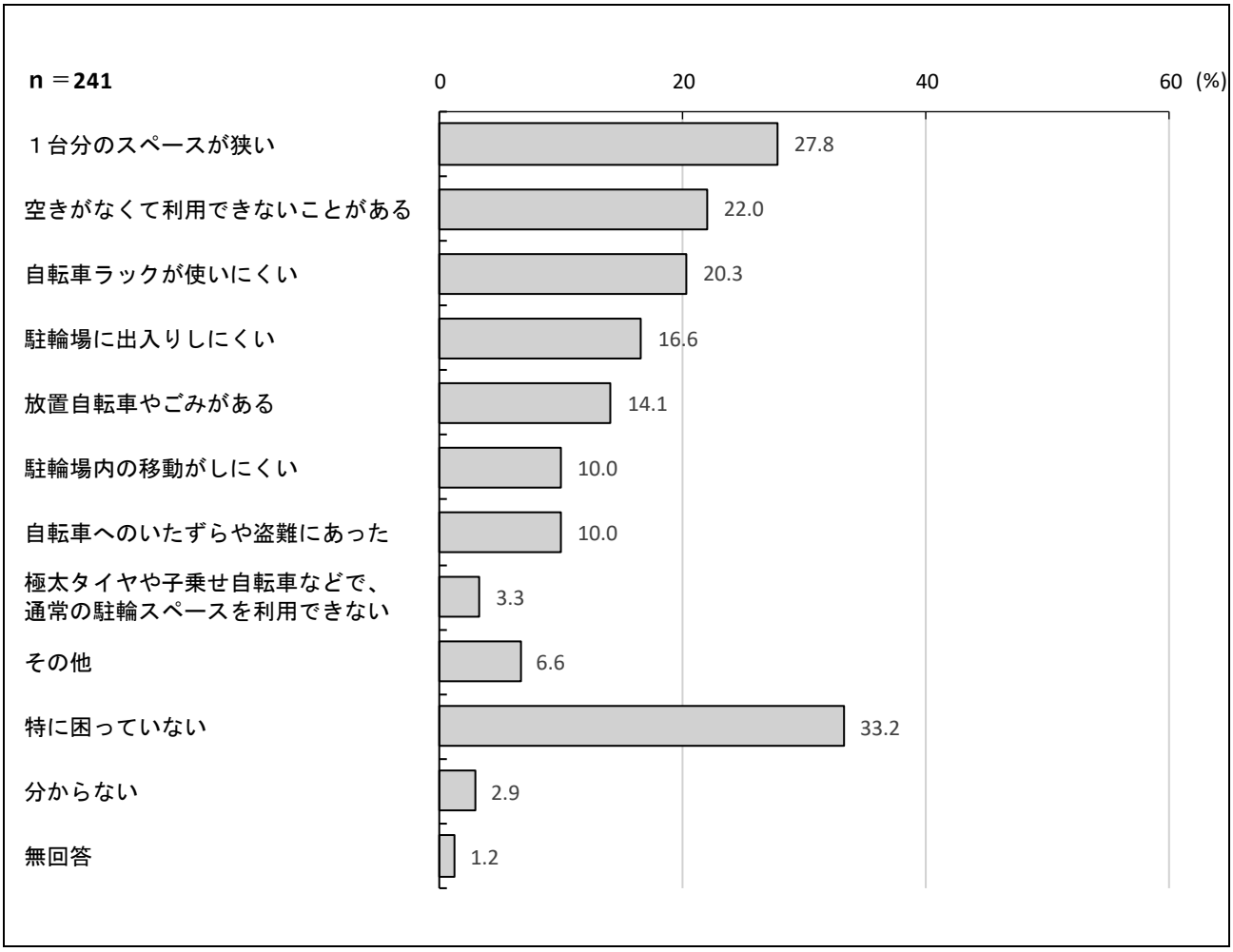
性別で見ると、男性において「徒歩」が、女性よりやや多くなっている。女性においては「鉄道」「バス」が、男性よりやや多くなっている。

年代別では、30代・50代において「鉄道」が90％以上と、ほかの年代に比べて多くなっている。

(15) 市営駐輪場利用で困ったこと

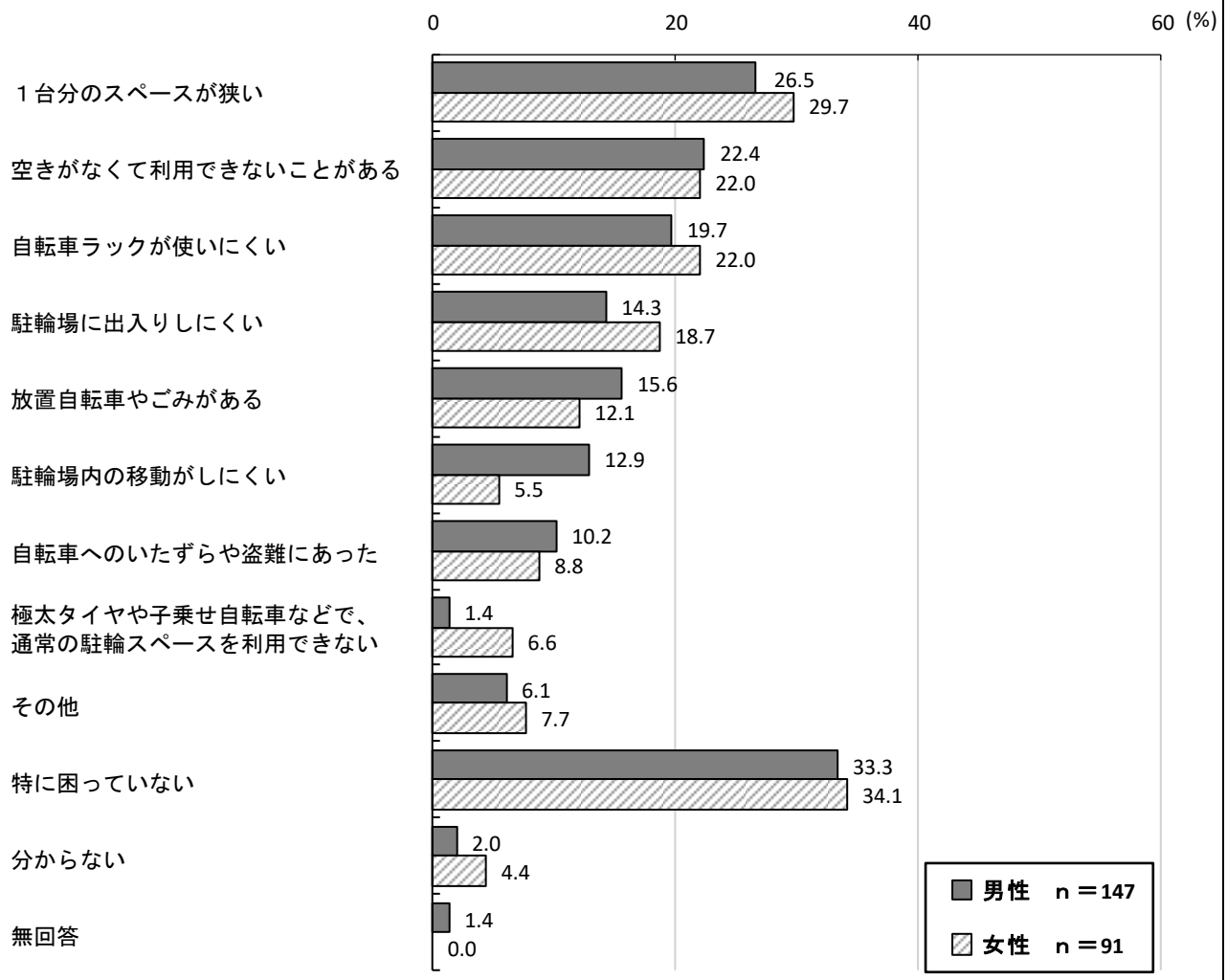
■ 問30で「１」～「16」の駐輪場のいずれかを利用したことがあると答えた人のみ

問32　市営駐輪場を利用したときに、困ったことはありますか。次の中から当てはまるものを全て選んで○をつけてください。



市営駐輪場を利用したときに困ったことについては、「特に困っていない」が33.2%と最も多く、次いで「１台分のスペースが狭い」が27.8%、「空きがなくて利用できないことがある」が22.0%、「自転車ラックが使いにくい」が20.3%となっている。

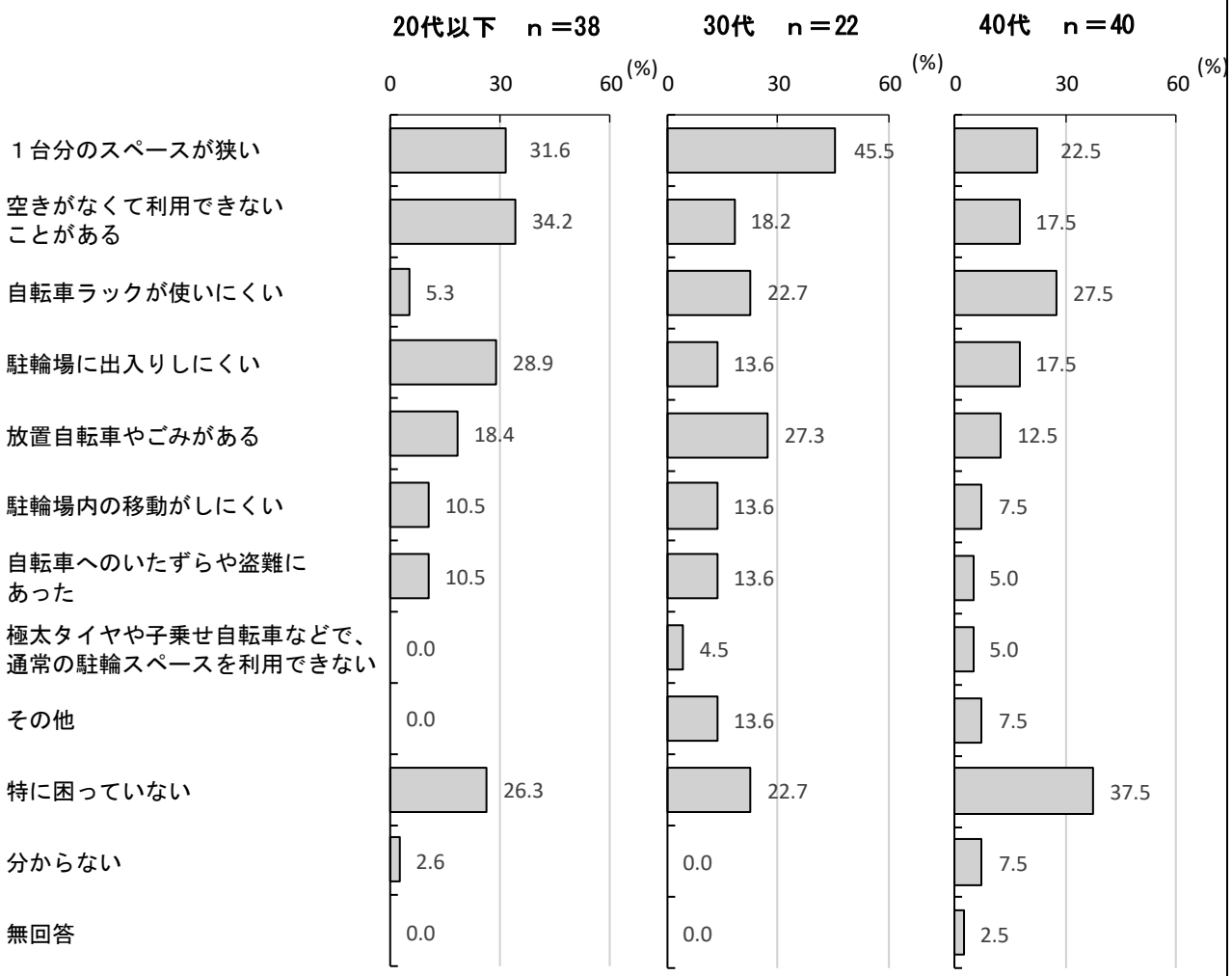
＜性別＞



性別で見ると、男性において「放置自転車やごみがある」「駐輪場内の移動がしにくい」「自転車へのいたずらや盗難にあった」が、女性よりも多くなっている。女性においては「１台分のスペースが狭い」「自転車ラックが使いにくい」「駐輪場に出入りしにくい」「極太タイヤや子乗せ自転車などで、通常の駐輪スペースを利用できない」が、男性より多くなっている。

「特に困っていない」は、男女ともに30%台となっている。

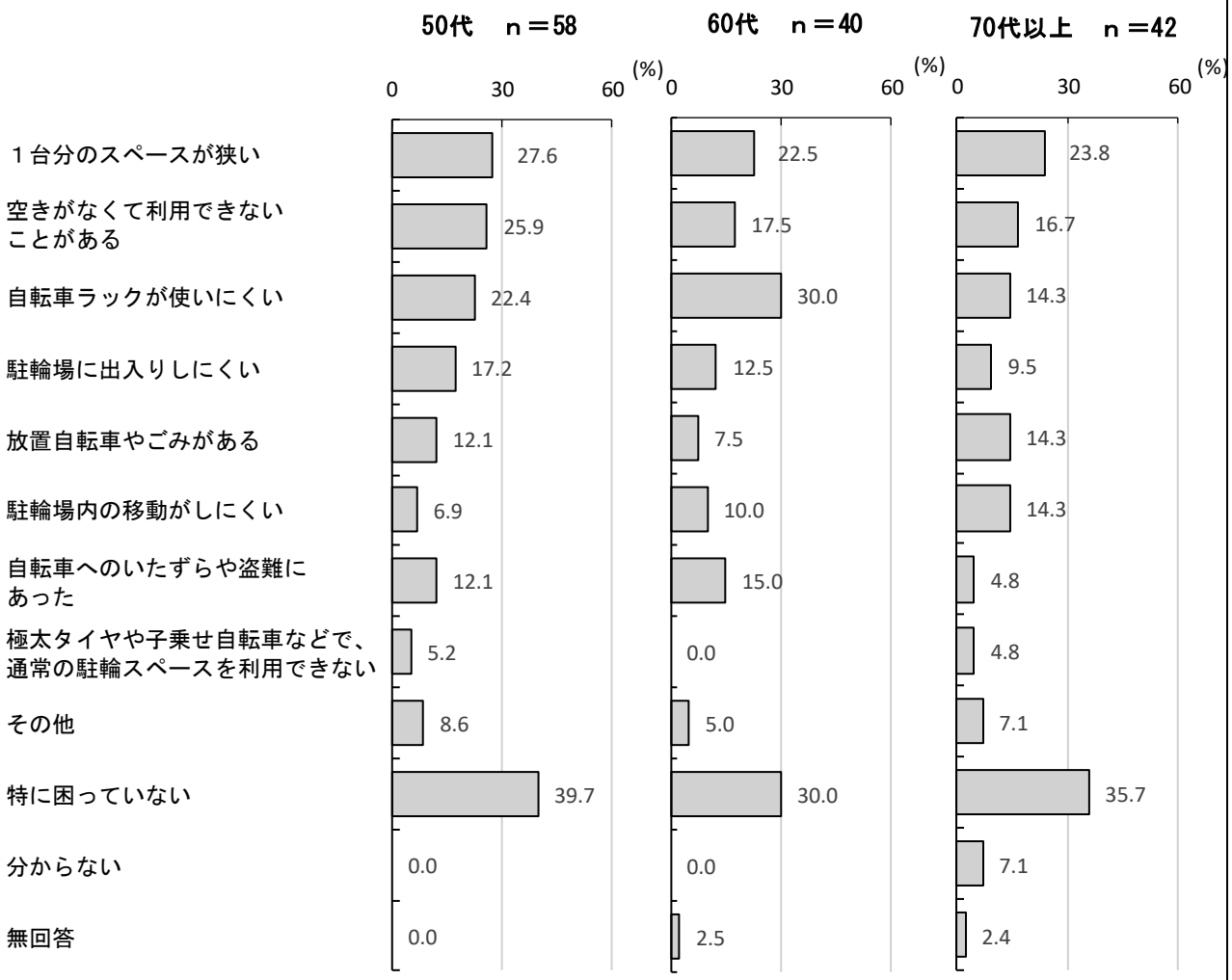
＜年代別①＞



年代別では、20代以下において「空きがなくて利用できないことがある」が、30代において「１台分のスペースが狭い」「放置自転車やごみがある」が、40代・60代において「自転車ラックが使いにくい」が、ほかの年代に比べて多くなっている。

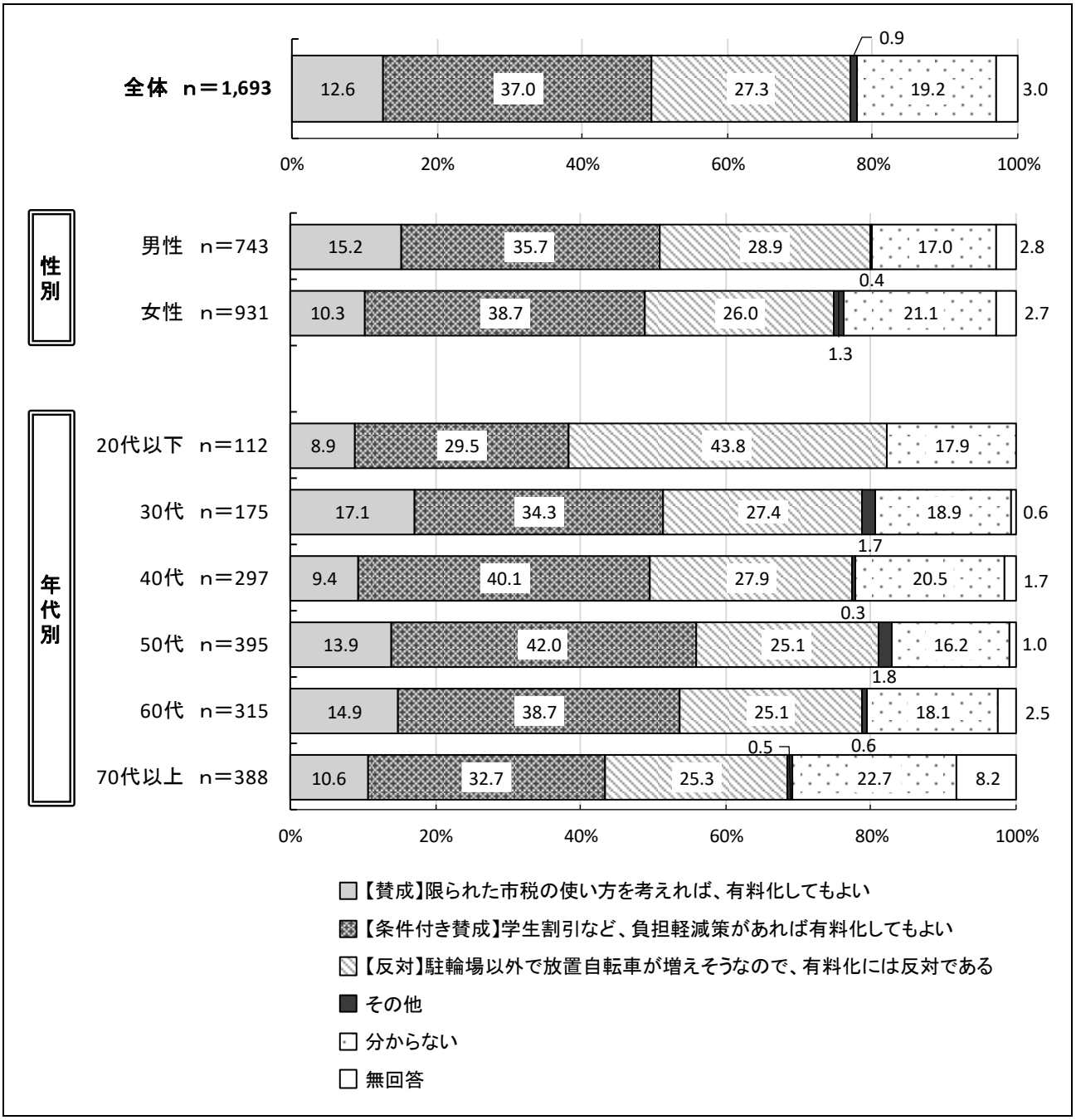
一方、50代においては「特に困っていない」が39.7％と、ほかの年代に比べて多くなっている。

＜年代別②＞


50代　n＝58
60代　n＝40
70代以上　n＝42
(%)
0
30
60
１台分のスペースが狭い
空きがなくて利用できない ことがある
自転車ラックが使いにくい
駐輪場に出入りしにくい
放置自転車やごみがある
駐輪場内の移動がしにくい
自転車へのいたずらや盗難に あった
極太タイヤや子乗せ自転車などで、通常の駐輪スペースを利用できない
その他
特に困っていない
分からない
無回答
27.6
25.9
22.4
17.2
12.1
6.9
12.1
5.2
8.6
39.7
0.0
0.0
22.5
17.5
30.0
12.5
7.5
10.0
15.0
0.0
5.0
30.0
0.0
2.5
23.8
16.7
14.3
9.5
14.3
14.3
4.8
4.8
7.1
35.7
7.1
2.4

(16) 市営駐輪場の有料化について

問33　現在、富士市の市営駐輪場は全て無料で利用できますが、他市には有料の駐輪場もあります。受益者負担の観点からすると、駐輪場の有料化が考えられます。このことについて、あなたの考えに最も近いものを、次の中から１つだけ選んで○をつけてください。



市営駐輪場の有料化については、「【条件付き賛成】学生割引など、負担軽減策があれば有料化してもよい」が37.0%と最も多くなっている。「【賛成】限られた市税の使い方を考えれば、有料化してもよい」が12.6%、「【反対】駐輪場以外で放置自転車が増えそうなので、有料化には反対である」が27.3%となっている。

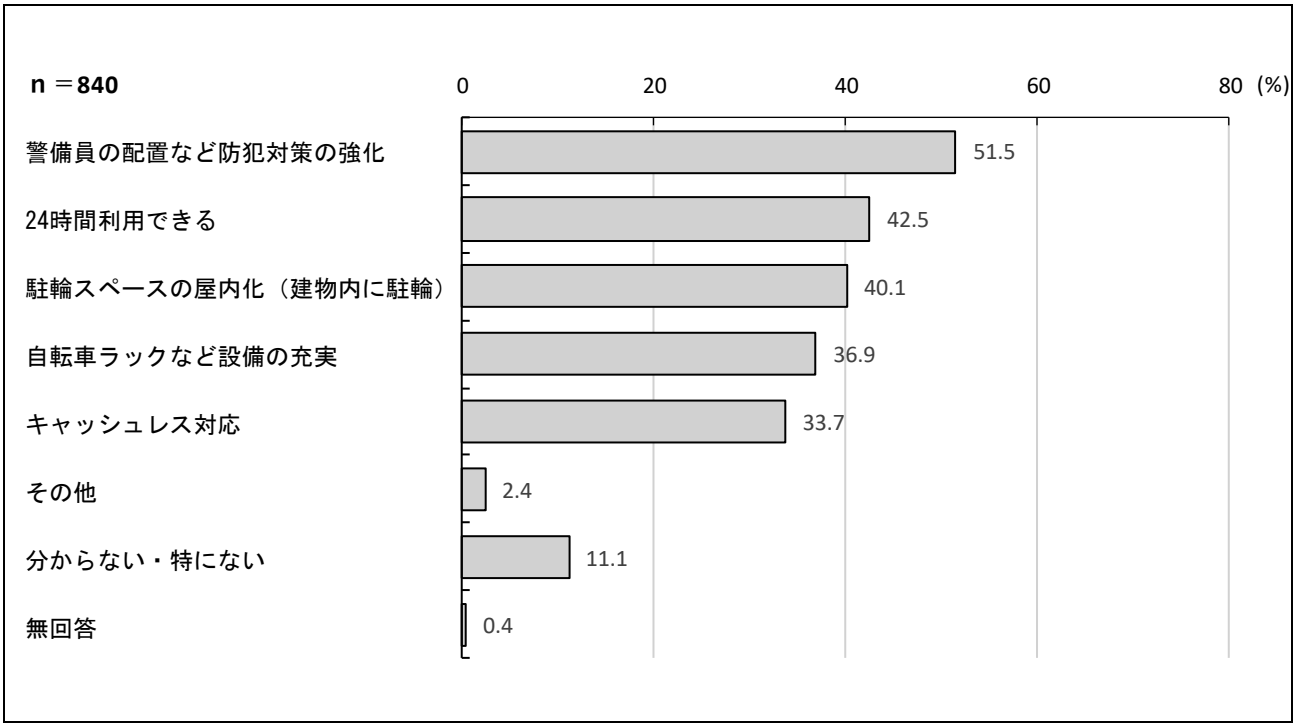
性別で見ると、男性において【賛成】と【反対】のいずれも、女性よりやや多くなっている。

年代別では、30代において【賛成】が、20代以下において【反対】が、40代・50代・60代において【条件付き賛成】が、ほかの年代に比べて多くなっている。

(17) 市営駐輪場利用有料化で期待すること

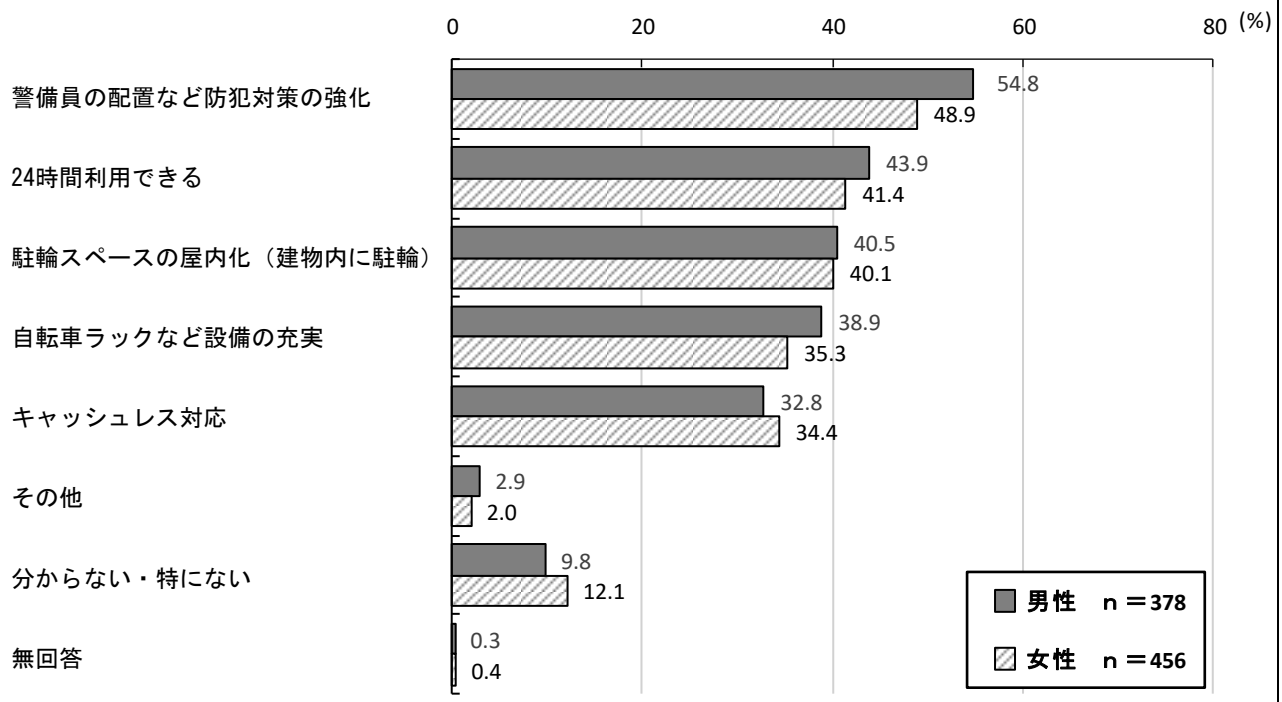
■ 問33で「１【賛成】」「２【条件付き賛成】」と答えた人のみ

問34　市営駐輪場を有料化した場合に、期待することは何ですか。次の中から当てはまるものを全て選んで○をつけてください。



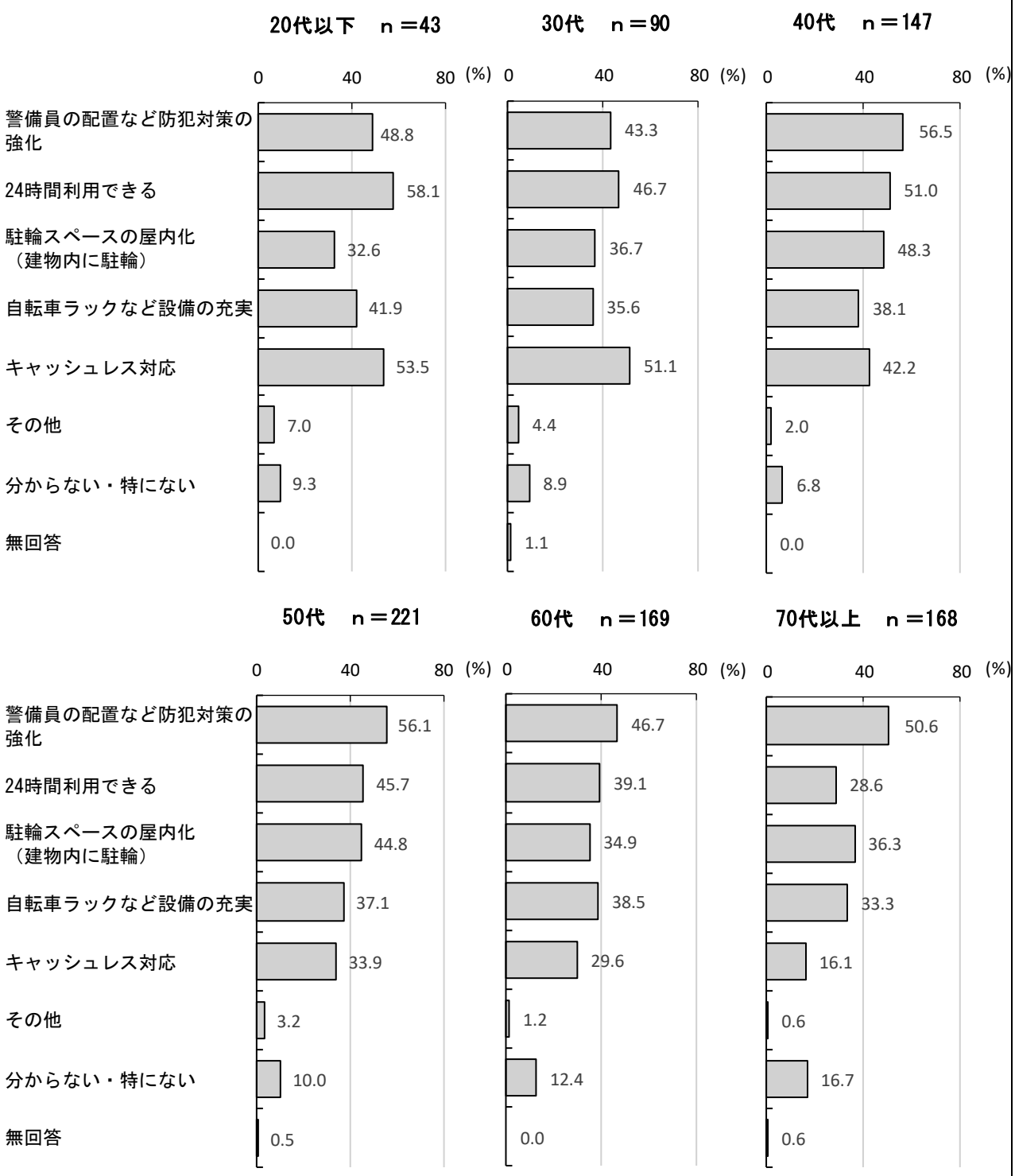
市営駐輪場の有料化で期待することについては、「警備員の配置など防犯対策の強化」が51.5％と最も多く、次いで「24時間利用できる」が42.5％、「駐輪スペースの屋内化（建物内に駐輪）」が40.1％となっている。

＜性別＞



性別で見ると、男性において「警備員の配置など防犯対策の強化」が5.9ポイント、「自転車ラックなど設備の充実」が3.6ポイント、「24時間利用できる」が2.5ポイント、それぞれ女性よりも多くなっている。女性においては「キャッシュレス対応」が、男性より1.6ポイント多くなっている。

＜年代別＞

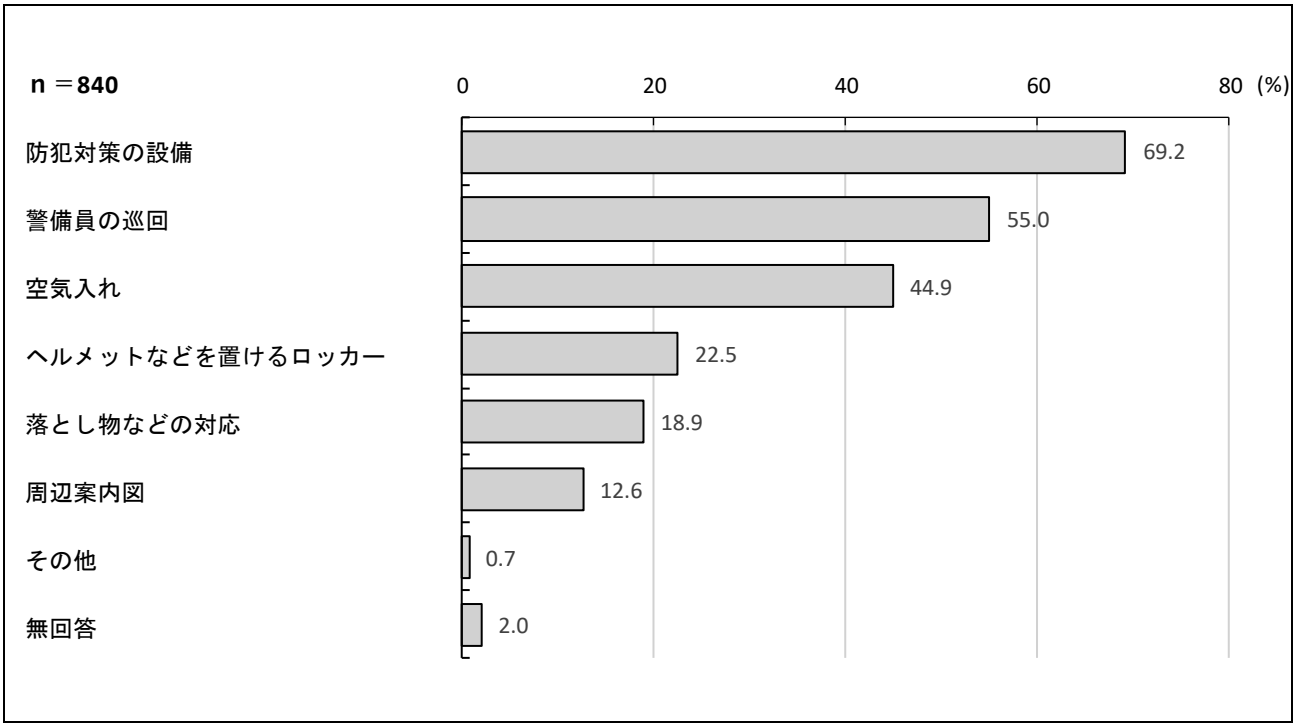


年代別では、20代以下・30代において「キャッシュレス対応」が50%以上と、ほかの年代に比べて多くなっている。また、20代以下・40代においては「24時間利用できる」が50%以上と多くなっている。40代・50代においては「駐輪スペースの屋内化（建物内に駐輪）」が、ほかの年代に比べて多くなっている。

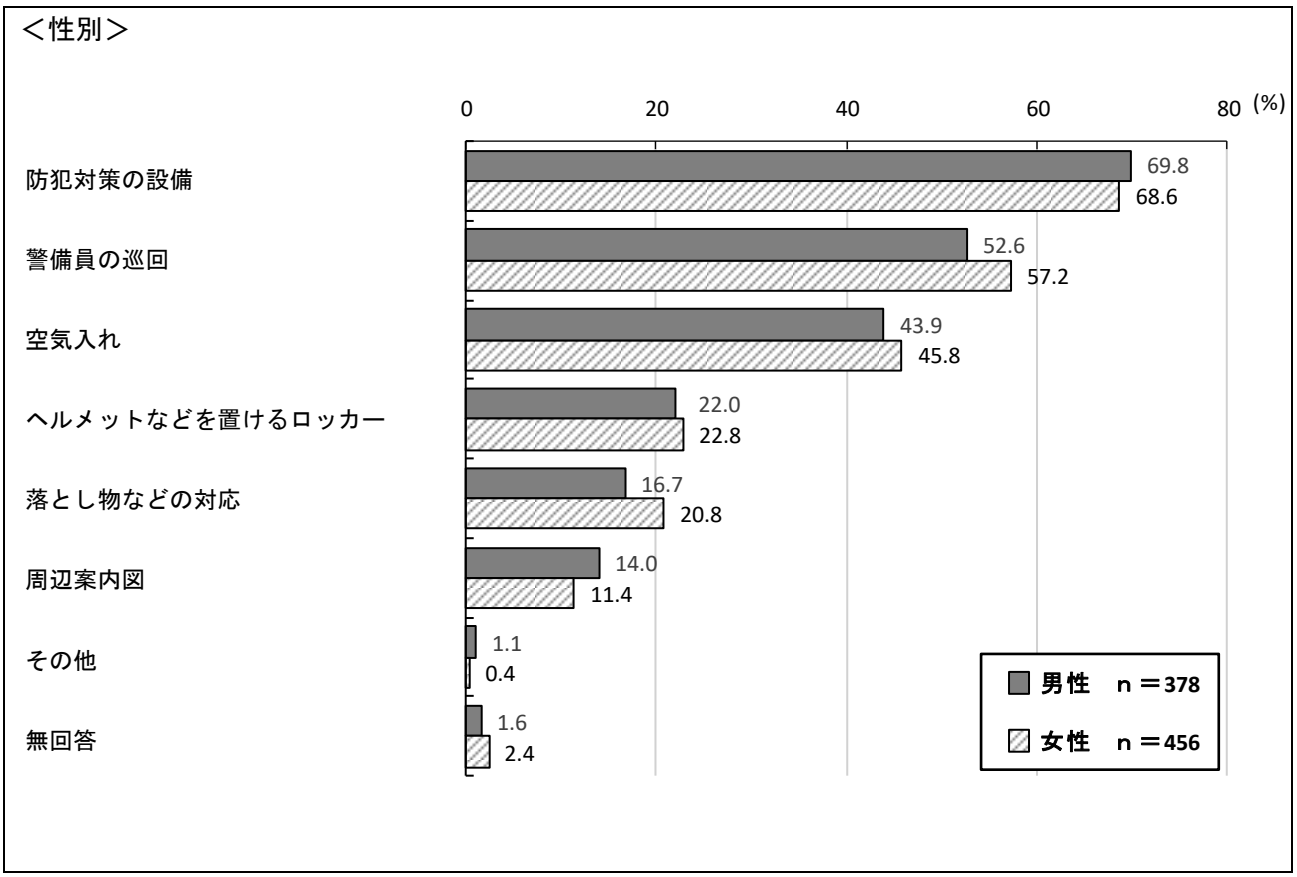
(18) 市営駐輪場にあるとよいもの

■ 問33で「１【賛成】」「２【条件付き賛成】」と答えた人のみ

問35　市営駐輪場にあるとよいと思うものはありますか。次の中から当てはまるものを全て選んで○をつけてください。

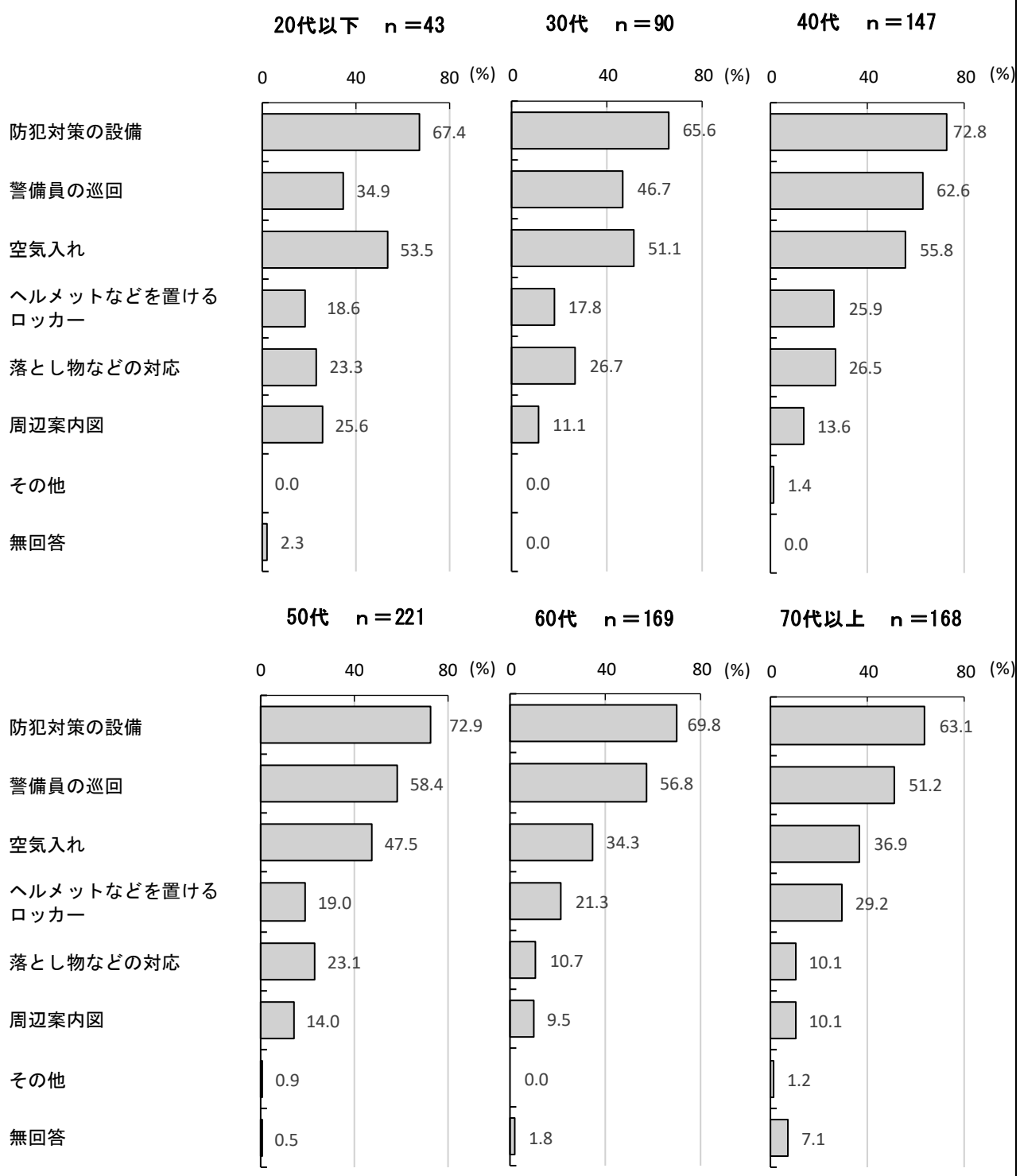


市営駐輪場にあるとよいと思うものは、「防犯対策の設備」が69.2%と最も多く、次いで「警備員の巡回」が55.0%、「空気入れ」が44.9%となっている。



性別で見ると、男性において「防犯対策の設備」「周辺案内図」が、女性よりもやや多くなっている。女性においては「警備員の巡回」「空気入れ」「落とし物などの対応」が、男性より多くなっている。

＜年代別＞



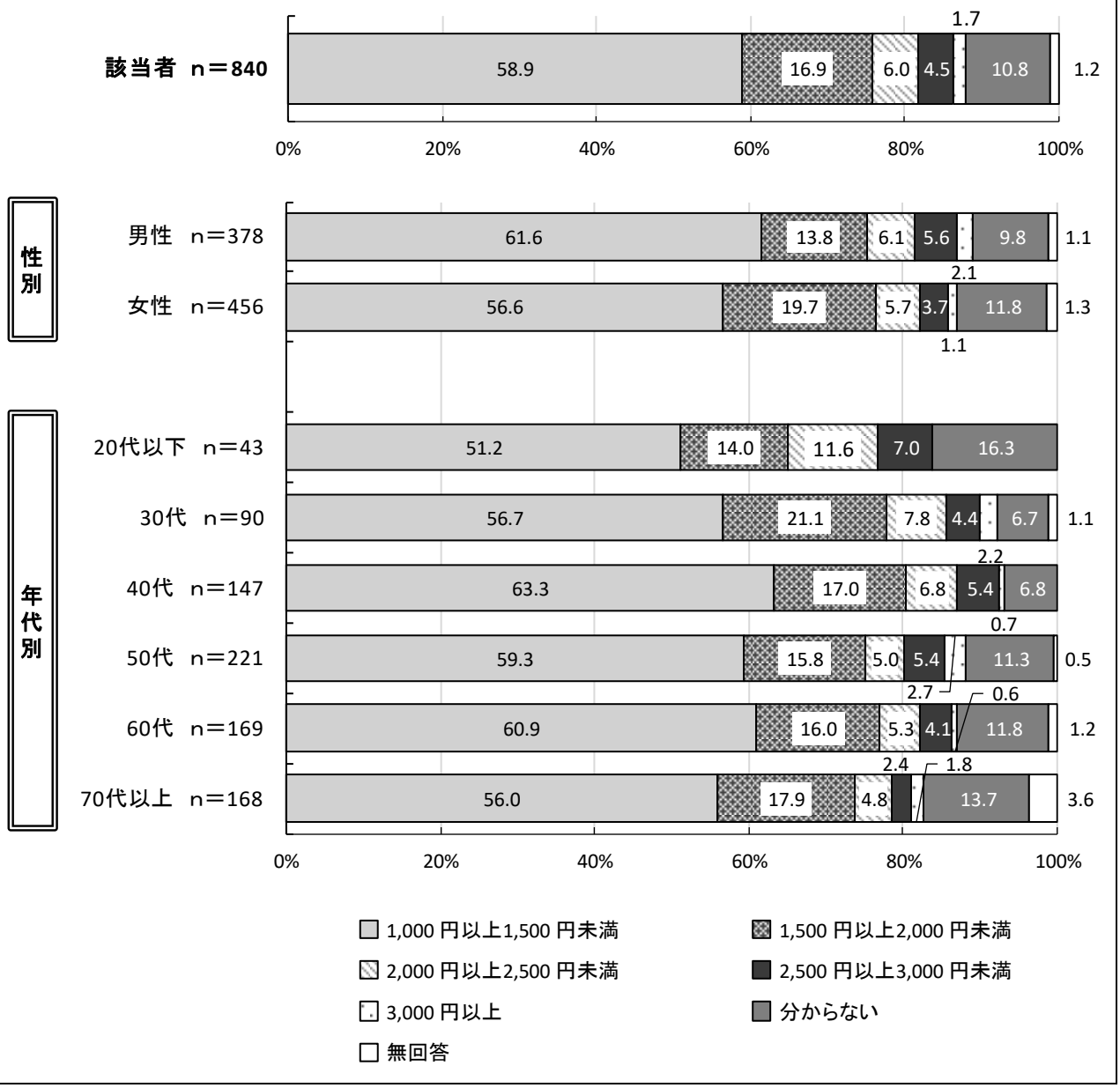
年代別では、20代以下・30代・40代において「空気入れ」が50％以上と、ほかの年代に比べて多くなっている。また、40代においては「警備員の巡回」も62.6％と多くなっている。

(19) 市営駐輪場を有料化した場合の定期利用料について

■ 問33で「１【賛成】」「２【条件付き賛成】」と答えた人のみ

問36　市営駐輪場を有料化した場合に、１か月の定期利用料として妥当だと思う金額はいくらですか。【自転車】と【原付】それぞれについて、当てはまるものに１つずつ○をつけてください。

【自転車】

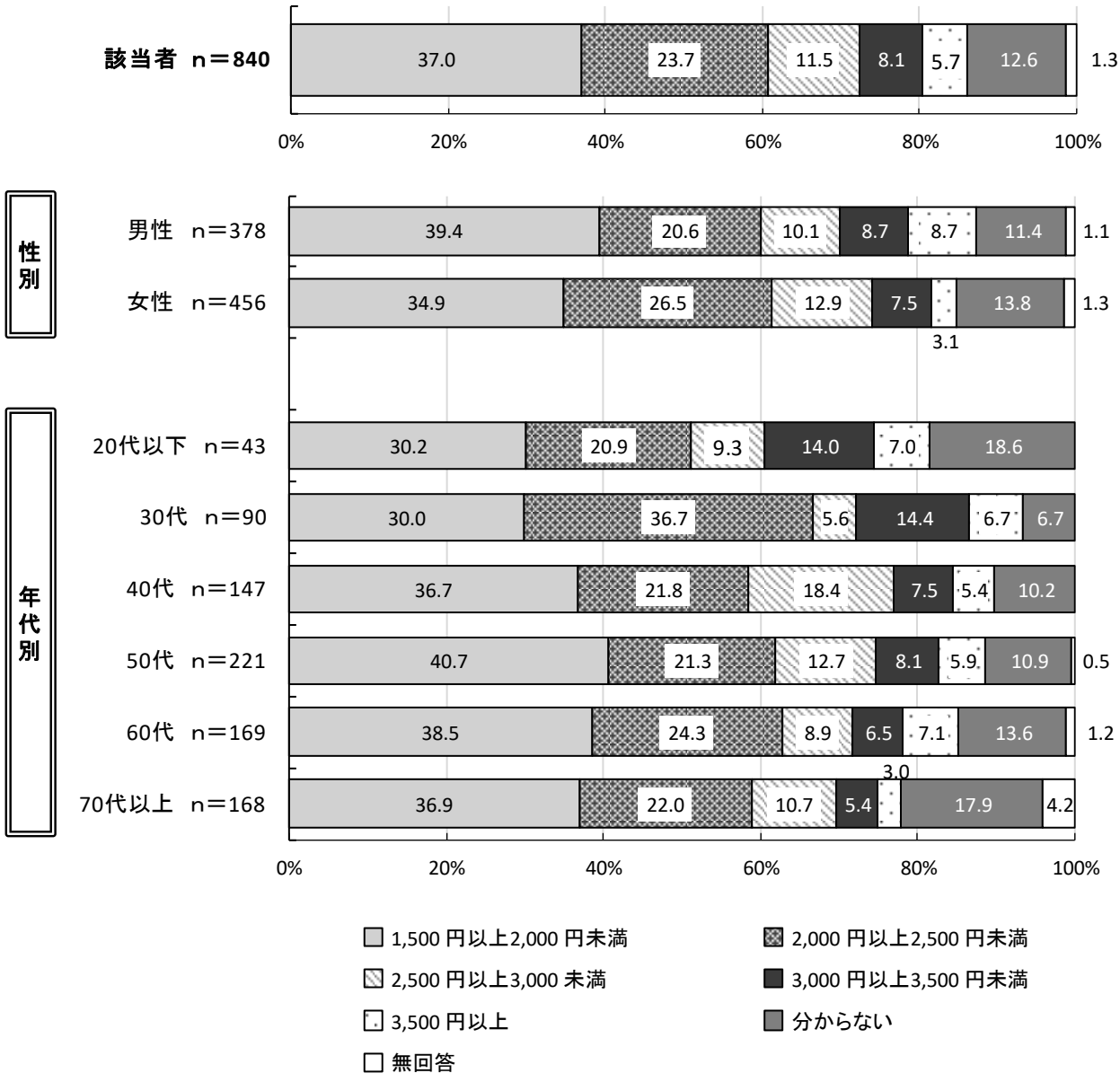


市営駐輪場を有料化した場合、自転車の１か月の定期利用料については、「1,000円以上1,500円未満」が58.9％と最も多く、次いで「1,500円以上2,000円未満」が16.9％となっている。

性別で見ると、女性において「1,500円以上2,000円未満」が、男性より5.9ポイント多くなっている。

年代別では、全ての年代において「1,000以上2,000円未満」が50％以上を占めている。30代においては「1,500円以上2,000円未満」が21.1％と、ほかの年代に比べて多くなっている。

【原付】



市営駐輪場を有料化した場合、原付の１か月の定期利用料については、「1,500円以上2,000円未満」が37.0%と最も多く、次いで「2,000円以上2,500円未満」が23.7%となっている。

性別で見ると、女性において「2,000円以上2,500円未満」が、男性より5.9ポイント多くなっている。

年代別では、30代において「2,000以上2,500円未満」が36.7%と最も多くなっている。40代においては「2,500円以上3,000円未満」が18.4%と、ほかの年代に比べて多くなっている。